

中学校技術・家庭科に関する 第12回全国アンケート調査

令和7年11月6日

第64回全日本中学校技術・家庭科研究大会
全日本中学校技術・家庭科研究会 研究調査部

調査内容

- 指導者の職層や経験、持ち時数等について
- 指導内容について
- 施設・設備について

<回答> 全国 技術分野2760名 家庭2513名

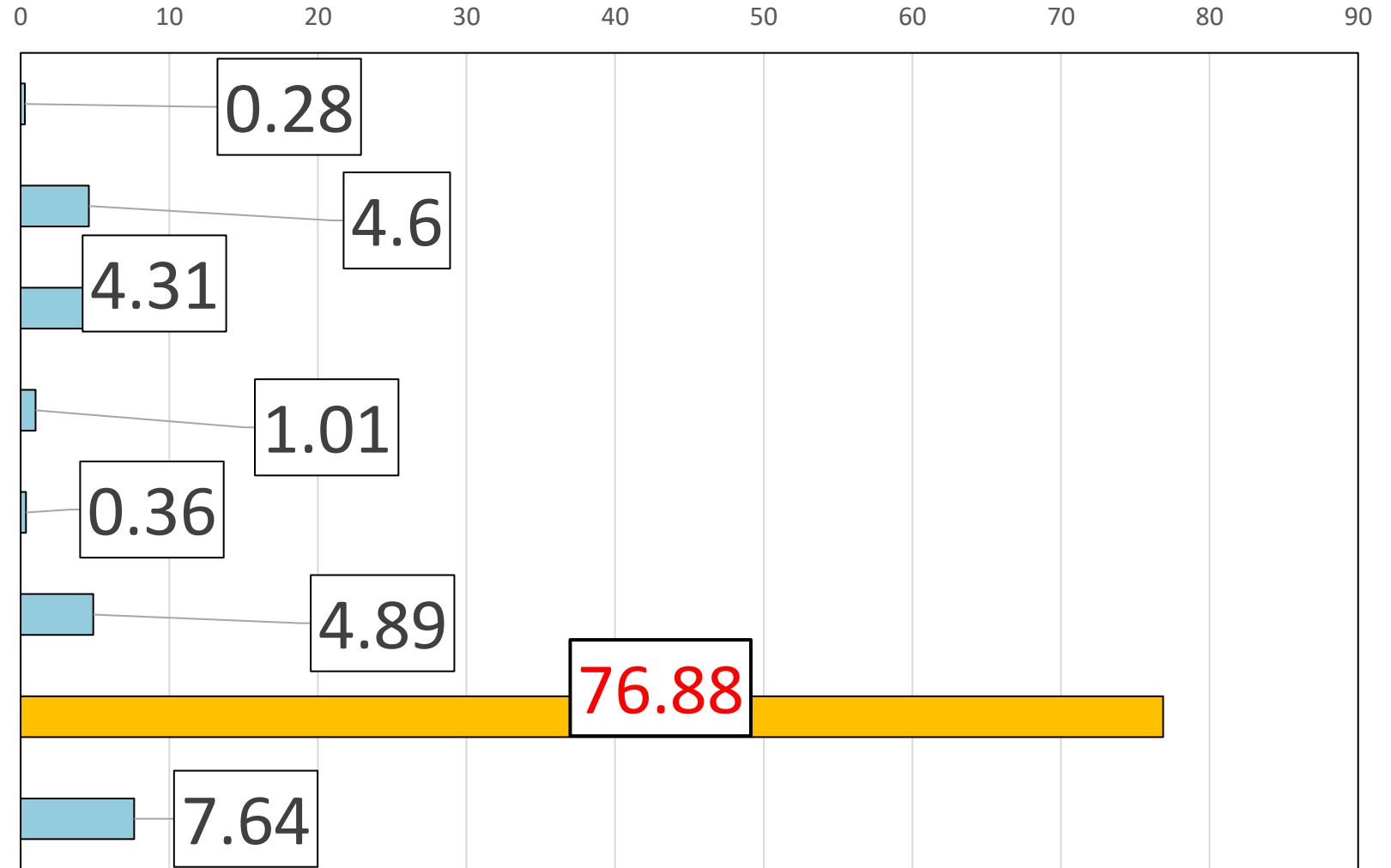
<協力> 公益財団全国中学校産業教育教材振興協会

技術分野

アンケート回答数 2 7 6 0 名

(01)技術分野を指導されている職層はなんですか。

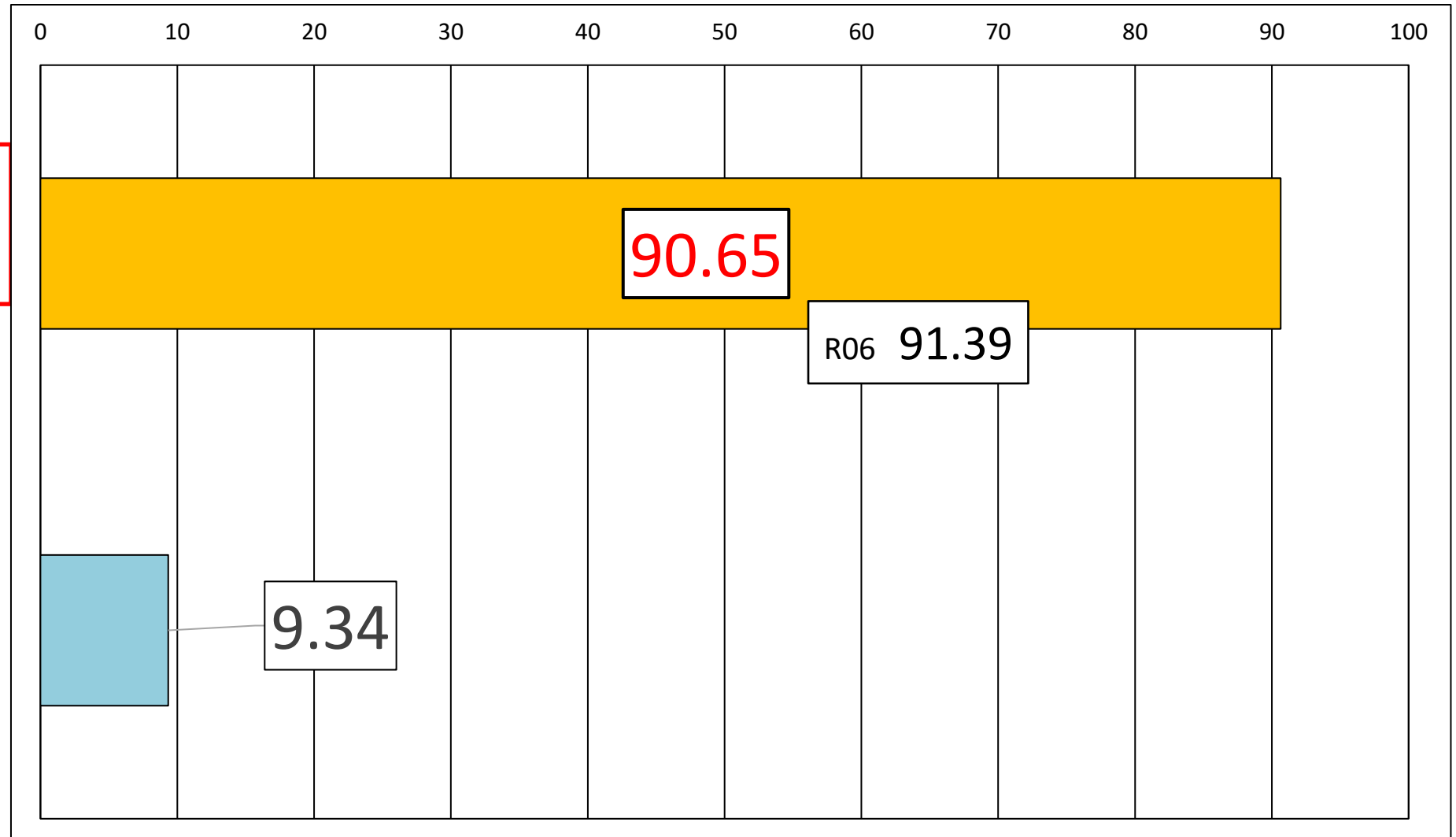
- (1)校長
- (2)副校長・教頭
- (3)主幹教諭
- (4)指導教諭
- (5)統括教諭
- (6)主任教諭
- (7)教諭**
- (8)その他



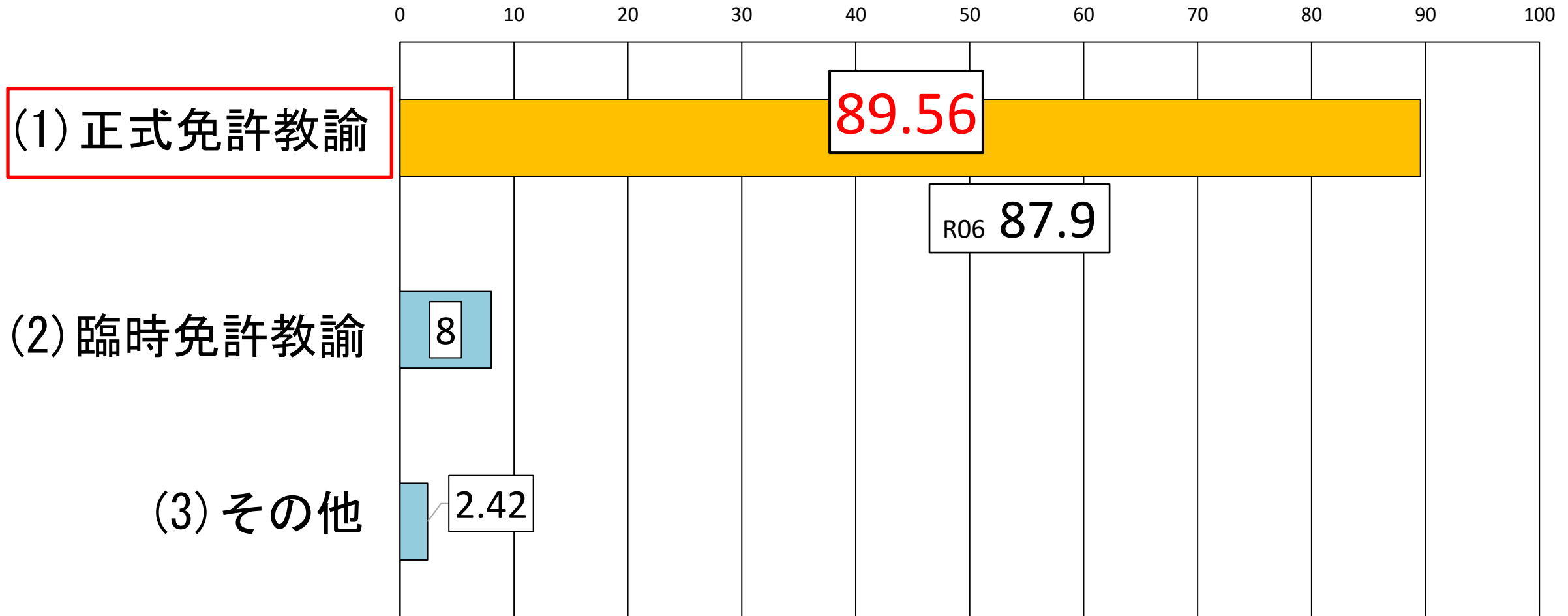
(02)あなたの勤務形態は、次のどれにあたりますか。

(1) 正規教員
(教員定数に含む教員)

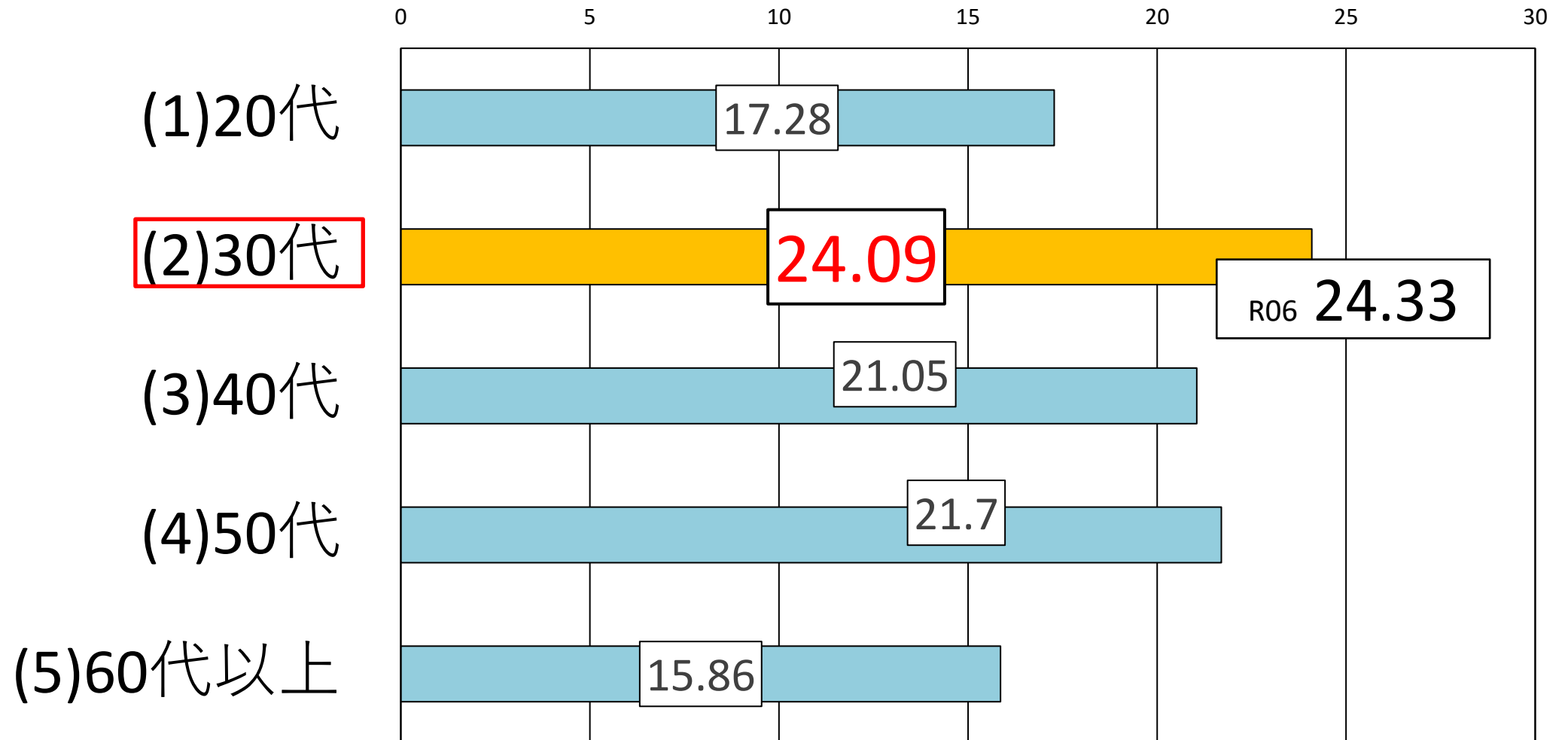
(2) その他
(期限付き教員、
非常勤講師等)



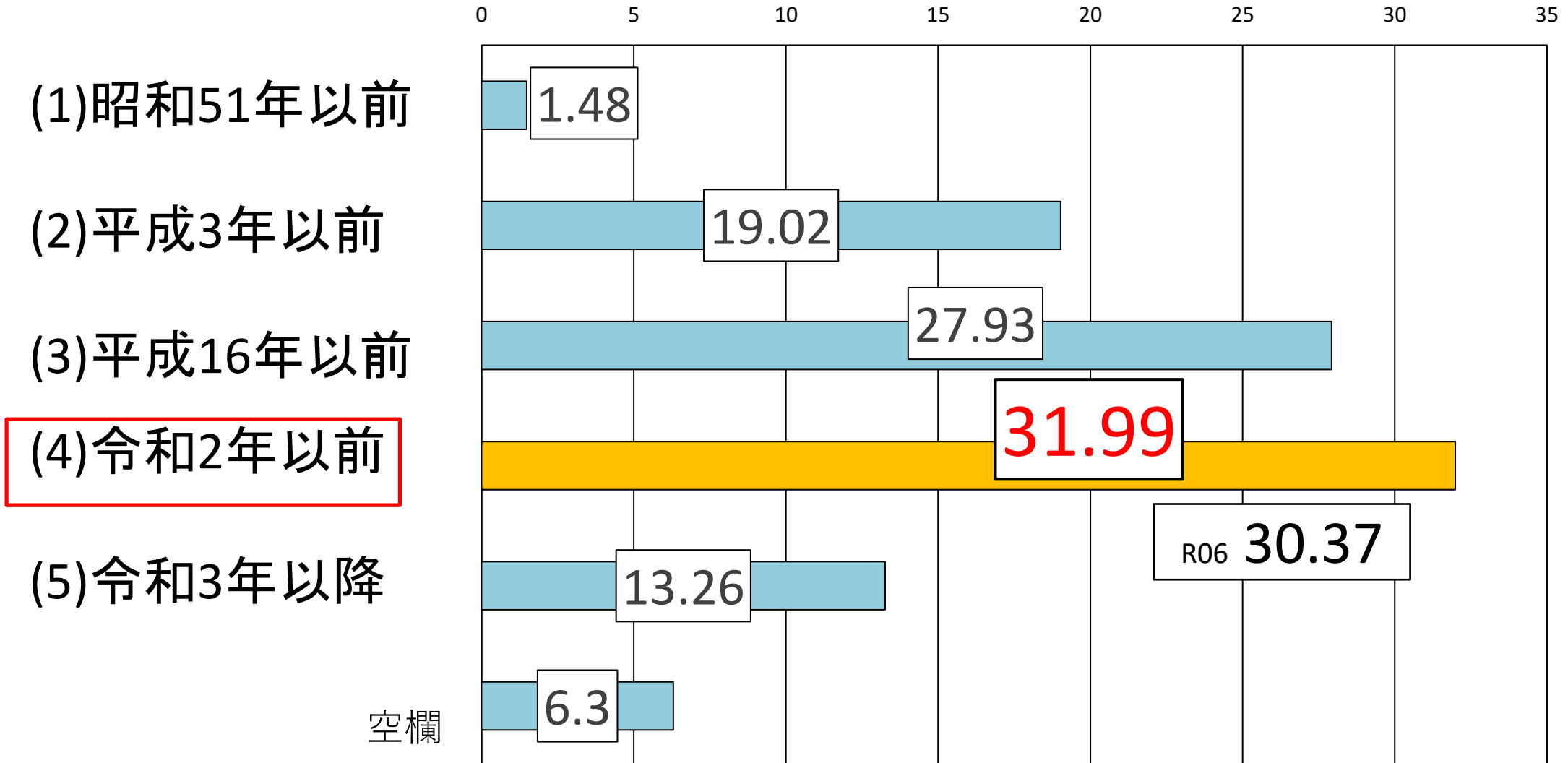
(03)あなたの教員免許資格は、次のどれにあたりますか。



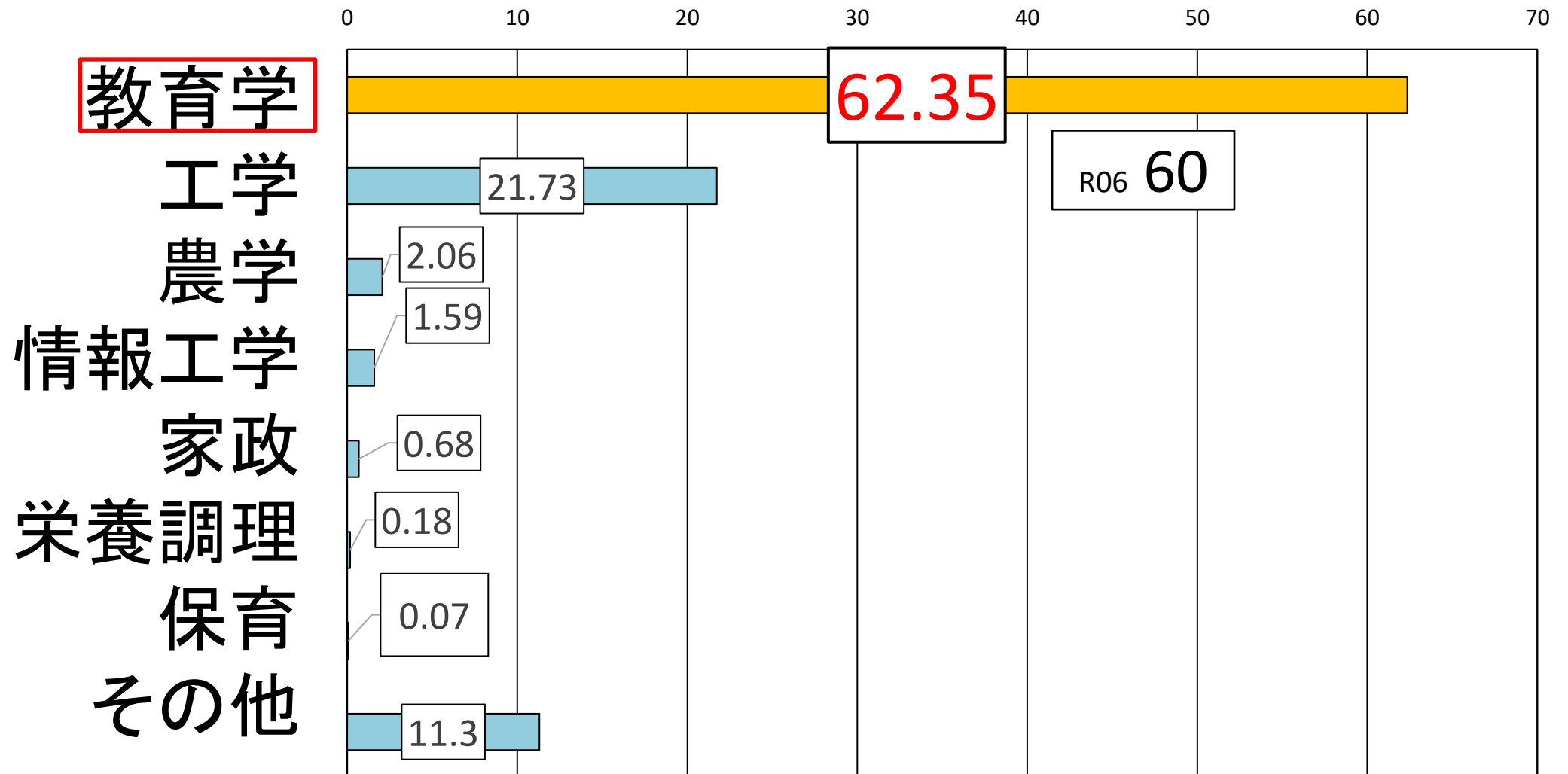
(04) あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。



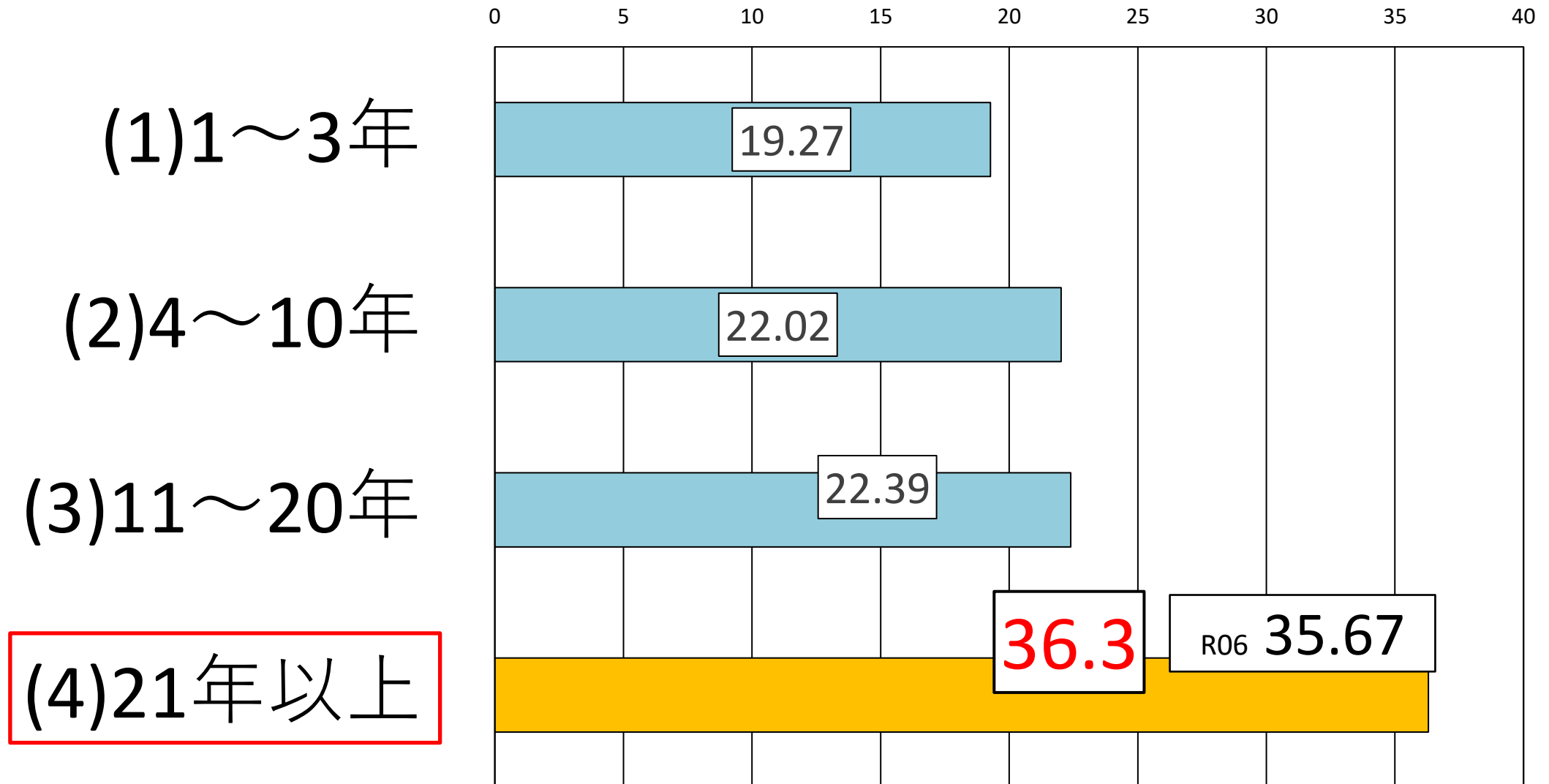
(05) 大学等で技術の教員免許を取得した時期はいつですか。



(06)教員免許を取得するための大学等で主な専攻や学部は何ですか。



(07) あなたは技術分野を教えて何年目になりますか。



(08) あなたが担当する週当たりの技術分野の授業時数は、次のどれですか。

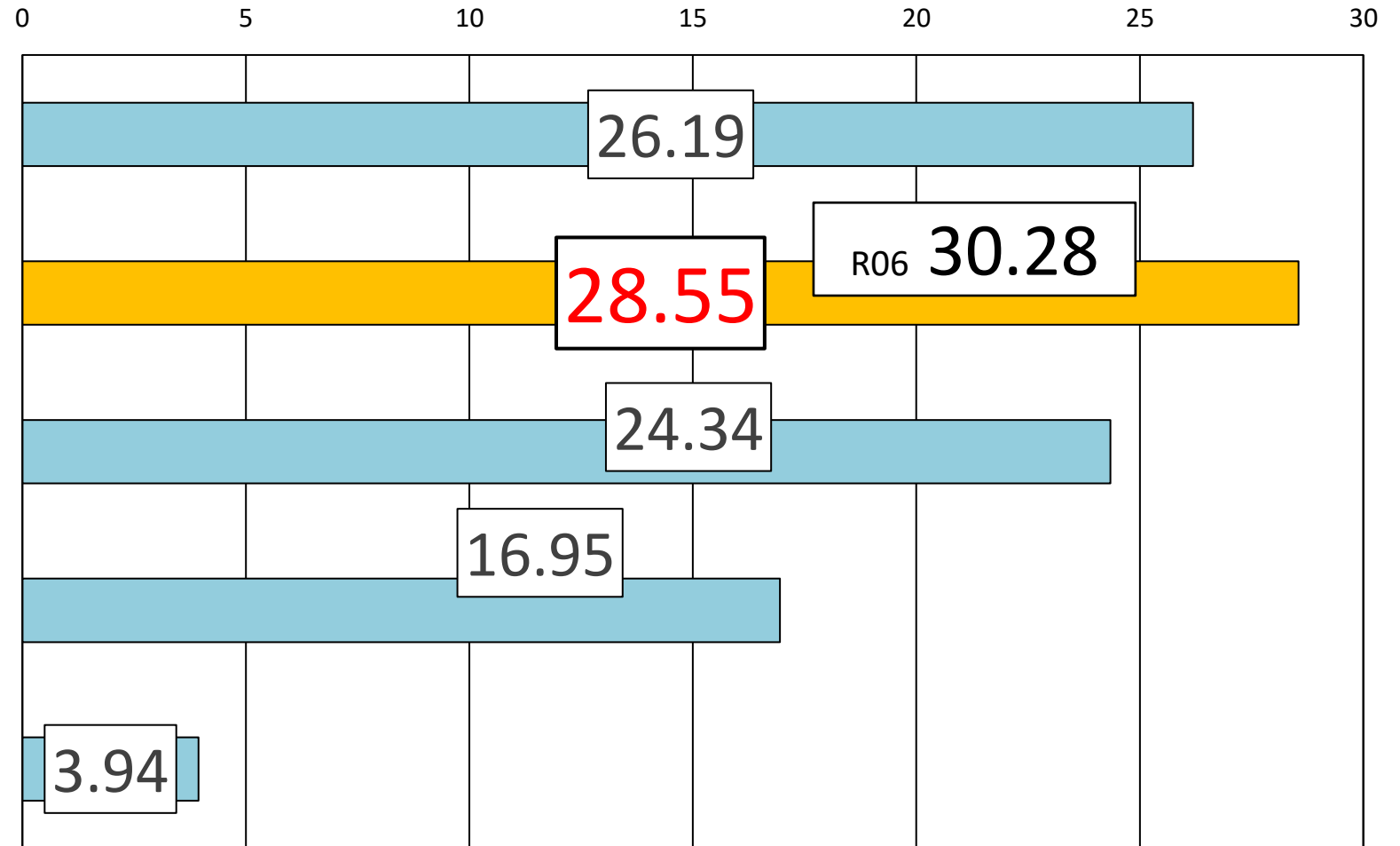
(1) 6 時間以下

(2) 7 ～10時間

(3) 11～14時間

(4) 15～18時間

(5) 19時間以上



(09)他教科の授業も担当していますか。
(総合的な学習の時間や道徳などを除く)

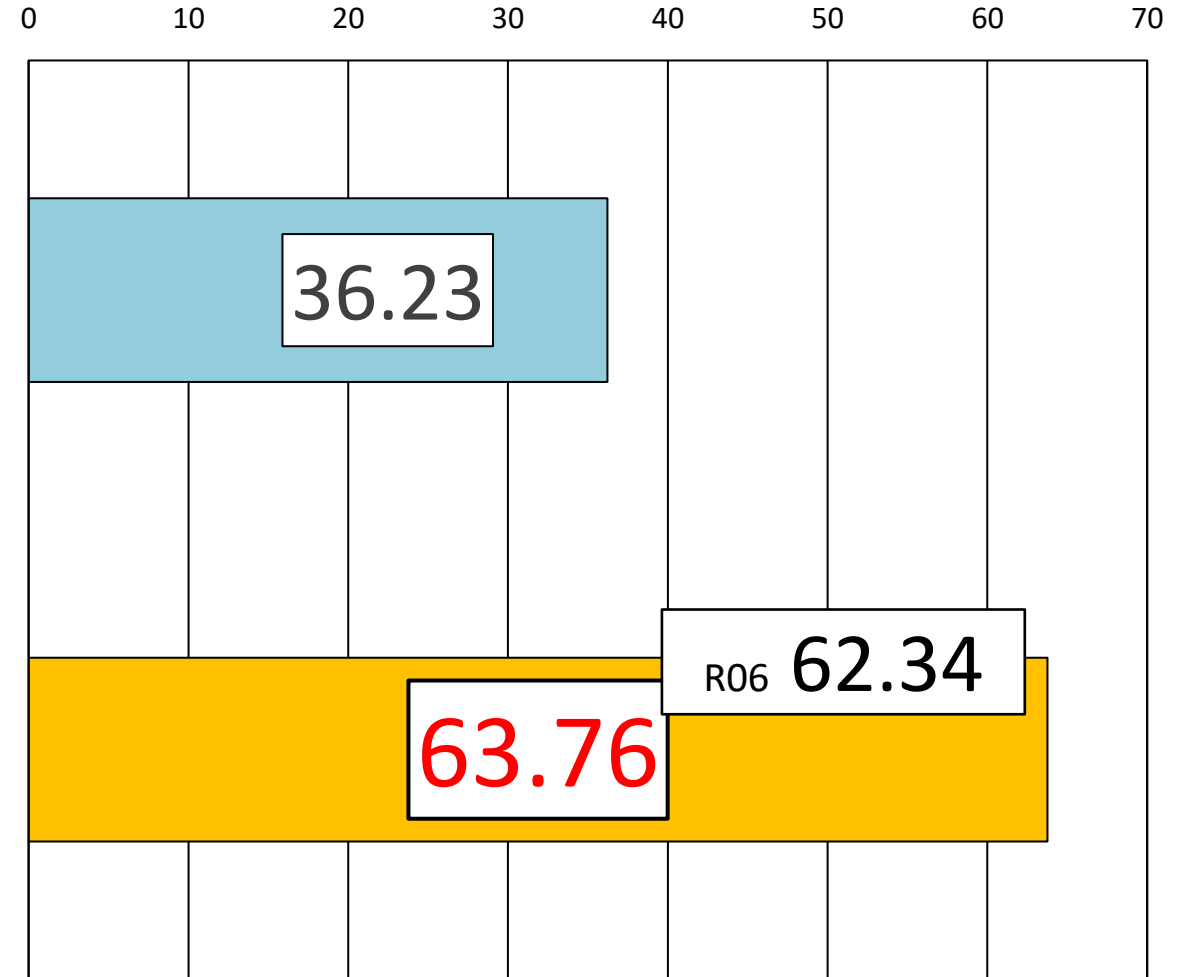
(1)他教科の授業を担当している

36.23

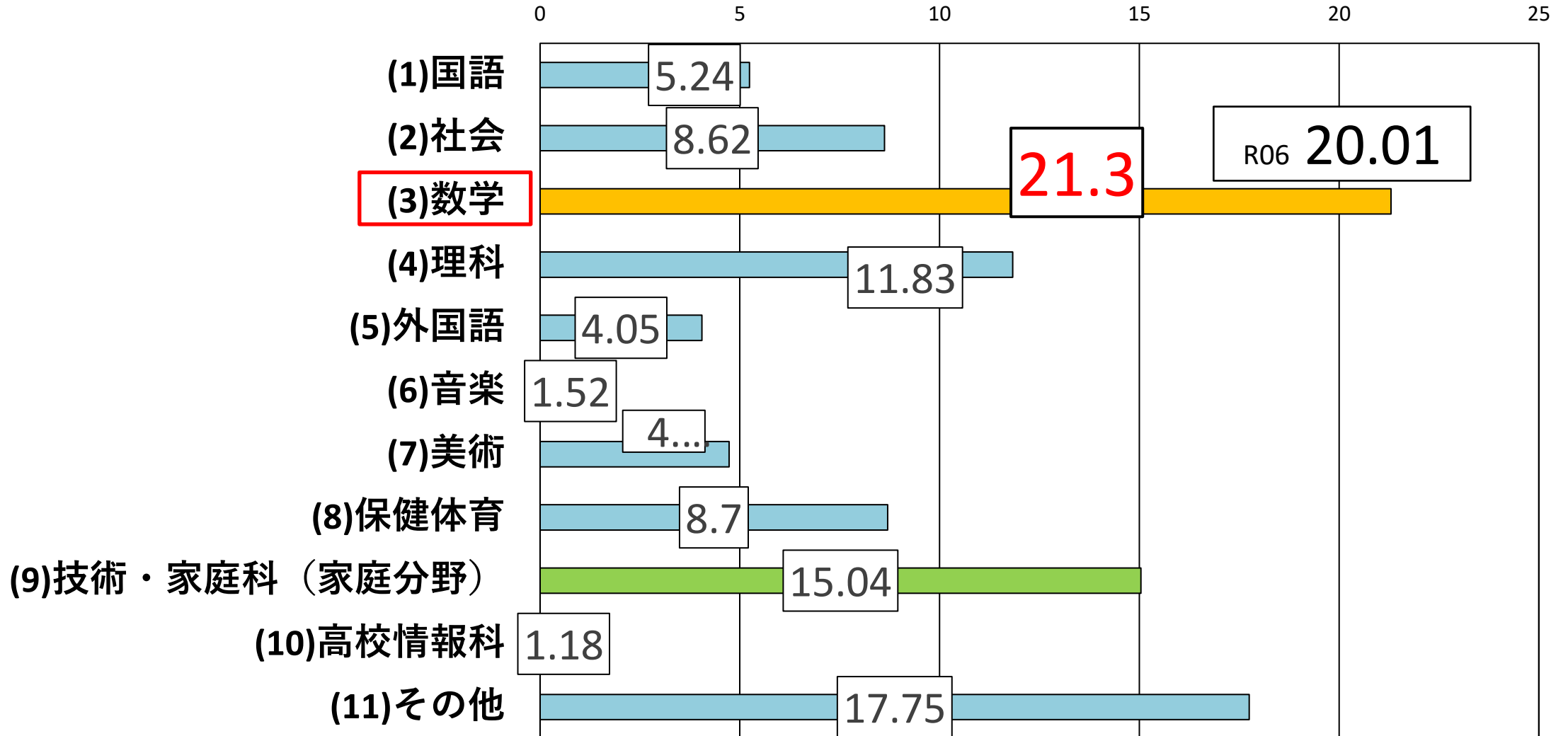
(2)他教科の授業を担当していない

63.76

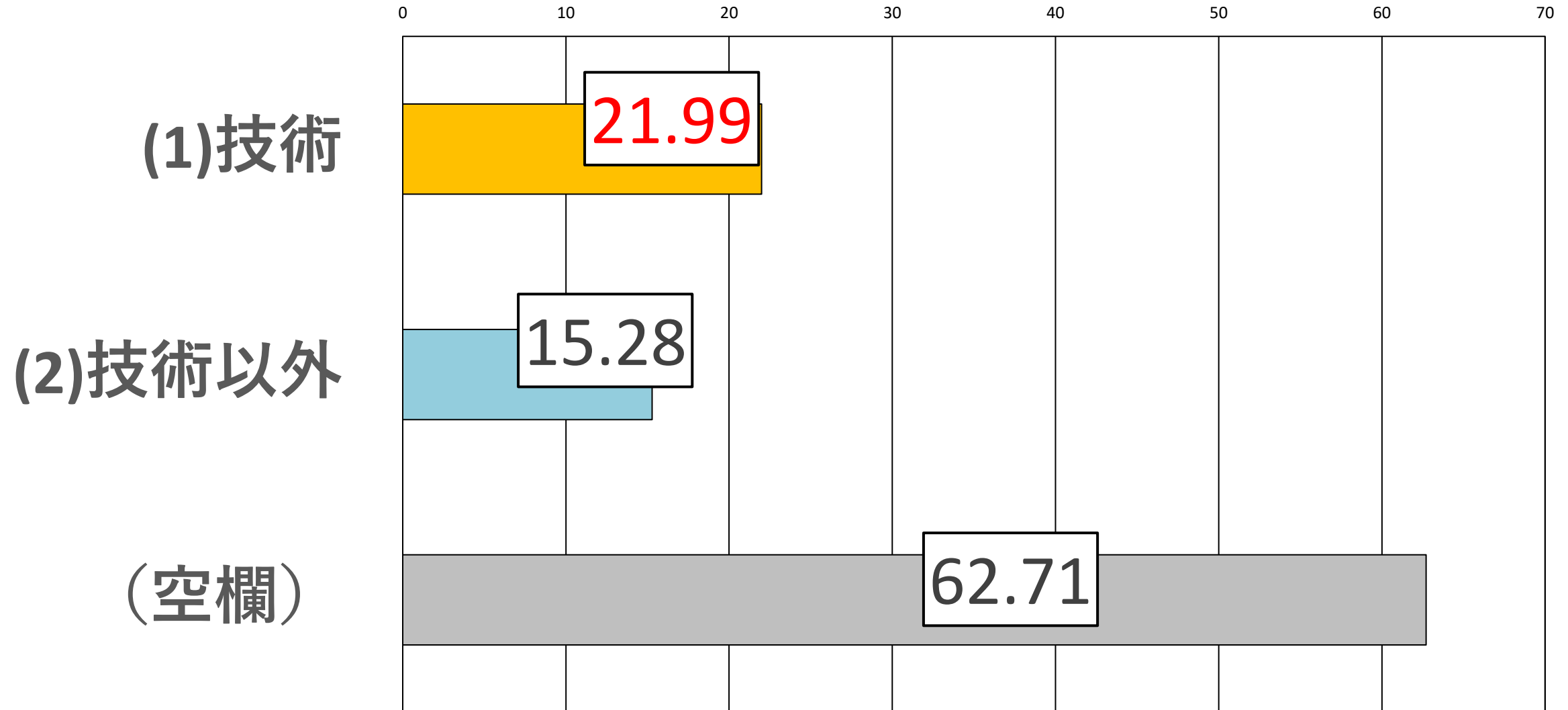
R06 62.34



(09-1)他の担当教科は次のどれですか。(複数回答可)



(09-2) 専門教科を教えてください。



(10) 兼務発令による複数校担当はありますか。

ア. 兼務発令はない。
自分の学校だけ。

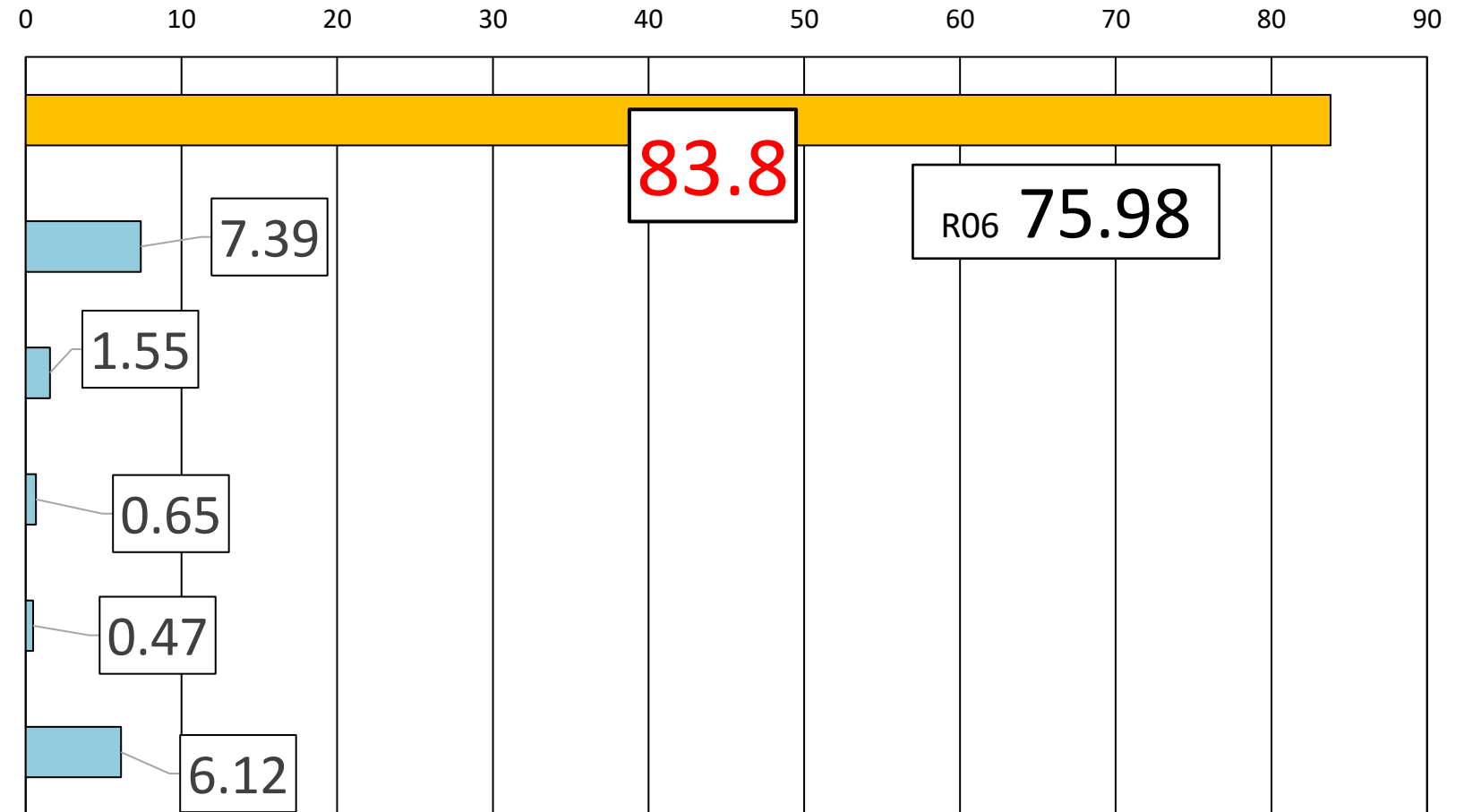
イ. 自分の学校以外に1校

ウ. 自分の学校以外に2校

エ. 自分の学校以外に3校

オ. 自分の学校以外に
4校以上

(空欄)



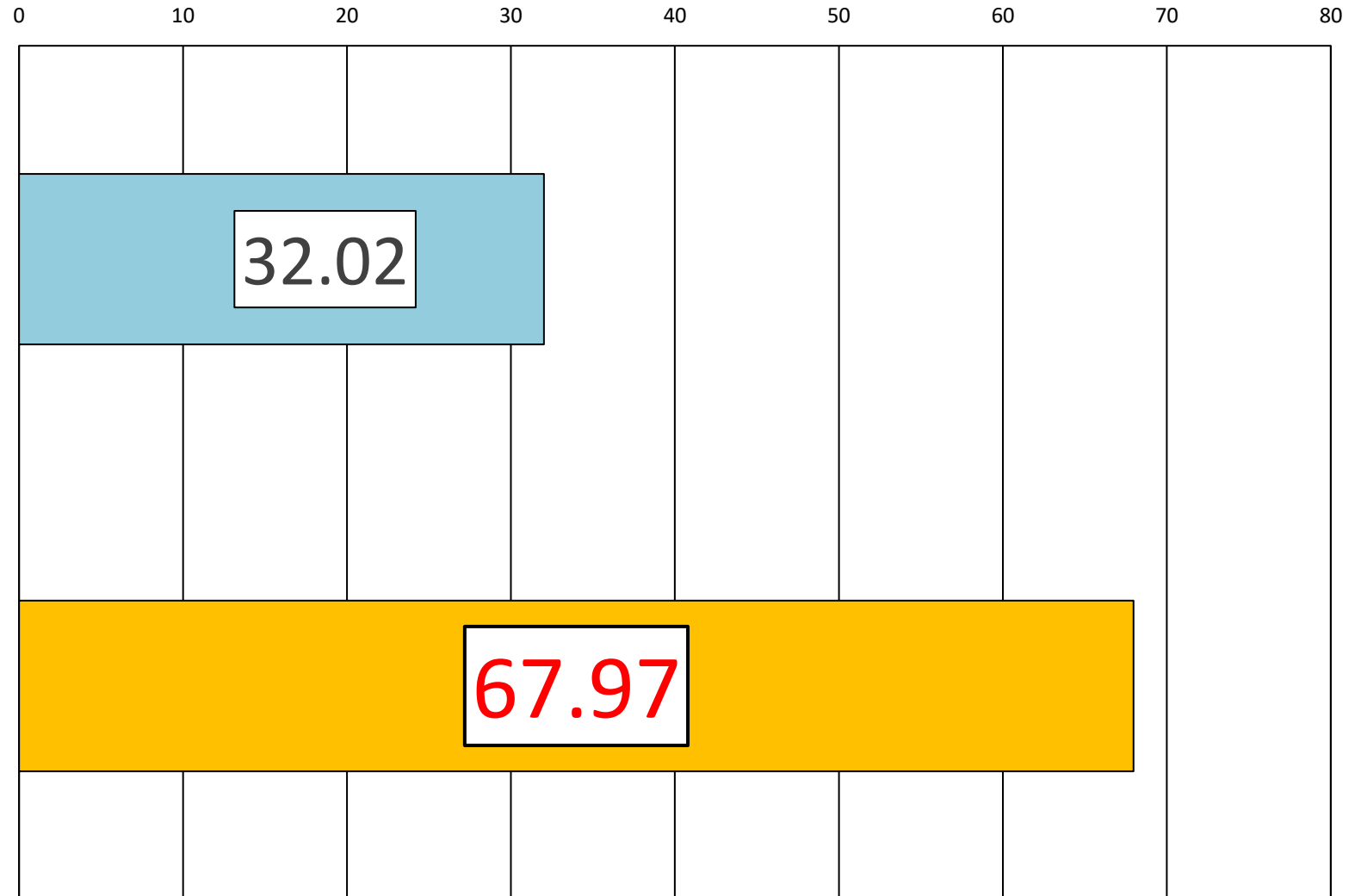
R06 75.98

(11)市区町村教育委員会の指導主事についてお答え下さい

new

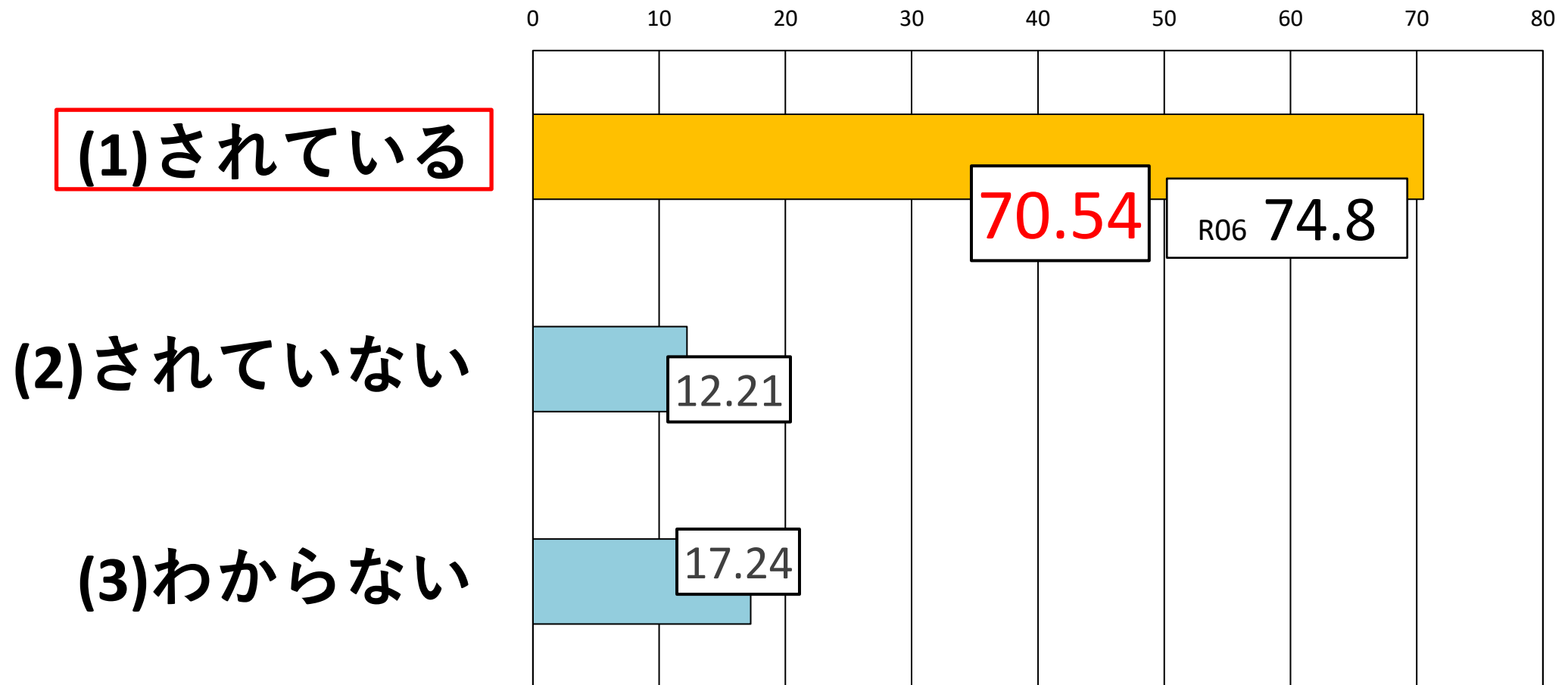
(1)技術科の免許をもった指導主事がいる

(2)いない



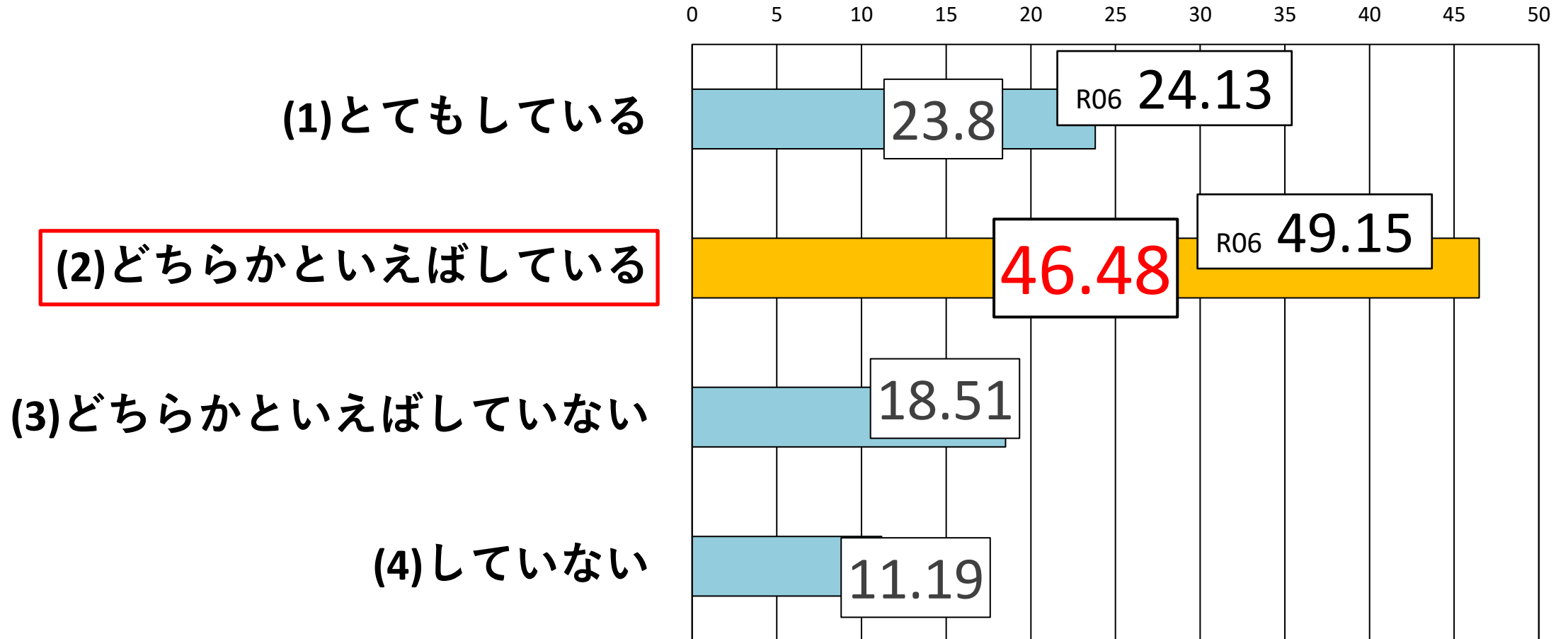
【研修会】

都道府県、区市町村で研修を受ける機会は十分確保されていますか。



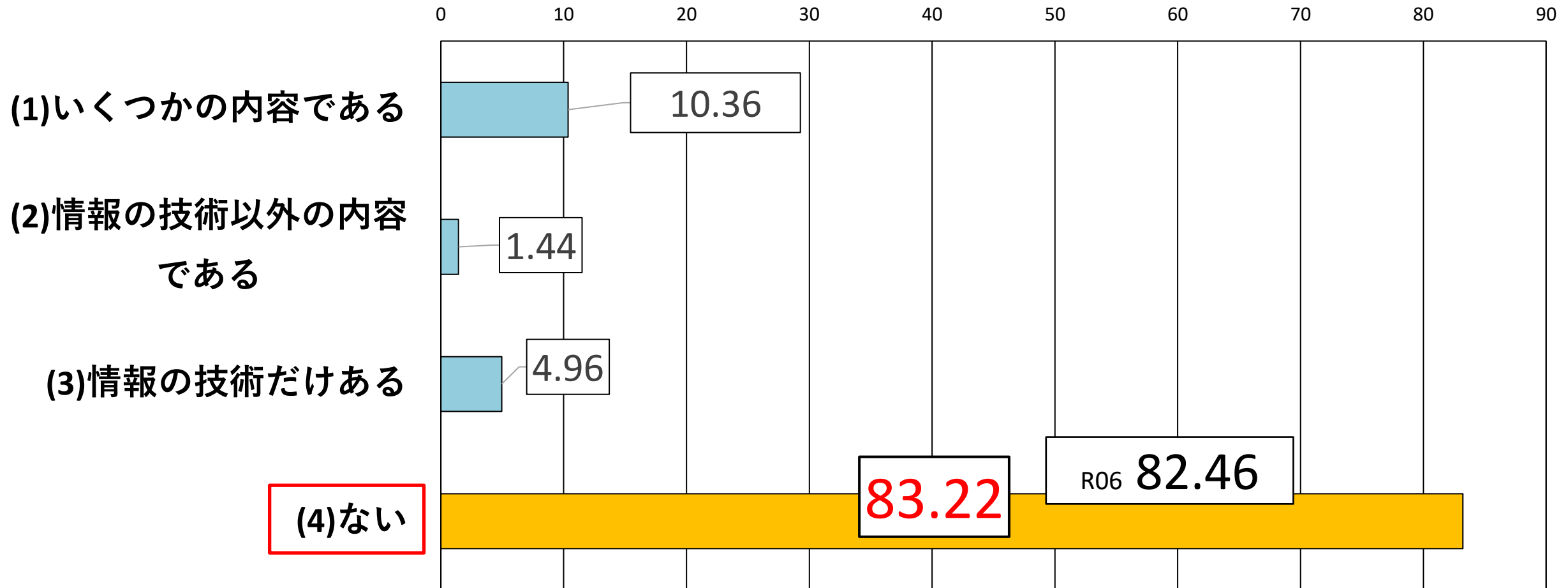
【研修会】

(2) 研修会・研究会等には積極的に参加していますか。



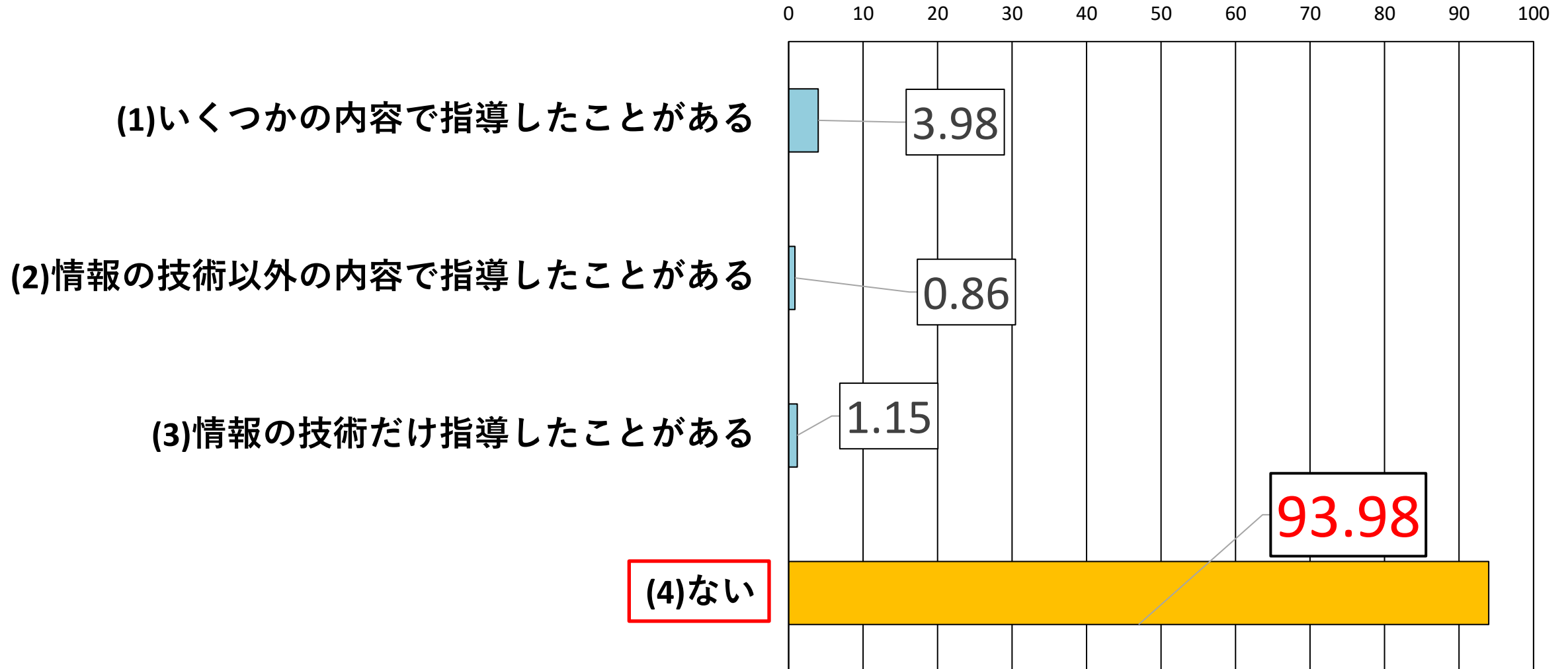
【オンライン指導】

(1)「教科・科目充実型」の遠隔授業の制度により、遠隔地からオンラインで技術の指導をしてもらったことがありますか。



【オンライン指導】

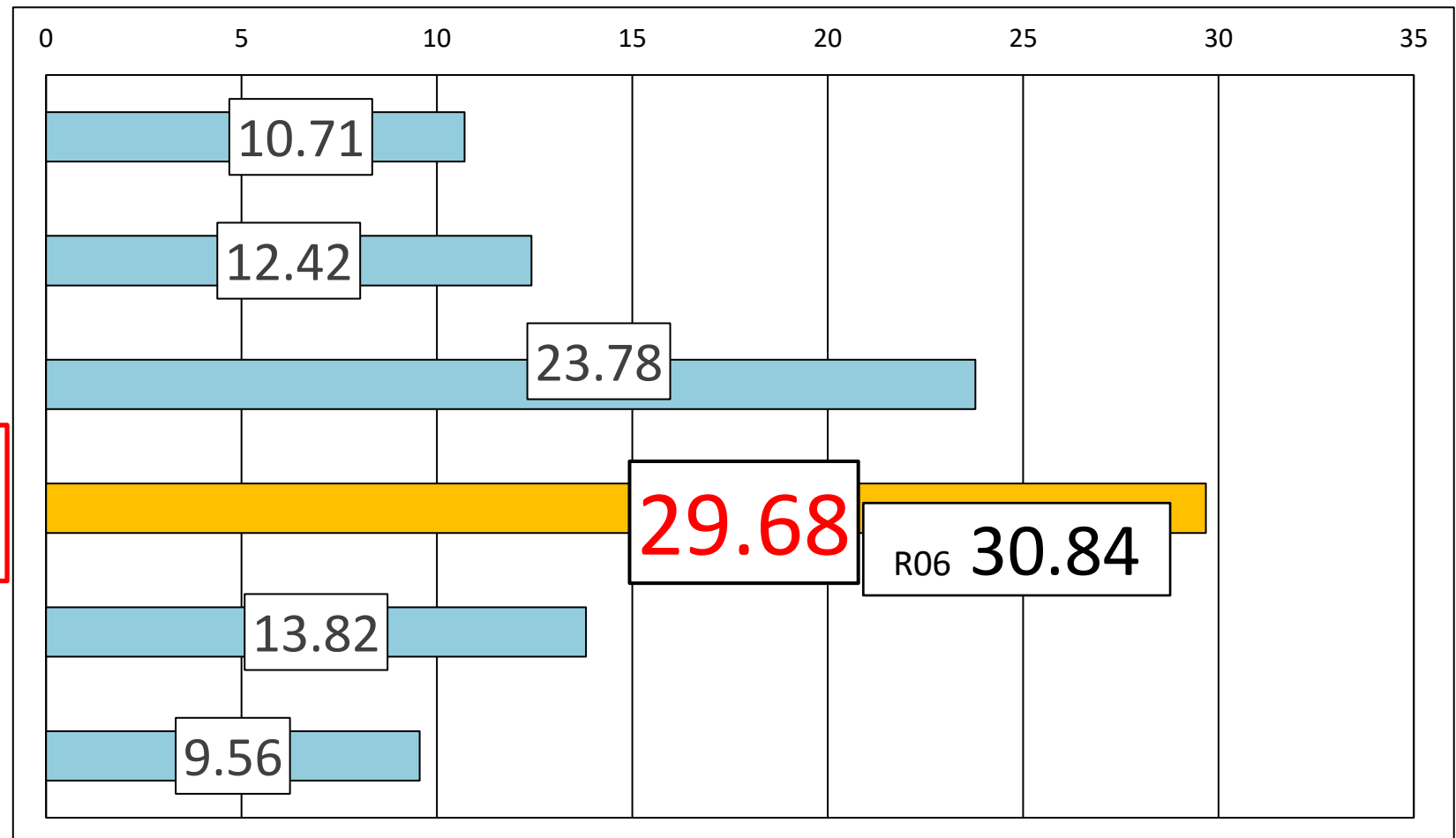
(2) 自分がその指導をしたことはありますか。



【Webコンテンツ活用】

Web上のコンテンツなど、外部に掲載されているコンテンツを利用して授業をしていますか。(複数回答可能)

- (1) 文科省が掲載しているPDF等の資料を利用している
- (2) 文科省が掲載している動画教材を利用している
- (3) NHKforSchoolのコンテンツを利用している
- (4) YouTubeなどで公開されている(文科省以外の)コンテンツを利用している
- (5) みんなのコードやエネ庁など無料で提供してくれる教材を使っている
- (6) その他



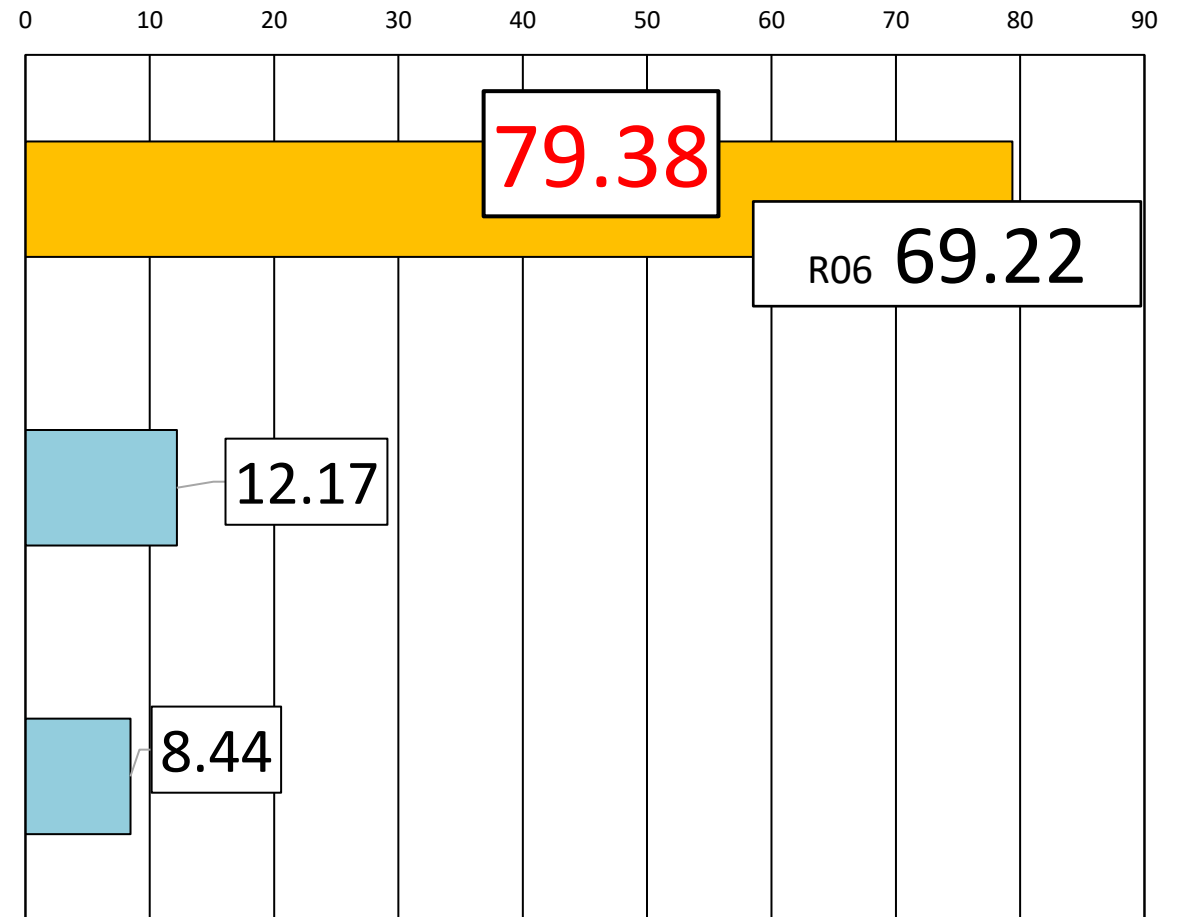
【コンピュータ】

(1) 1人1台端末を使って、技術の教材（中学校教材整備指針に掲載されている教材）を利用できる状態になっていますか

(1) になっている

(2) 自治体が制限をかけている

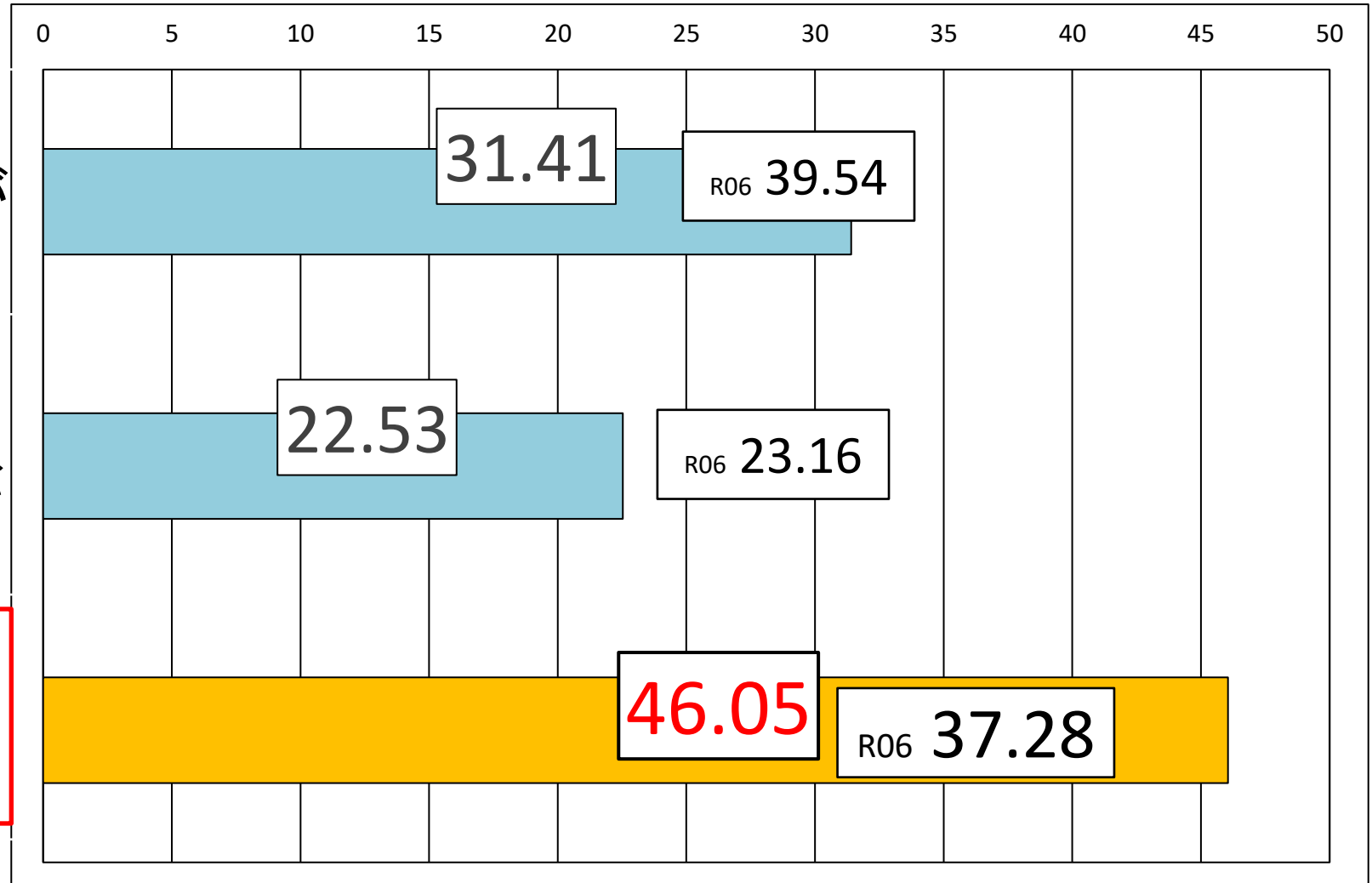
(3) 教材を自治体に整備してもらっていない



【コンピュータ】

(2) コンピュータ室はありますか。

- (1) 1人1台端末以外のコンピュータ等の機器が設置されてある。
- (2) コンピュータ等の据え置きされた機器はないが、コンピュータ室がある。
- (3) コンピュータ室は違う用途の部屋になっていない。



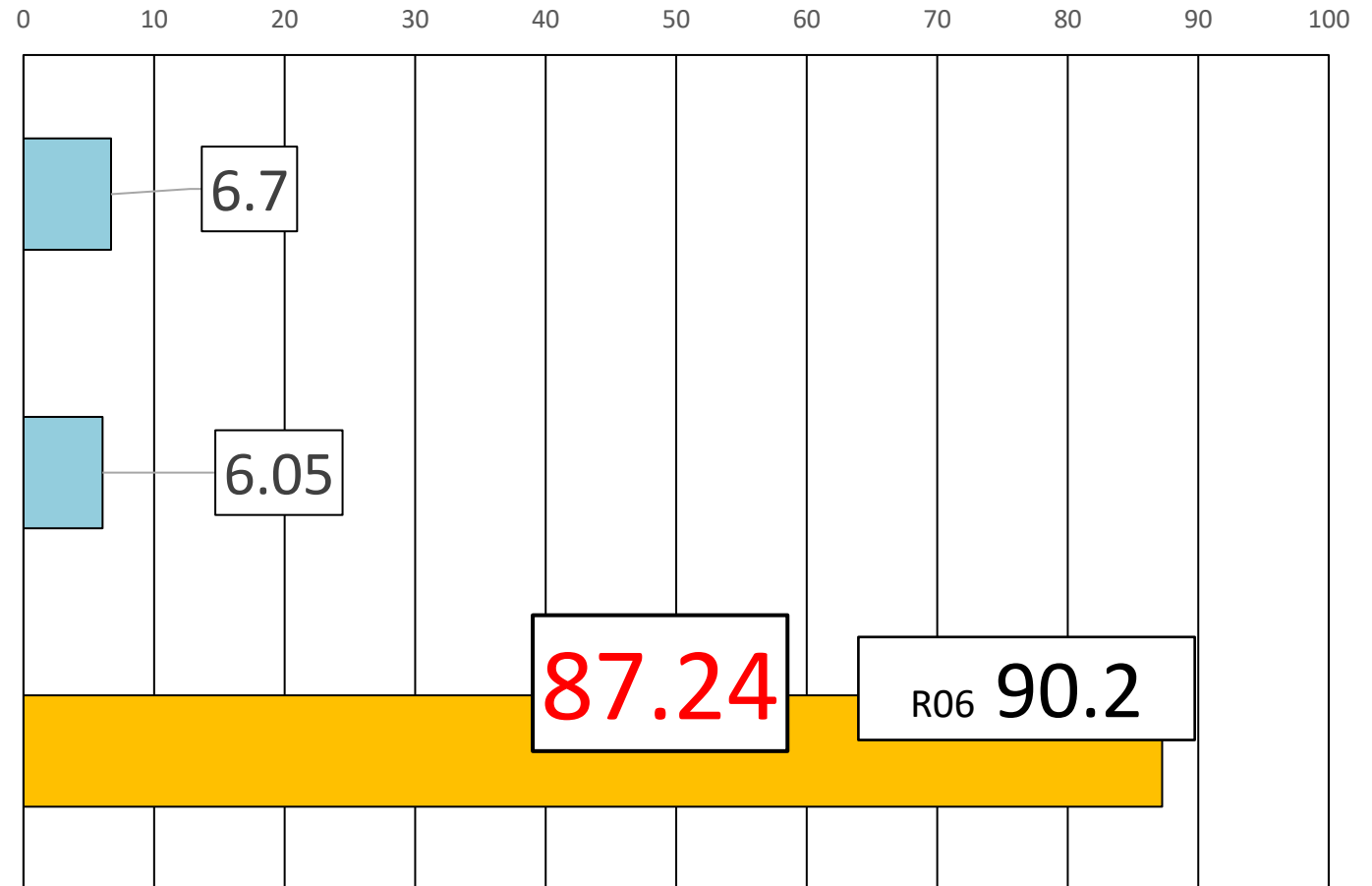
【コンピュータ】

(3) コンピュータ室または技術室に、3Dプリンタを整備して運用する予定はありますか。

(1)既に運用している

(2)予定がある

(3)予定はない



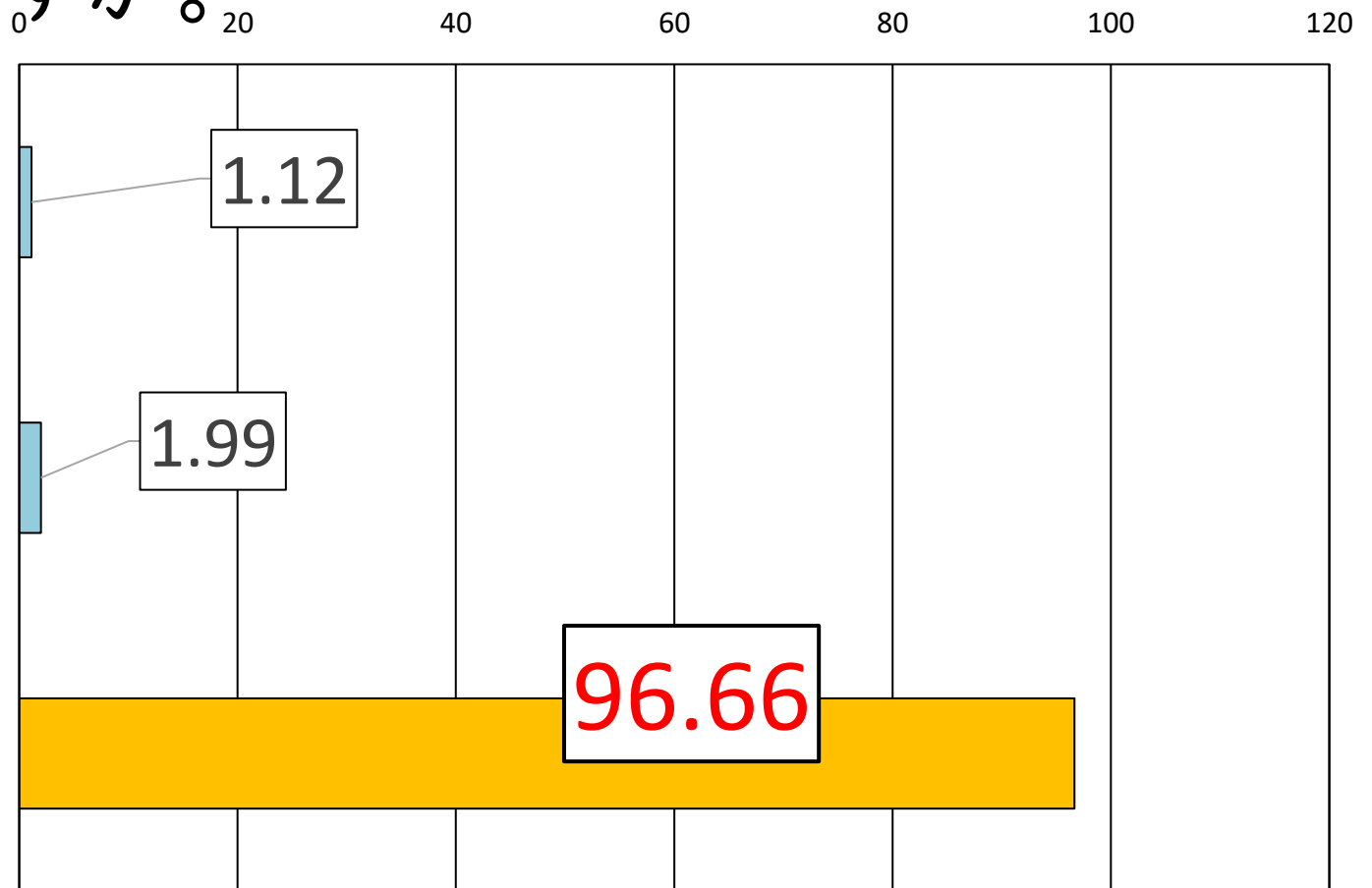
【コンピュータ】

(4) コンピュータ室または技術室に、レーザ加工機を整備して運用する予定はありますか。

(1)既に運用している

(2)予定がある

(3)予定はない



指導内容について

指導内容

A材料と加工の技術

(01)【内容A】

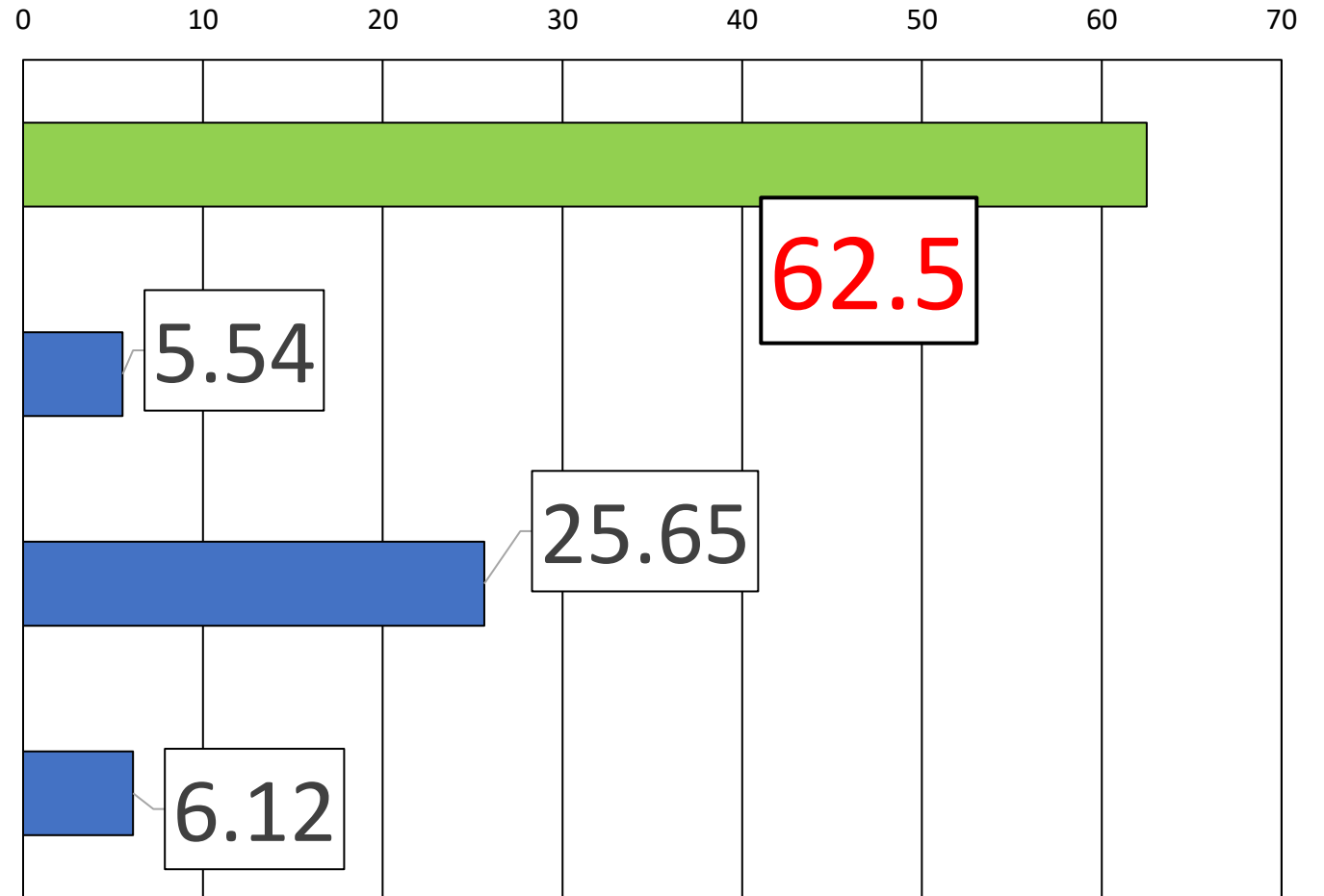
主体的な学びの評価項目は主に何ですか。

(1)振り返りシート

(2)設計図

(3)製作品

(4) その他



指導内容

A材料と加工の技術

(01)-1【内容A】

その他の場合は、どのような評価項目ですか。

1 創造性の観点(作品製作)

計画と実行: 課題設計、試行錯誤を通じた作品の完成度と工夫。

技術・表現: 材料、技法、工具の安全な利用と創造的な表現。

2 主体的な学習態度(振り返り・取り組み)

自己内省: 学習の気づきや課題を具体的に記録し、専門用語を活用。

総合的な意欲: 授業への主体的参加、ノートやICTの積極的活用。

3 知識の定着と活用

小テスト・定期考査での知識の定着。学習内容を実生活に応用する意思。

【補足】

これらの要素は、作品・振り返り・技術など全てを総合的に判断し、多角的な資料(ポートフォリオ等)で評価。

指導内容

B生物育成の技術

(02)【内容B】

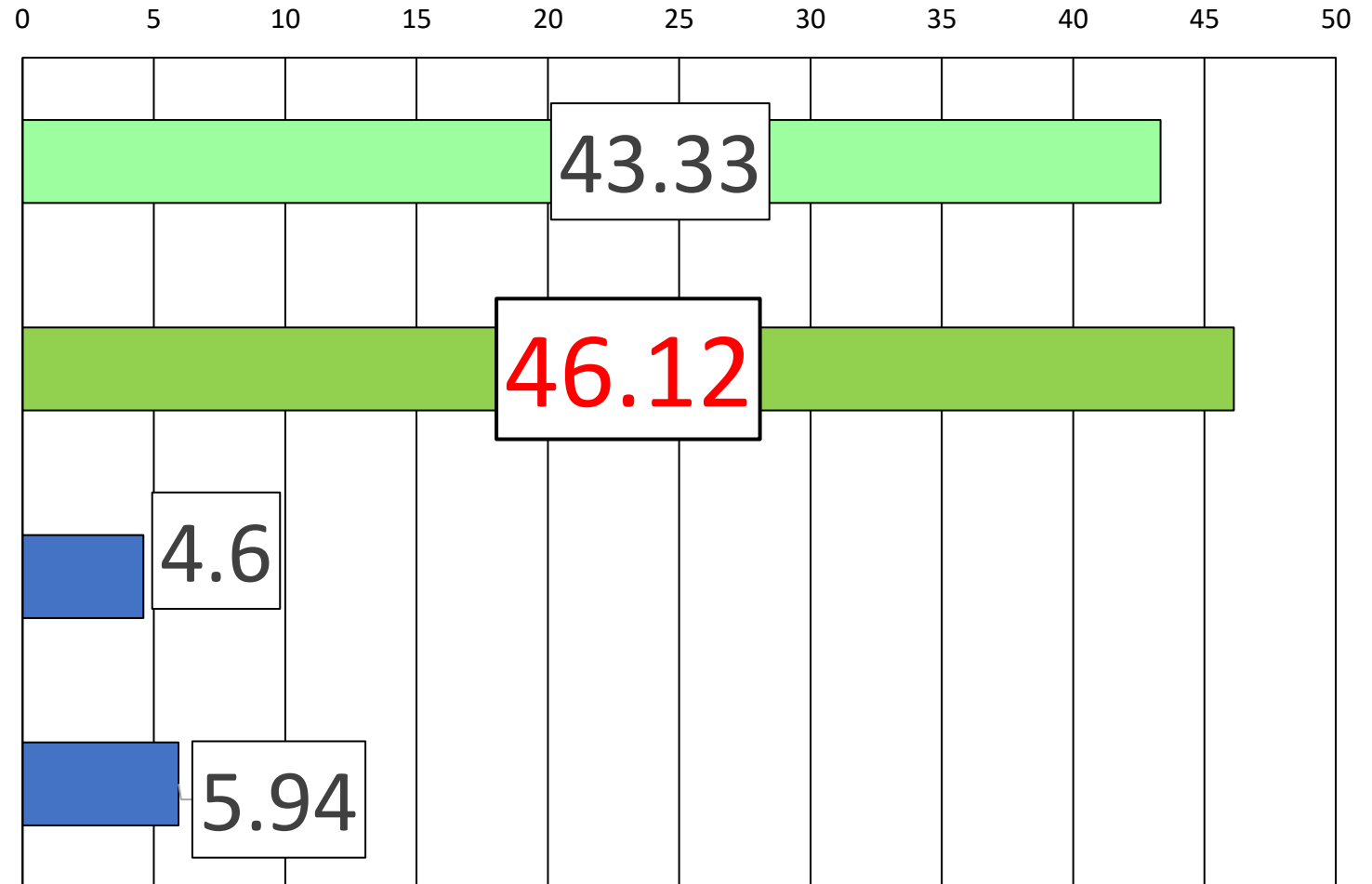
主体的な学びの評価項目は主に何ですか。

(1)振り返りシート

(2)生育計画・記録

(3)生育したもの

(4)その他



指導内容

B生物育成の技術

(02)-I【内容B】

その他の場合は、どのような評価項目ですか。

生物育成の評価要素(主体的な学習態度)

1 育成活動のサイクル(計画・実行・記録)

計画と改善: 知識に基づいた計画、生育状況に応じた自己調整(問題分析・改善・修正)。

粘り強さ: 定期的な観察・管理を最後まで継続する姿勢。

記録と考察: 正確かつ詳細な観察記録(写真・スケッチ含む)と、それに基づいた分析・考察。

2 自己調整と内省(振り返り)

具体的な記述: 学んだこと、工夫点、改善点を専門用語を用いて記述。

応用と展望: 学習内容を実生活や将来に結びつける展望。

資料: 振り返りシート、栽培記録/日誌、レポートなどを活用。

3 総合的な学習態度

授業への取り組み: 授業中の発言、グループ活動、熱意。

ICT活用: Google Classroomなどでのデジタルデータの記録・活用。

【総評】粘り強さ、課題解決への意欲、学習の調整力を、「計画・実行・記録」のサイクルと内省(振り返り)を通じて総合的に評価。

指導内容

Cエネルギー変換の
技術(03)【内容C】

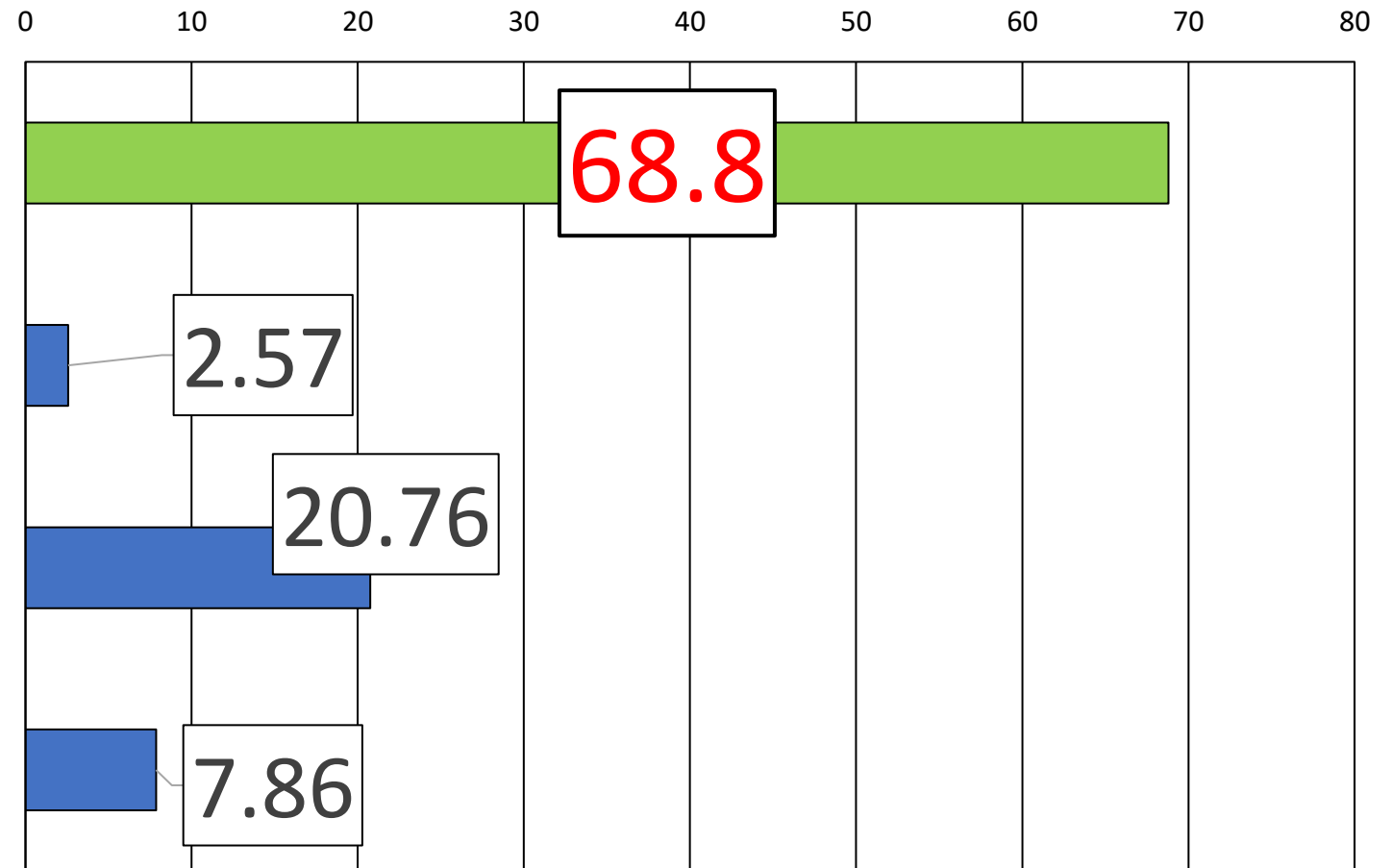
主体的な学びの評価項目は主に何ですか。

(1)振り返りシート

(2)設計図

(3)製作品

(4)その他



指導内容

Cエネルギー変換の
技術

(03)-I【内容C】

その他の場合は、どのような評価項目ですか。

エネルギー変換の評価要素(主体的な学習態度)

1 課題解決と設計への取り組み

エネルギー課題の探究: カーボンニュートラルなど、エネルギー課題に対する多面的な視点と自分なりの考え。

回路設計と構想: 電気回路の仕組みへの探究心と、ブレッドボード実験などによる安全で効率的な設計。

2 製作スキルと自己調整

技能と正確性: 工具(ハンダ付けなど)の安全・適切な使用と、作品の完成度を高める工夫。

調整と改善: 不具合に対し、粘り強く試行錯誤し、作業進度を自己調整する能力。

3 内省とレポートによる表現

振り返りの具体性: 目標達成度、学んだキーワード、論理的な理由や改善方法を記述。

応用と展望: 学んだ知識を自分の生活や持続可能な社会に活かす具体的な考え。

【総評】粘り強い取り組みと応用力を、「課題解決学習」「製作スキル」「深い内省」の3側面から、各種資料(レポート、製作品、振り返りシートなど)を用いて総合的に評価。

指導内容

D情報の技術

(04)【内容D】

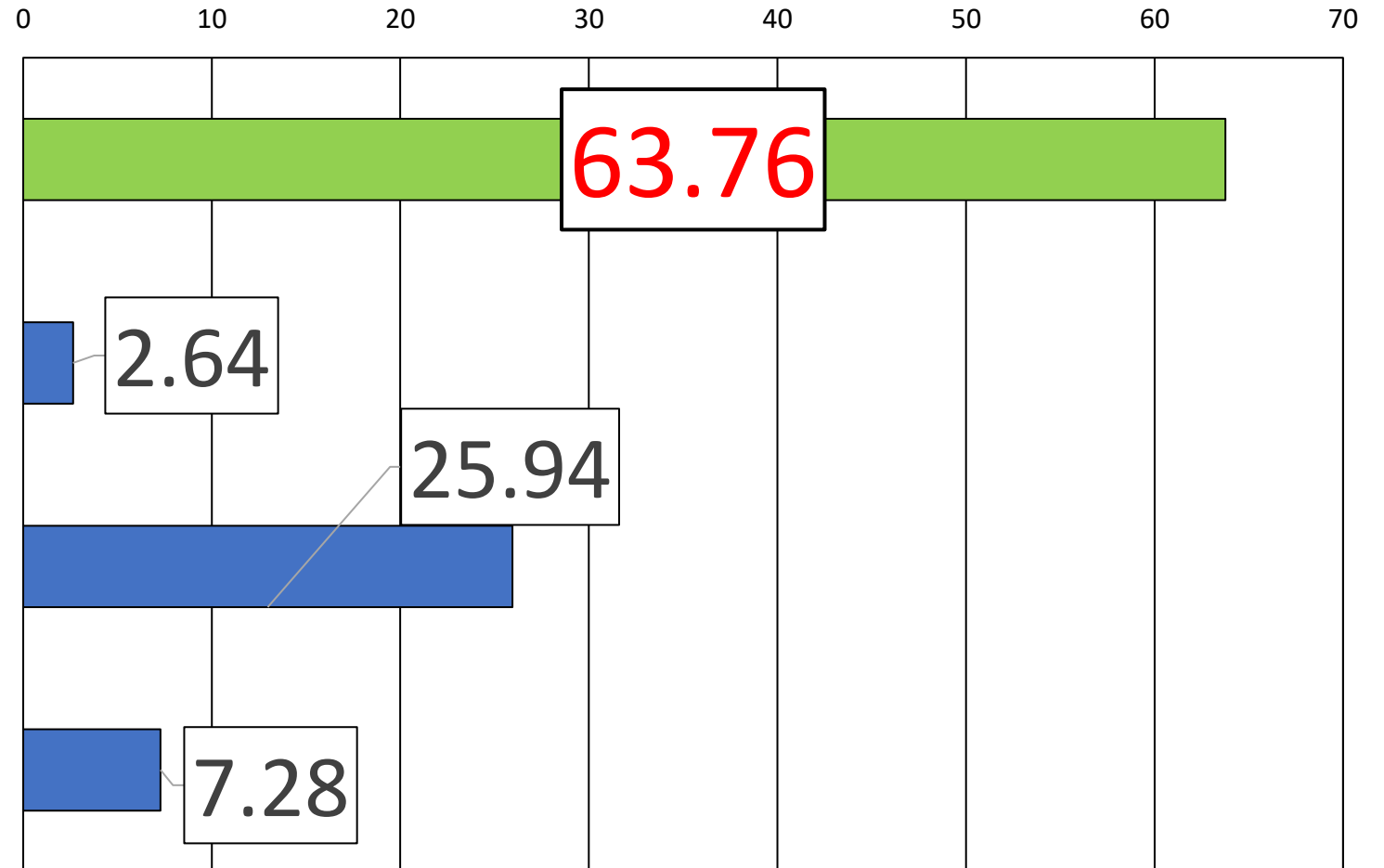
主体的な学びの評価項目は主に何ですか。

(1)振り返りシート

(2)設計図

(3)製作・制作品

(4)その他



指導内容

D情報の技術

(04)-I【内容D】

その他の場合は、どのような評価項目ですか。

1 問題解決への取り組みと粘り強さ

課題解決と設計: 生活の課題を見つけ、プログラムによる解決を構想・設計。フローチャートなどで表現。

試行錯誤とデバッグ: 意図通りに動作しない際の原因分析と粘り強い改善・修正(デバッグ)。最適な動きへの工夫・改良。

進捗と調整: 決められた時間内で完了するための自己調整能力。

2 技術の応用と情報倫理

技術の選択と応用: センサやAIなど、目的に合わせた技術の適切な選択と活用。生活への応用を志向。

情報倫理とモラル: 著作権、セキュリティなど、情報モラルを理解した安全で責任のある制作。

3 内省とレポートによる表現

振り返りの具体性: 目標、学んだキーワード、論理的な理由や改善方法を具体的に記述。

資料: 振り返りシート、プログラミングレポート、プログラムデータ、ICTツールの活用状況などを総合的に判断。

【総評】問題解決への意欲と粘り強さ、技術の応用と倫理、深い内省の3つの核から、多角的に評価。

情報機器や情報の技術を 活用する場面について

指導内容

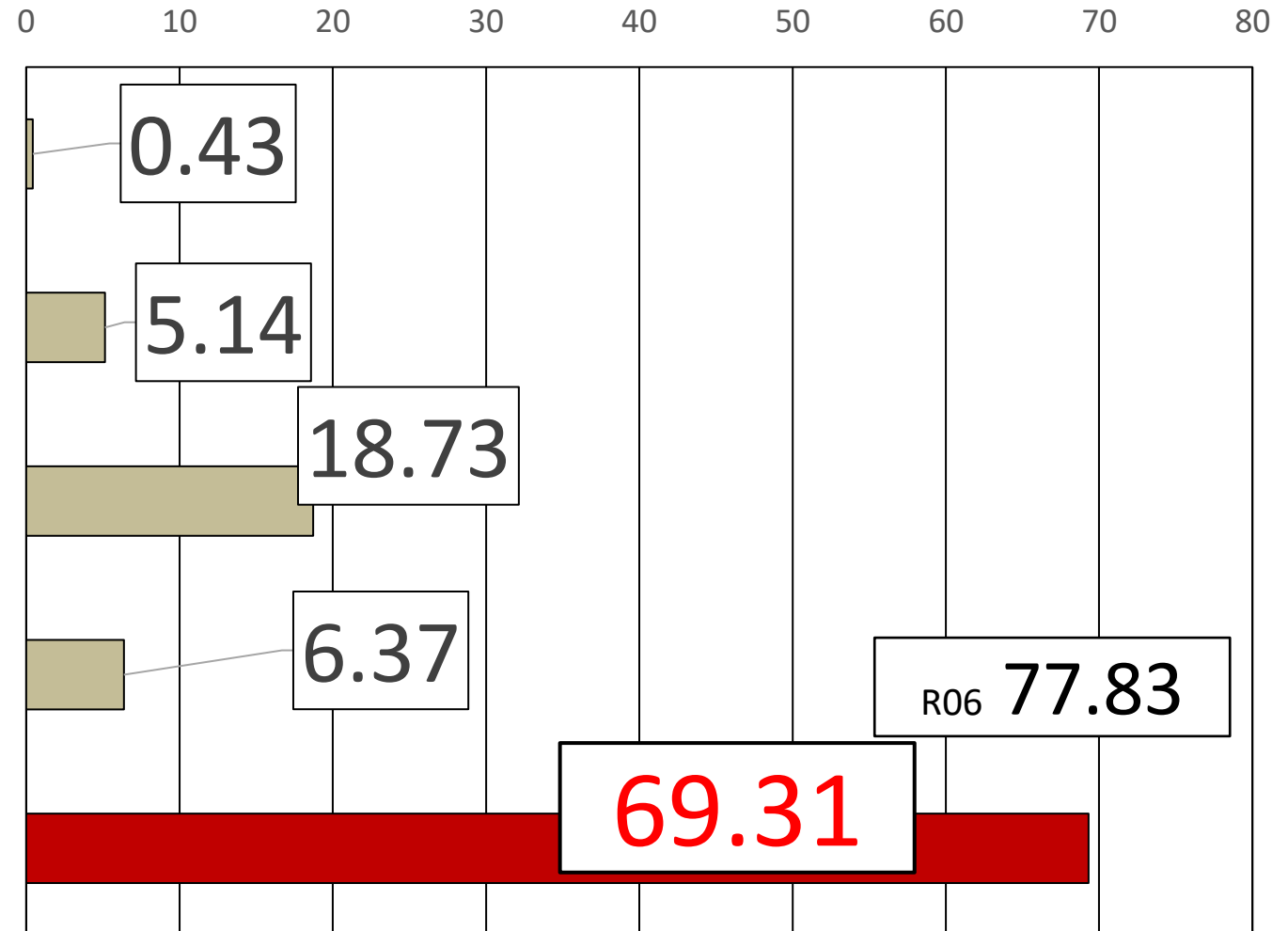
A材料と加工の技術

(05)【内容A】

設計時においてCAD等を使用していますか。

- (1) 自治体が整備した有料のCADを使っている。
- (2) 学校で購入した(生徒からの集金を含む)有料のCADを使っている。
- (3) 無料のCADを使っている。
- (4) 使いたいけど、自治体の端末制限等のため使えない。

(5)使っていない。



指導内容

A材料と加工の技術

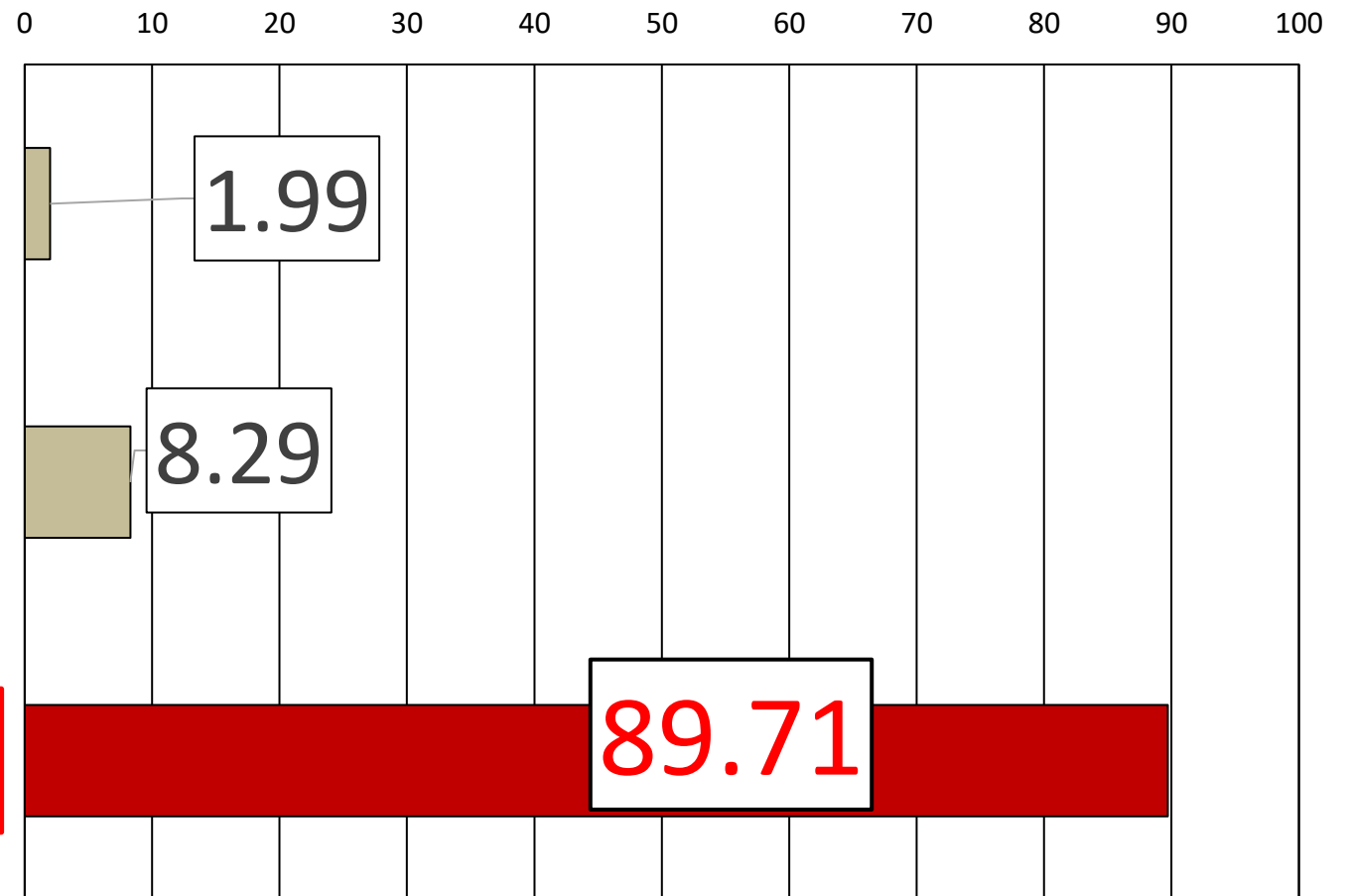
(06)【内容A】

材料と加工の技術でAIの技術を使用していますか。

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



指導内容

B生物育成の技術

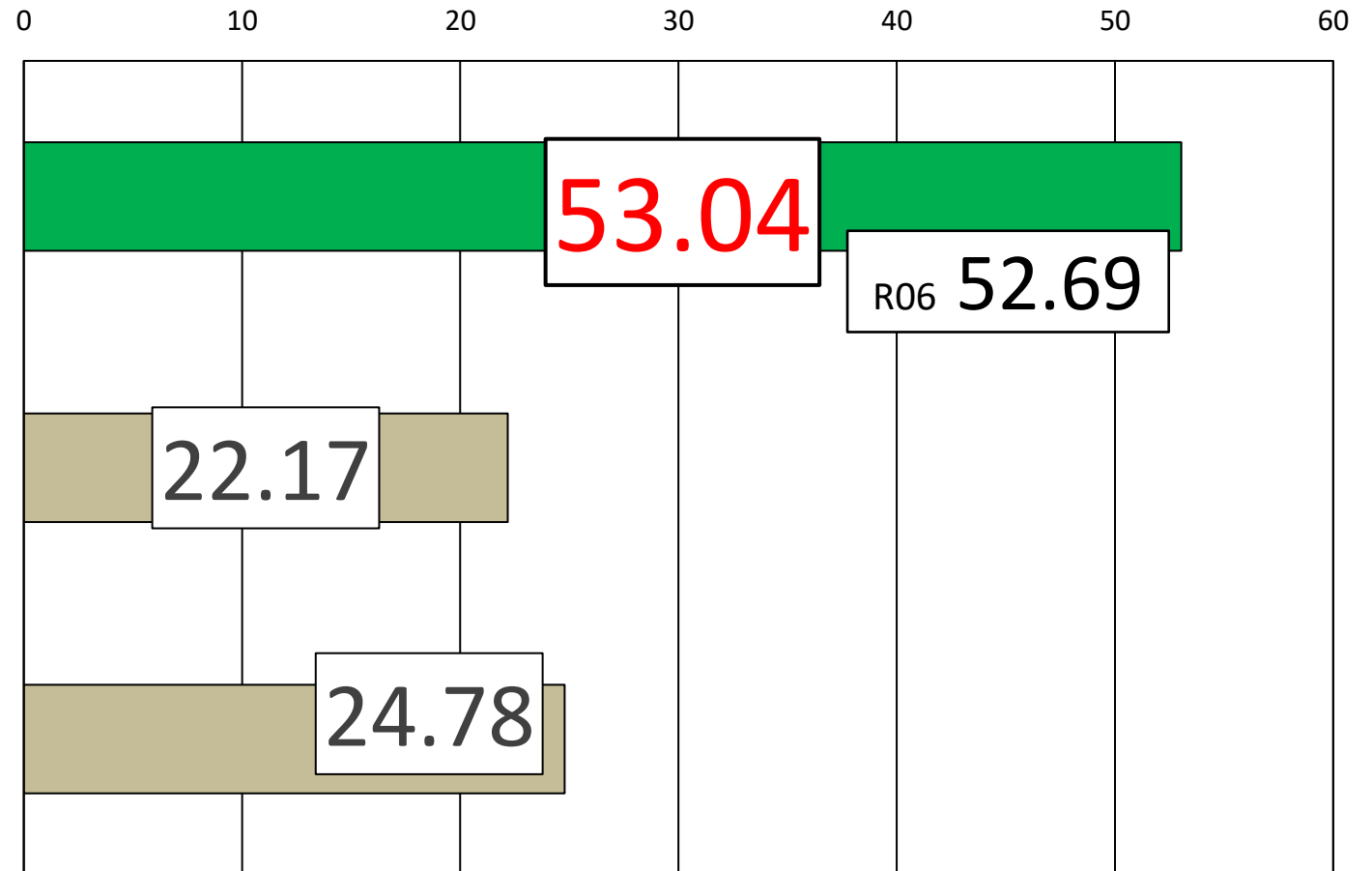
(07)【内容B】

生物育成において、生育記録等は1人1台端末を用いて撮影や記録をさせていますか。

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



指導内容

B生物育成の技術

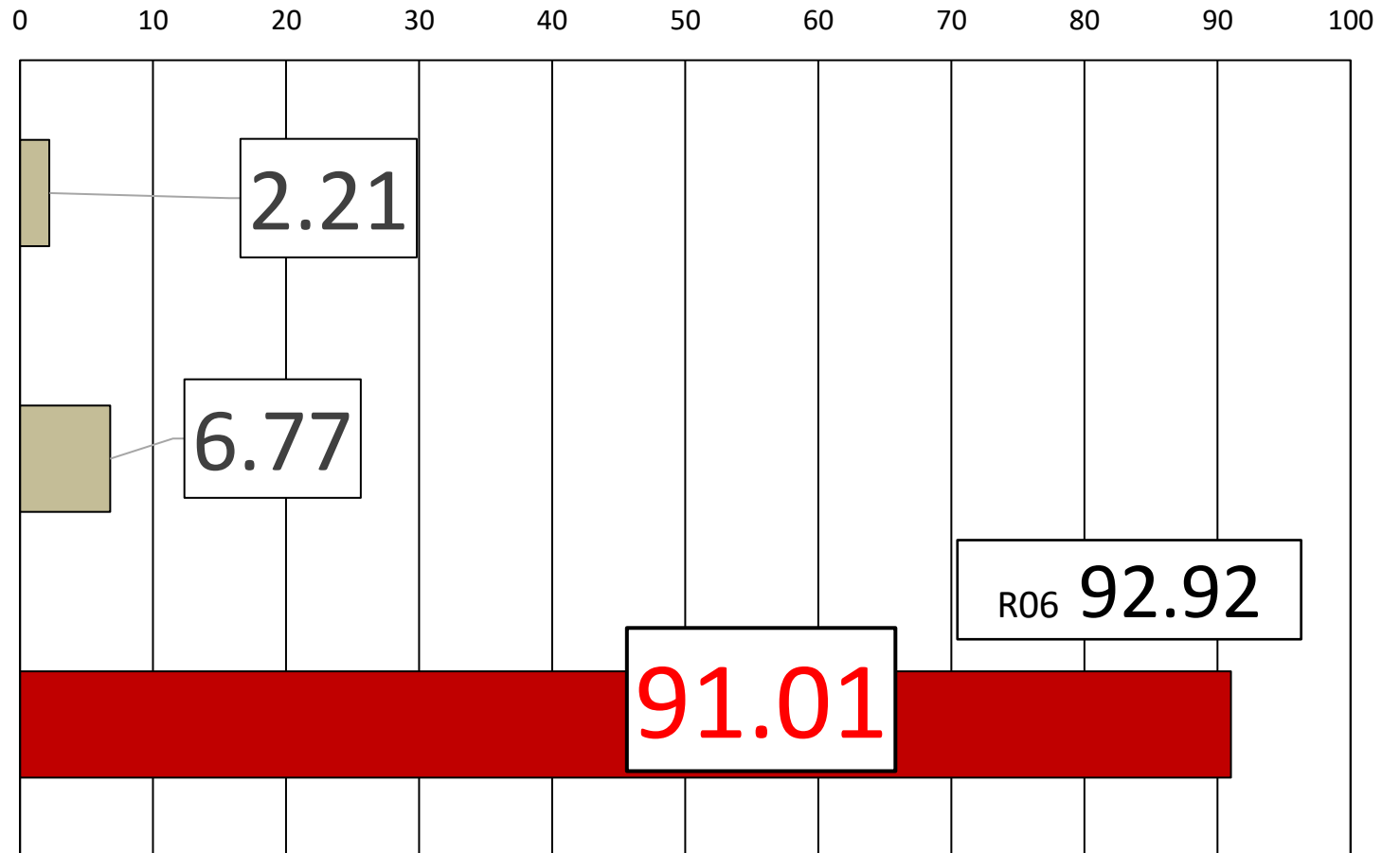
(08)【内容B】

生物育成において、センサを用いて、乾湿・温度・照度等のデータを収集していますか。

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



指導内容

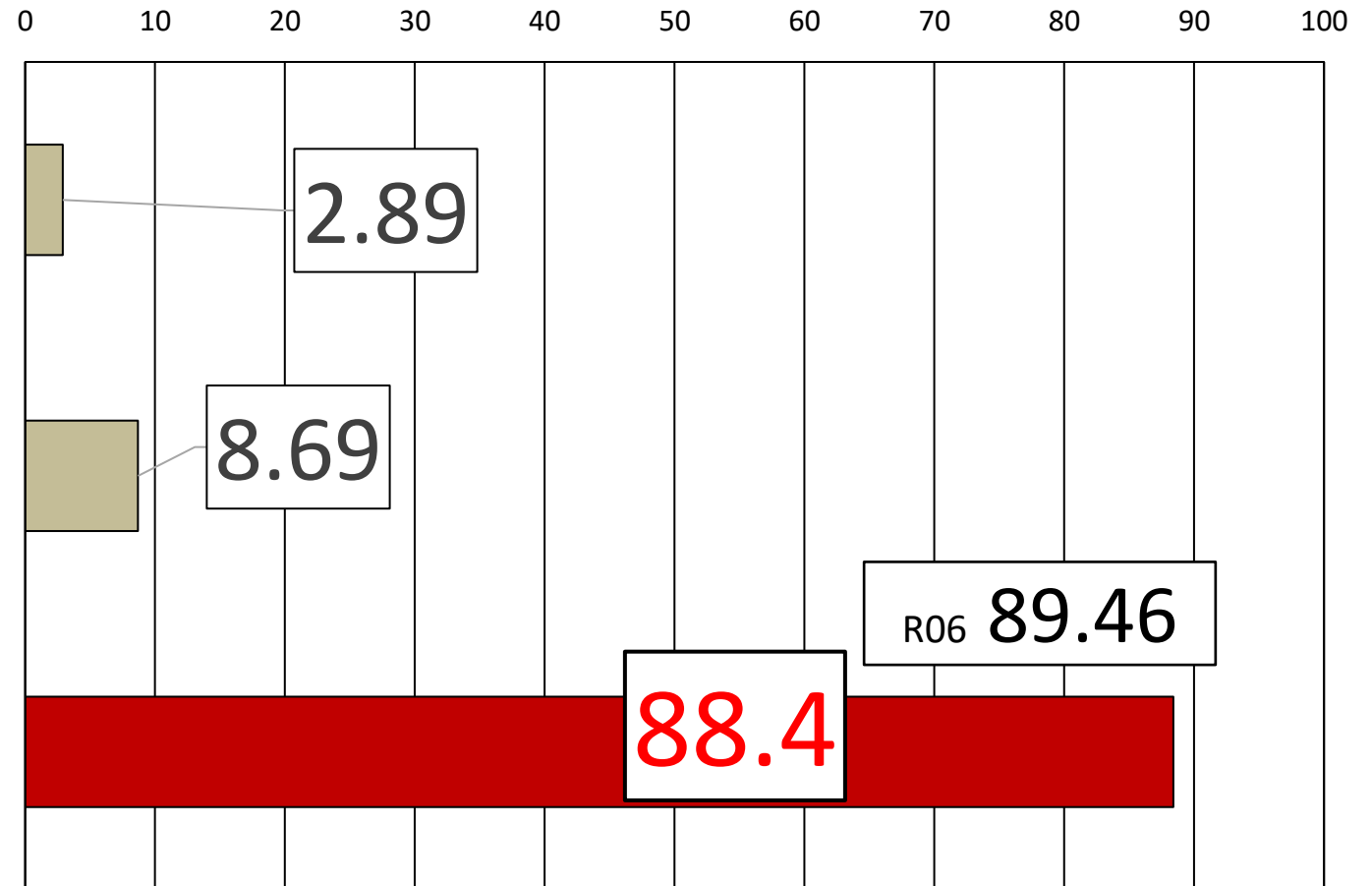
B生物育成の技術

(09)【内容B】生物育成において、収集したデータを用いて水やり・給餌や電照管理等をしていますか。

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



指導内容

B生物育成の技術

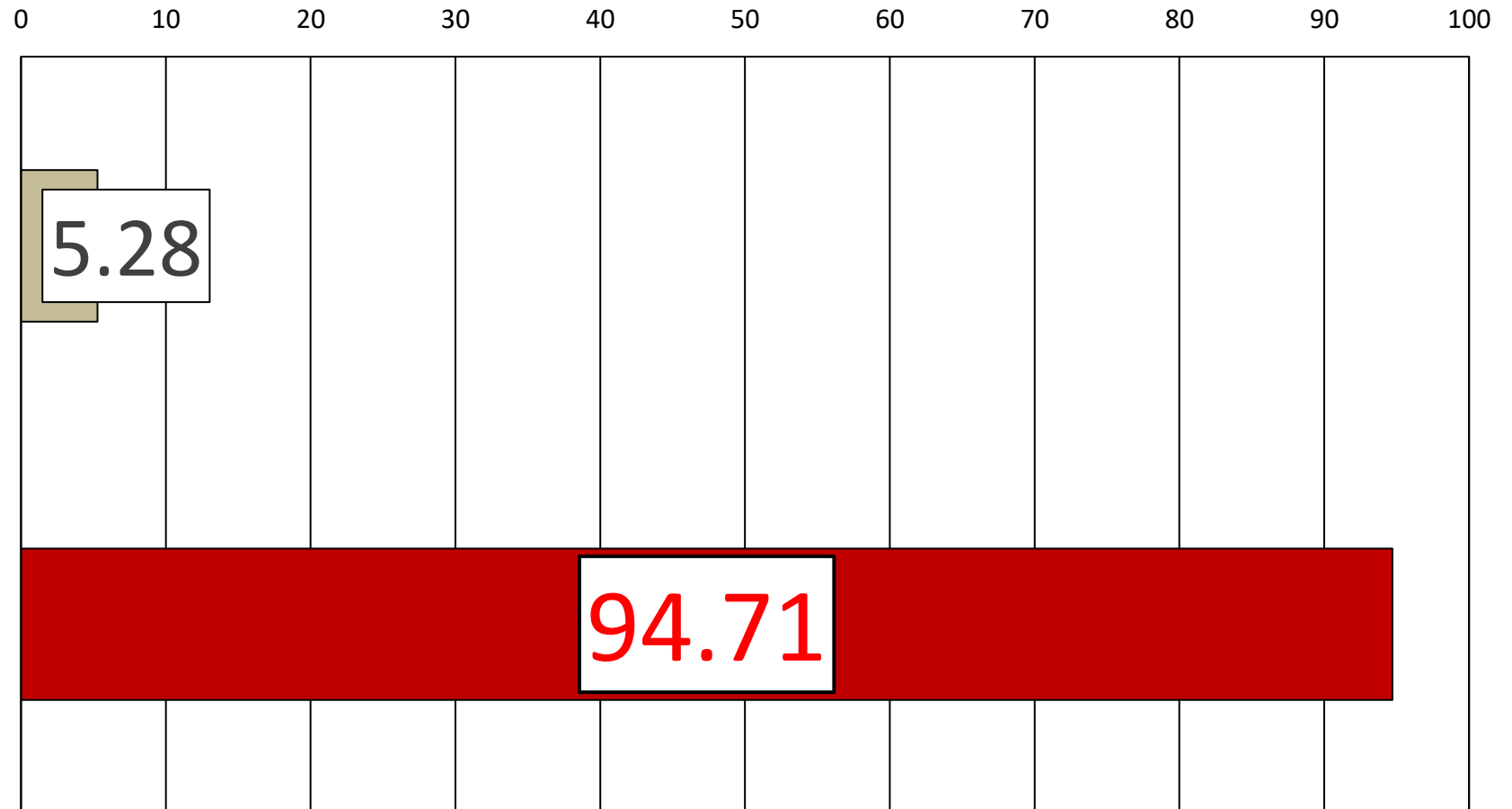
(10)【内容B】
new生物育成においてAIの技術を使用していま
すか。

(1)行っている

5.28

(2)いいえ

94.71



指導内容

Cエネルギー変換の
技術

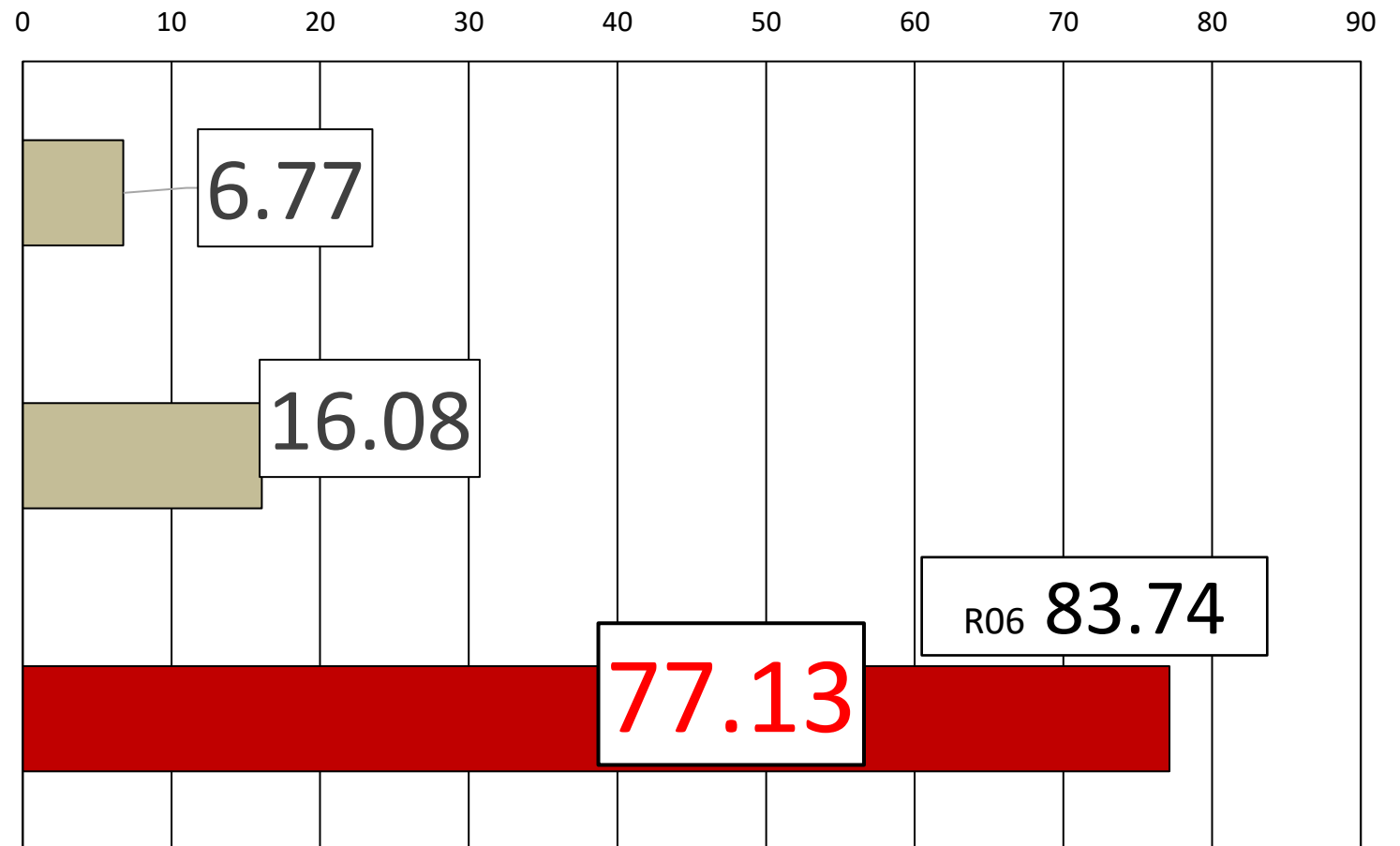
(11)【内容C】

電気回路設計ではアプリケーション等を用いて
シミュレーションを行っていますか

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



R06 83.74

指導内容

Cエネルギー変換の
技術

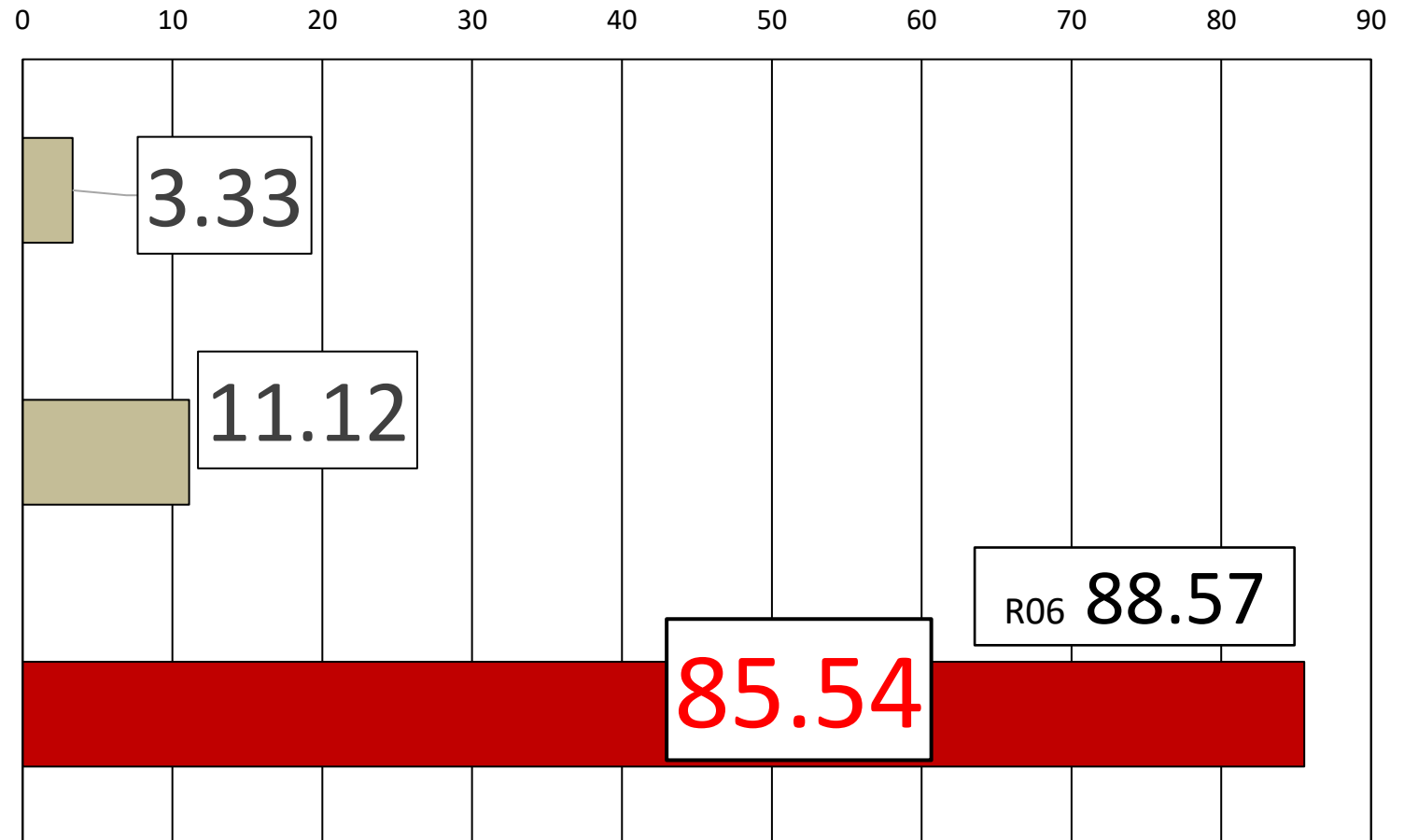
(12)【内容C】

機械設計ではアプリケーション等を用いてシミュレーションを行っていますか

(1)行っている

(2)一部行っている

(3)いいえ



R06 88.57

指導内容

Cエネルギー変換の
技術(13)【内容C】

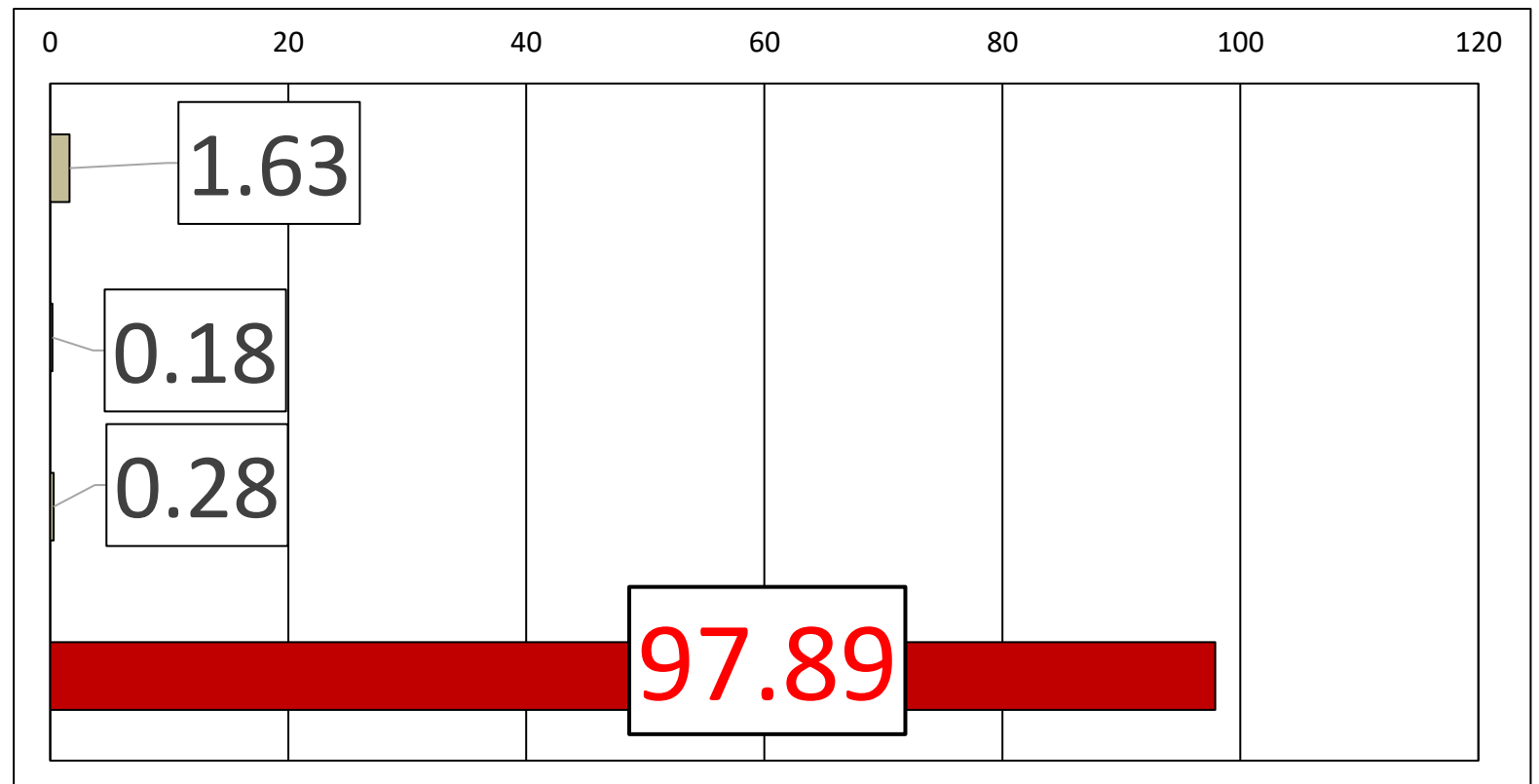
エネルギー変換の技術において、筐体や躯体、それらの部品の作成に3Dプリンタやレーザー加工機を利用していますか。

(1)3Dプリンタを使っている

(2)レーザー加工機を使っている

(3)3Dプリンタとレーザー加工機両方を使っている

(4)使っていない



指導内容

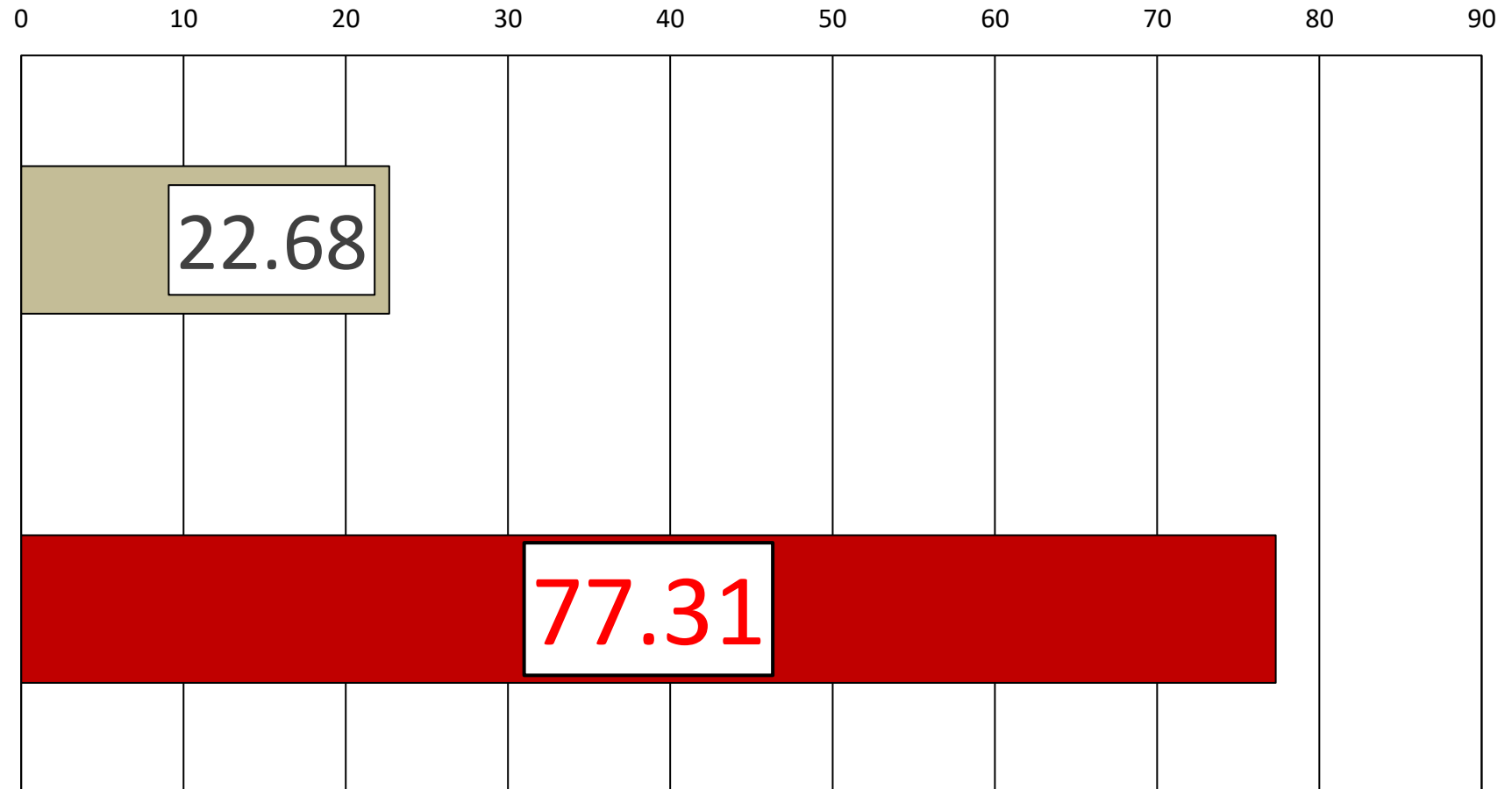
D情報の技術

(14)【内容D】

情報においてAIの技術を使用していますか。

(1)行っている

(2)いいえ



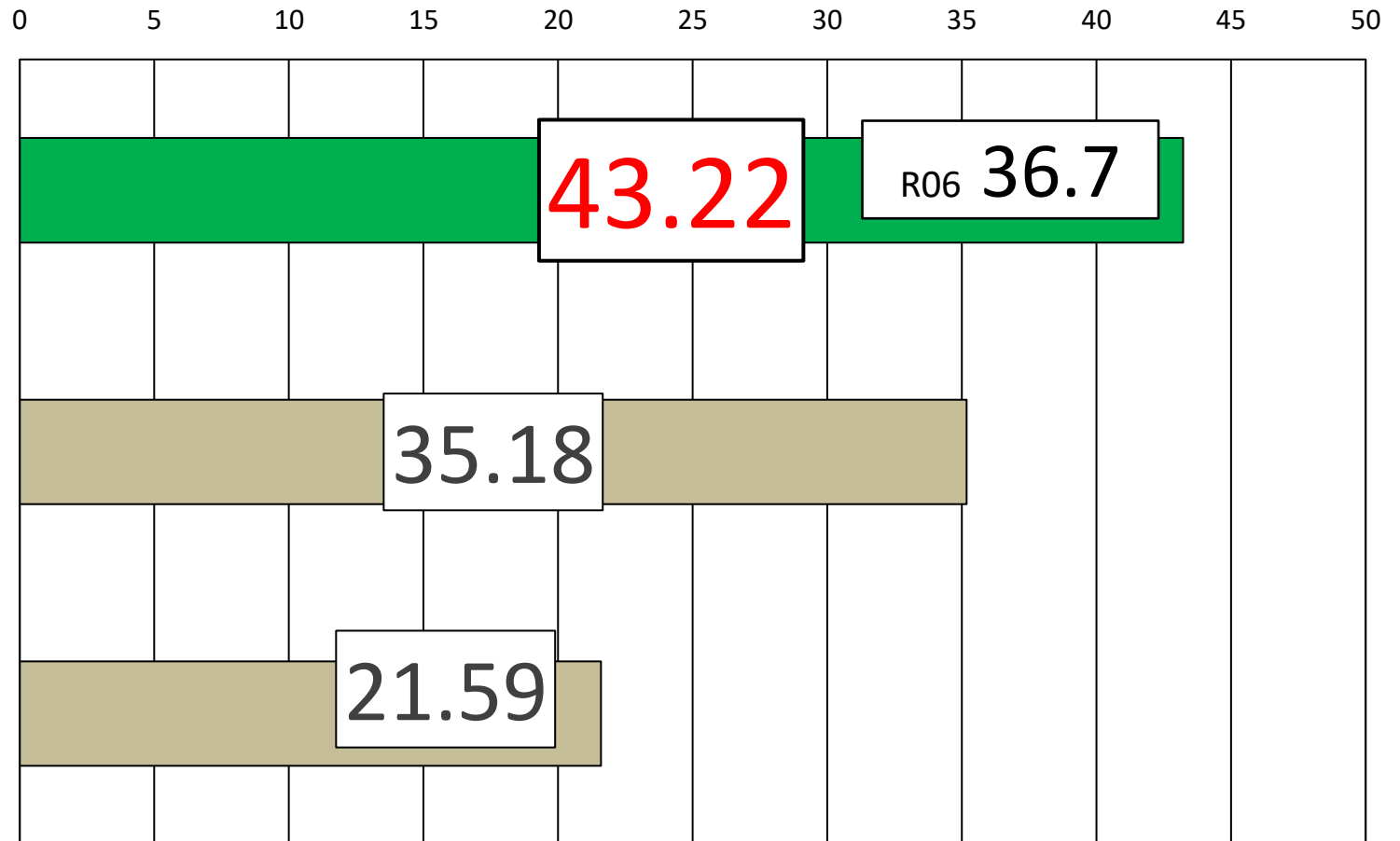
(15)【振り返り】

学習の振り返り等は1人1台端末を用いて記録・提出させていますか。

(1)行っている

(2)一部行っている

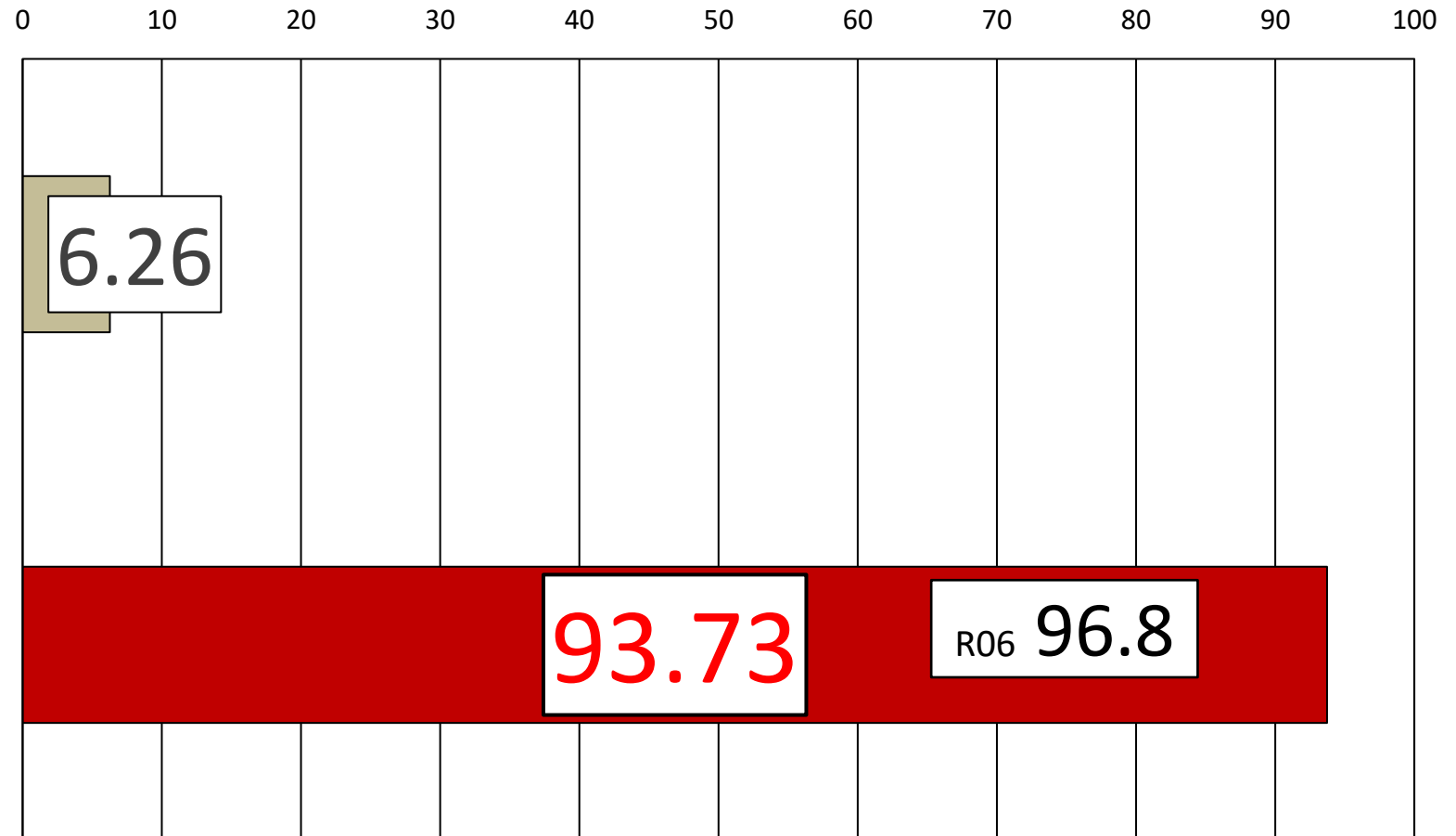
(3)いいえ



(16)【生成AI】

計画・設計や製作・制作・管理等で生成AIを活用している場面はありますか。

(1)行っている



(2)行っていない

R06 96.8

(17)【生成AI】

行っている場合は、どのような内容で生成AIを活用していますか。

1 主な活用場面

思考・構想: 課題アイデア出し、設計アドバイス、計画の妥当性検証。

制作補助: プログラムコード作成・デバッグ、文章添削、画像生成。

役割: 生徒の「相談相手」や「創作補助」として活用。

2 学習支援と指導

個別化: AIによるリアルタイムの振り返り評価・助言（個別最適化）。

倫理指導: 著作権、情報の真偽、利用ルールを指導。

スキル: プロンプトの投げ方など活用スキルを指導。

3 導入状況と課題

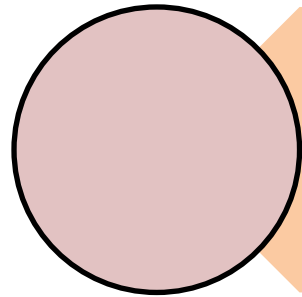
制約: 自治体の方針により生徒の使用が制限されている学校が多数。

教員活用: 生徒が使えない場合、教員が指導案や教材作成に利用。

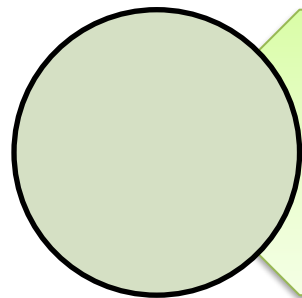
今後: 今後の環境整備と活用拡大に意向あり。

(18)【まとめ】

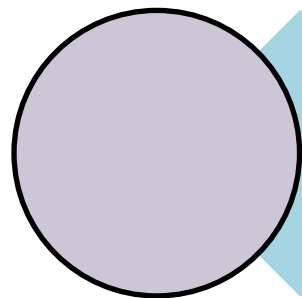
技術分野を指導する際、困っていること。



1 環境・設備・予算の不足(ハード面)



2 教員体制と時間的な負担(ソフト面)

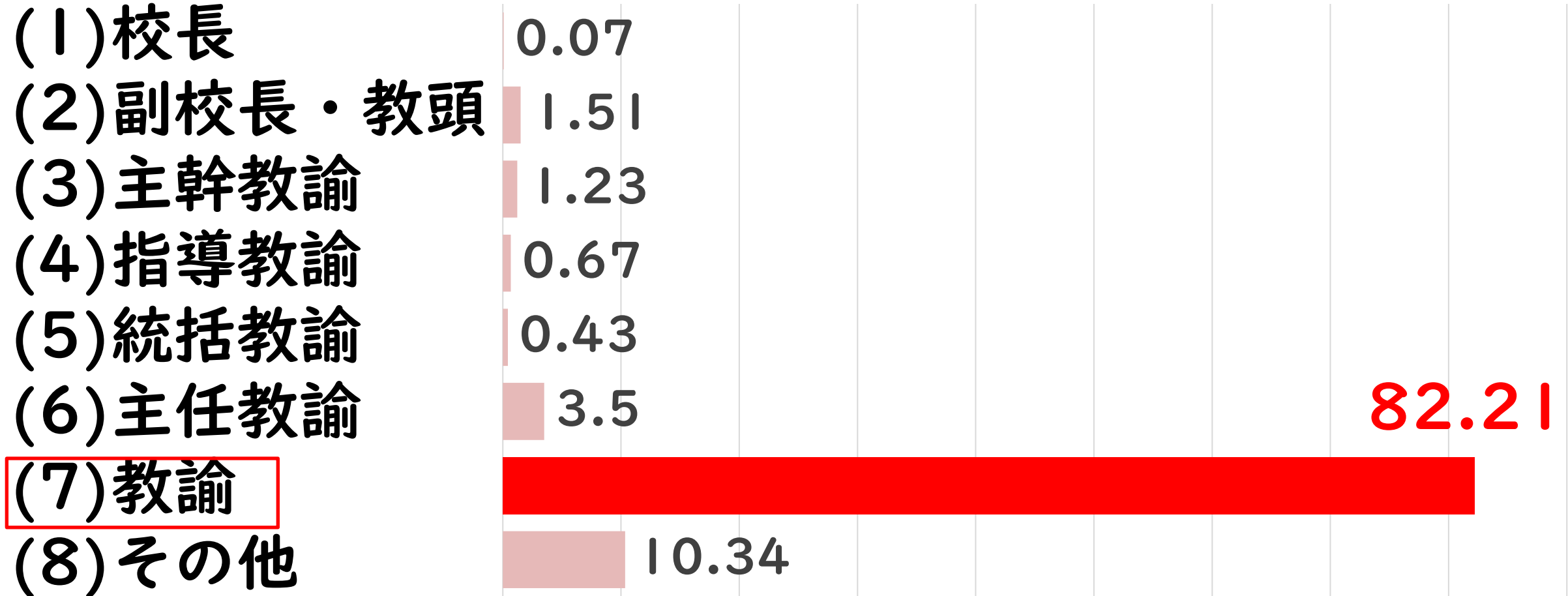


3 指導内容と評価の困難性

家庭分野

アンケート回答数 2513名

[I] (01) 家庭分野を指導されている職層はなんですか。



〔Ⅰ〕(02) あなたの勤務形態は、次のどれにあたりますか。

R06 85.8

85.56

(1) 正規教員
(教員定数に含む教員)

(2) その他
(期限付き教員、
非常勤講師等)

14.43

[I] (03) あなたの教員免許資格は、
次のどれにあたりますか。

R06 90.26

91.01

(1) 正式免許教諭

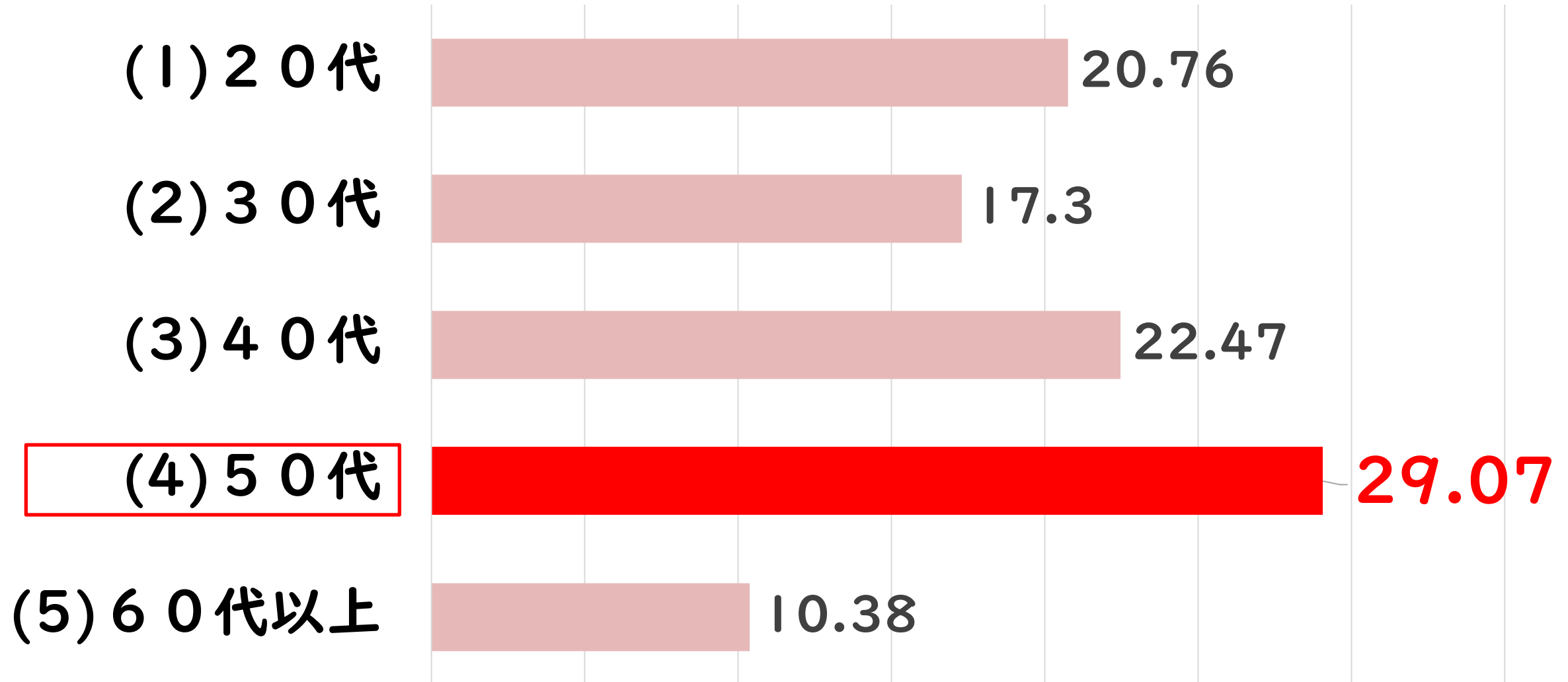
(2) 臨時免許教諭

(3) その他

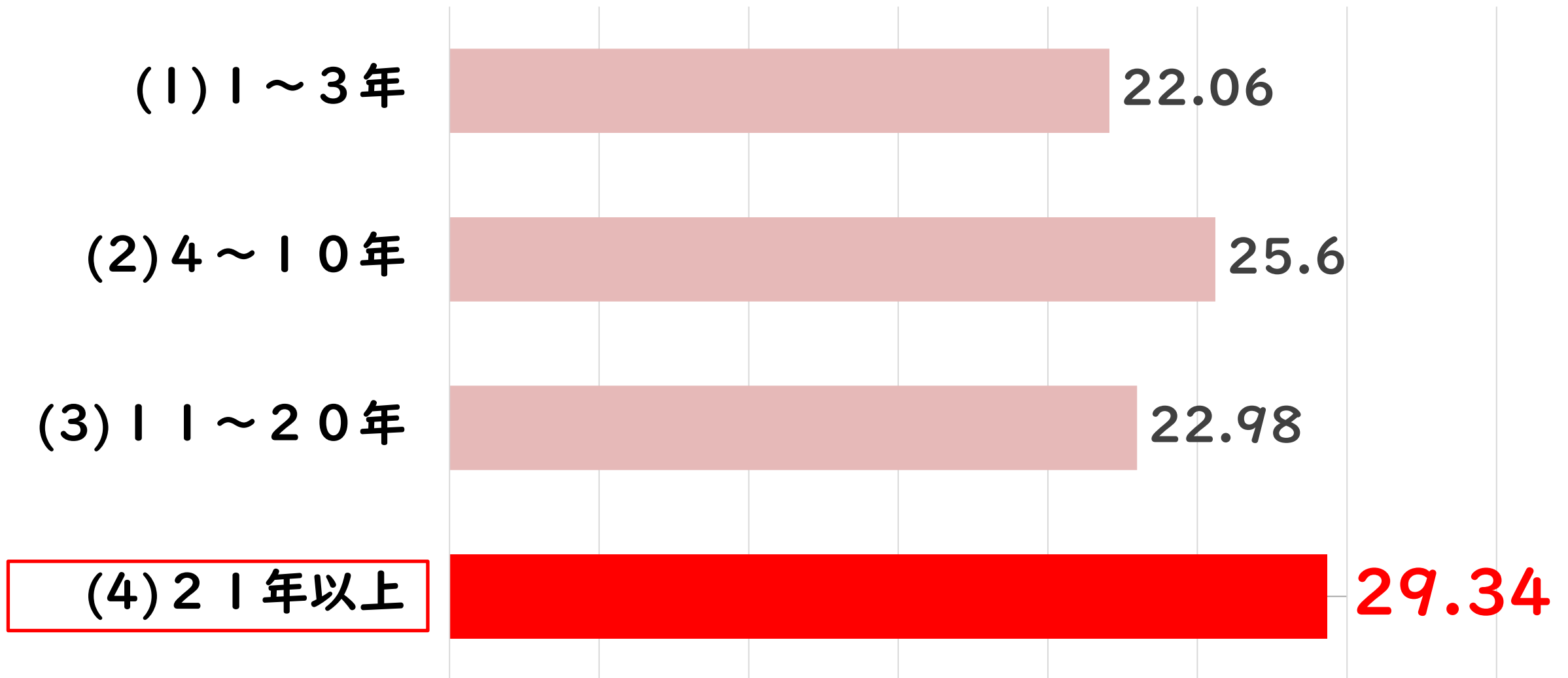
6.92

2.06

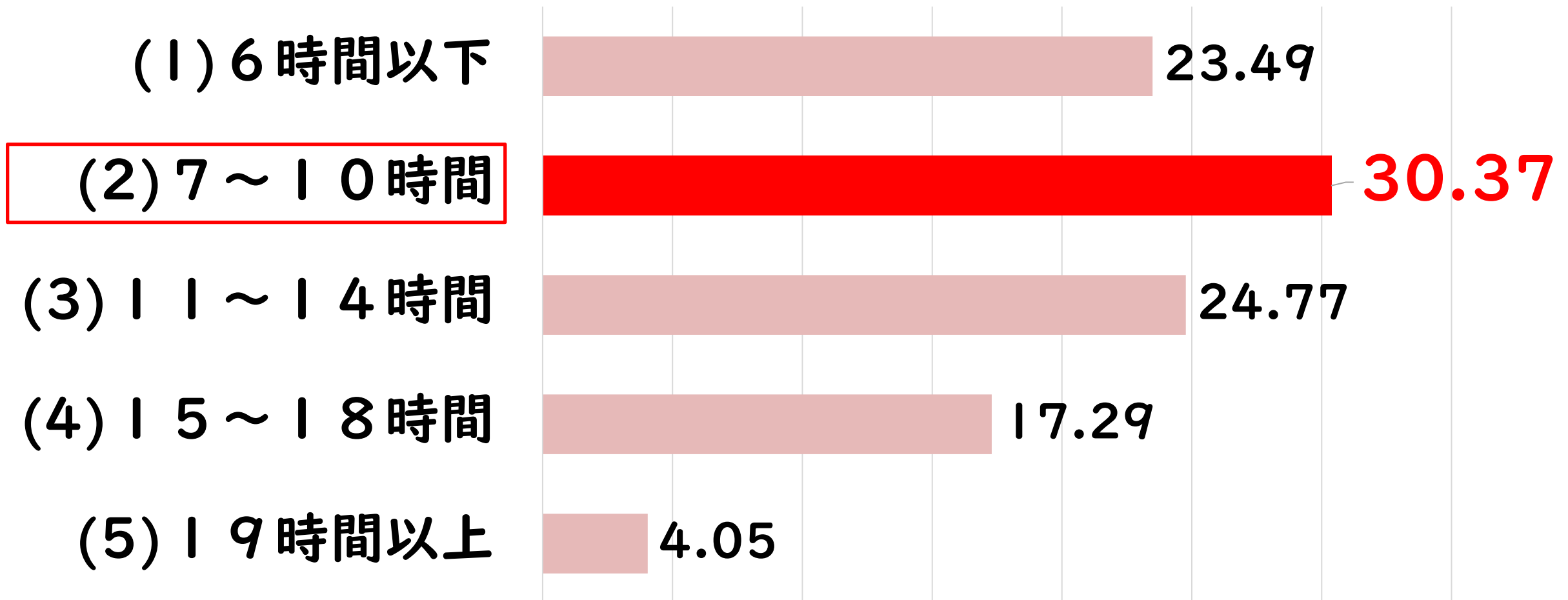
[I] (04) あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。



[I] (07) あなたは家庭分野を教えて何年目になりますか。



[I] (8)あなたが担当する週当たりの
家庭分野の授業時数は、次のどれですか。



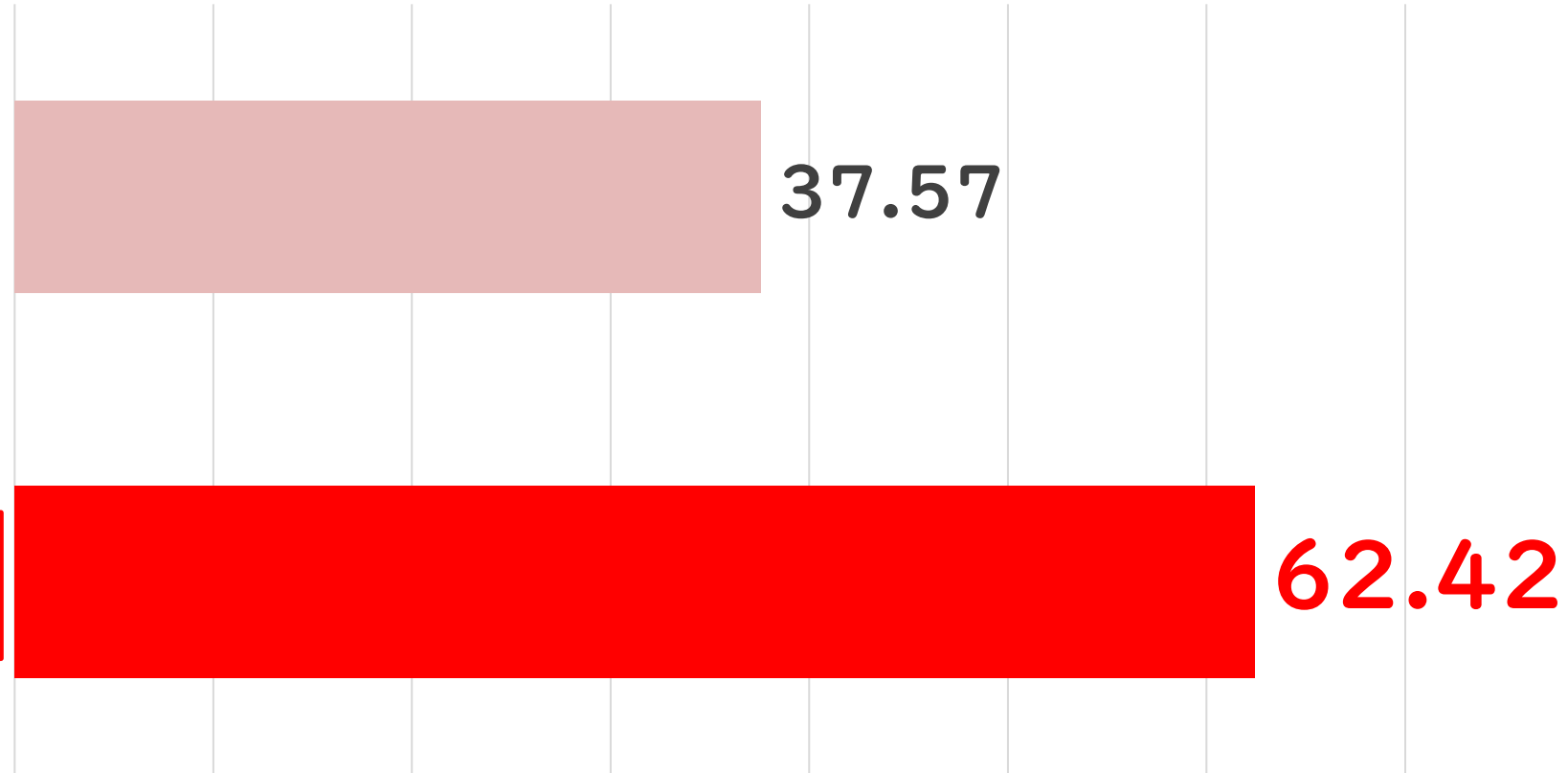
[I] (09) 他教科の授業も担当していますか。
(総合的な学習の時間や道徳などを除く)

(1)担当している

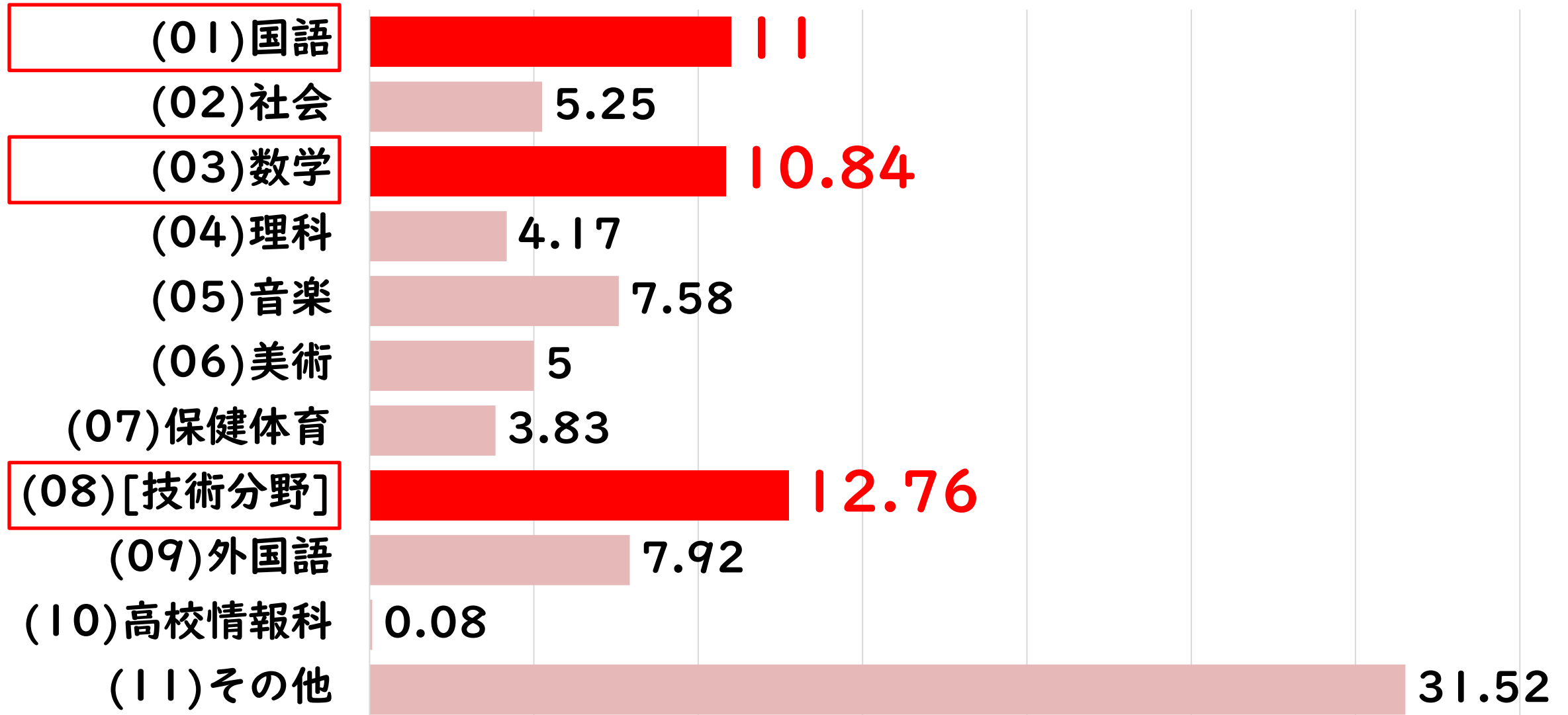
37.57

(2)担当していない

62.42



[I] (09-1)他の担当教科は次のどれですか。(複数回答可)



[I] (09-2) 専門教科はなんですか。

(1)家庭分野

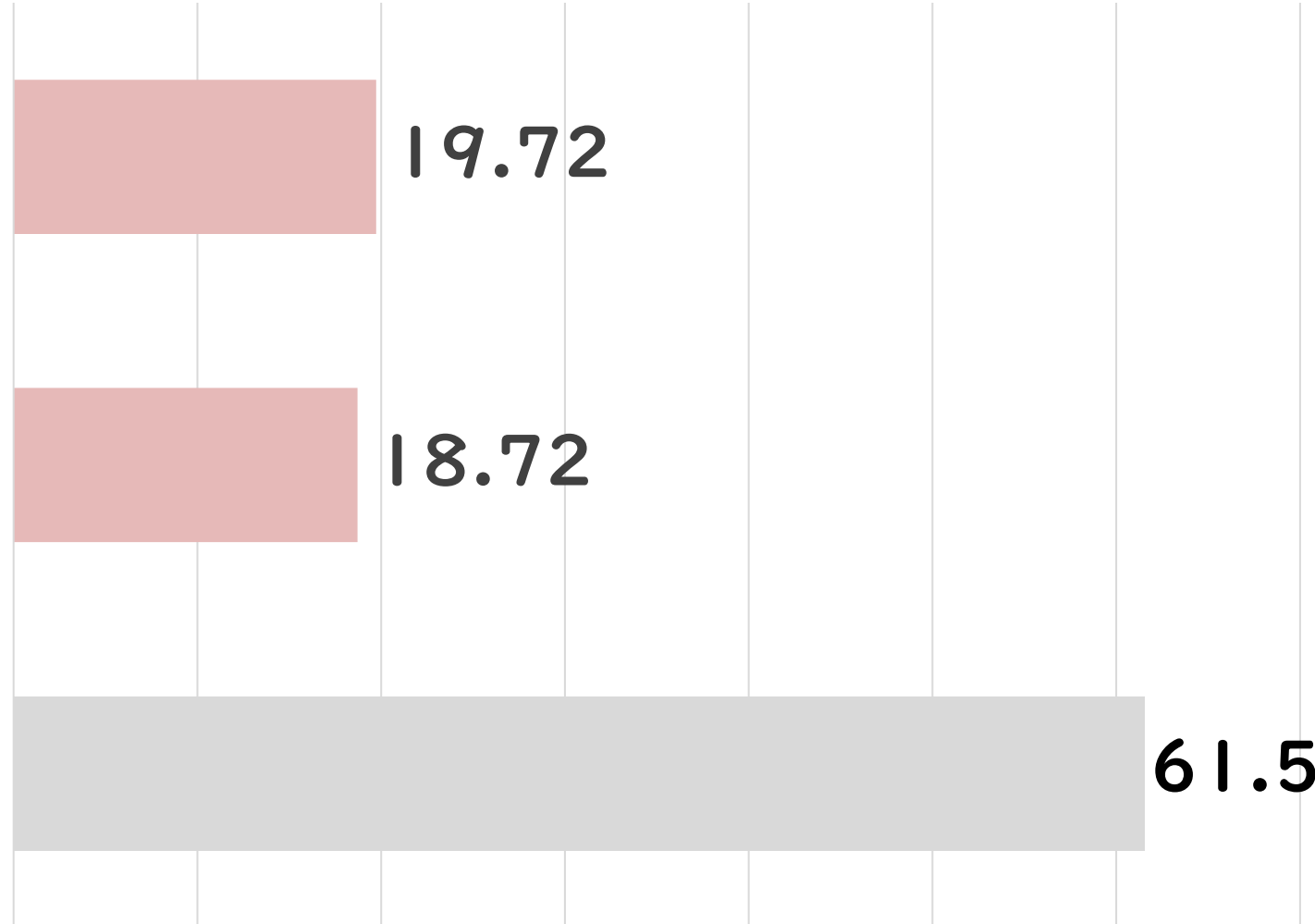
19.72

(2)家庭分野以外

18.72

(空欄)

61.55



〔Ⅰ〕(10)兼務発令による複数校担当はありますか。

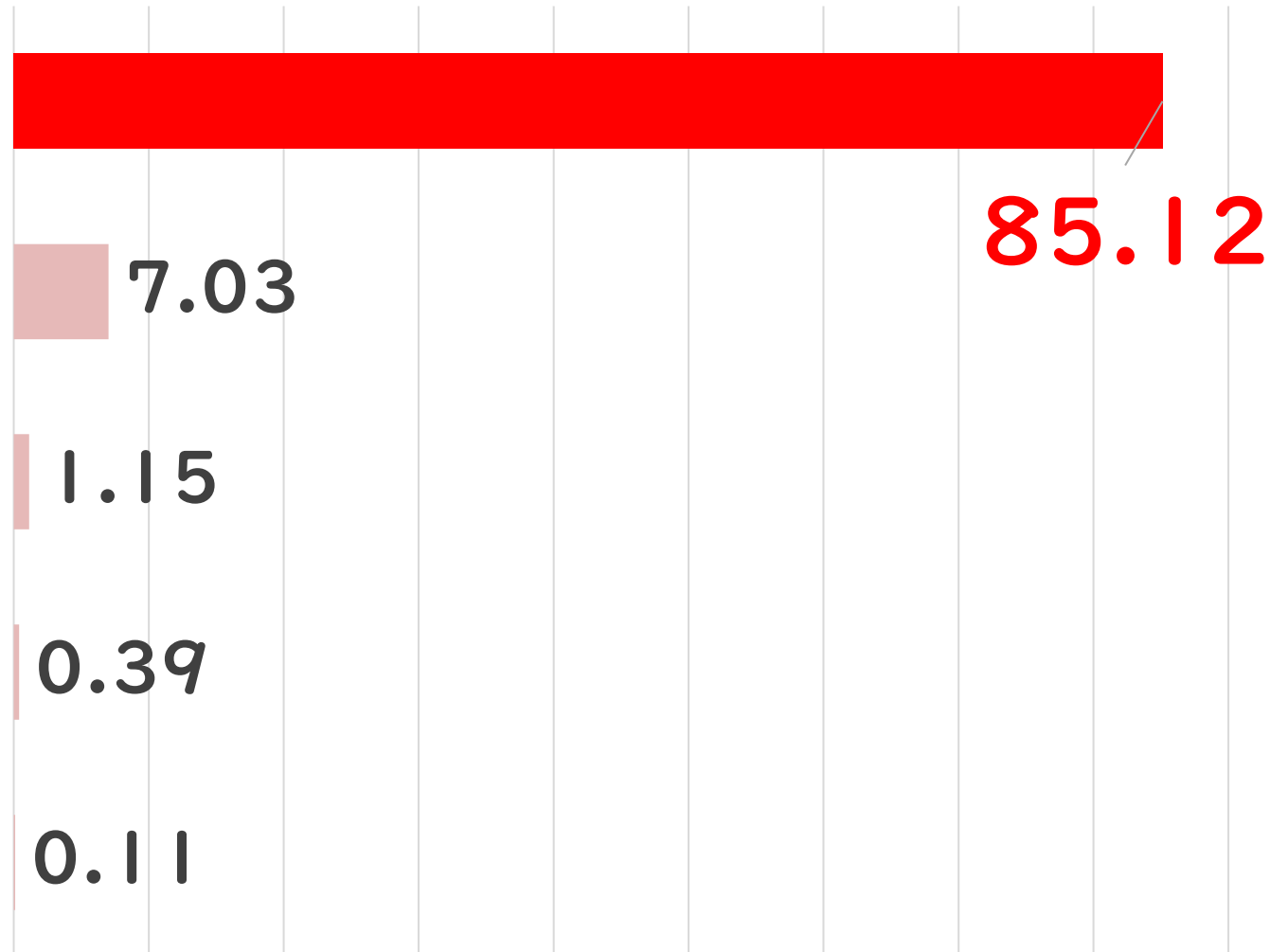
ア.兼務発令はない。
自分の学校だけ

イ.自分の学校以外に1校

ウ.自分の学校以外に2校

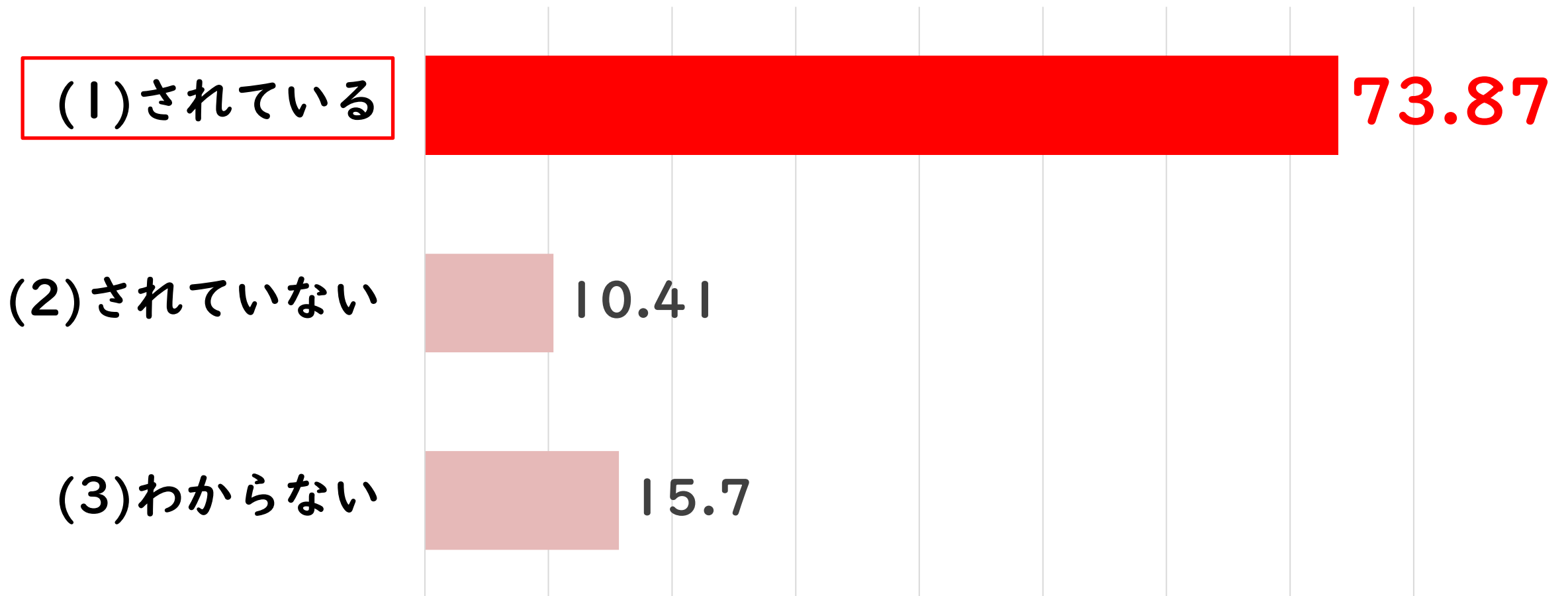
エ.自分の学校以外に3校

オ.自分の学校以外に4校以上



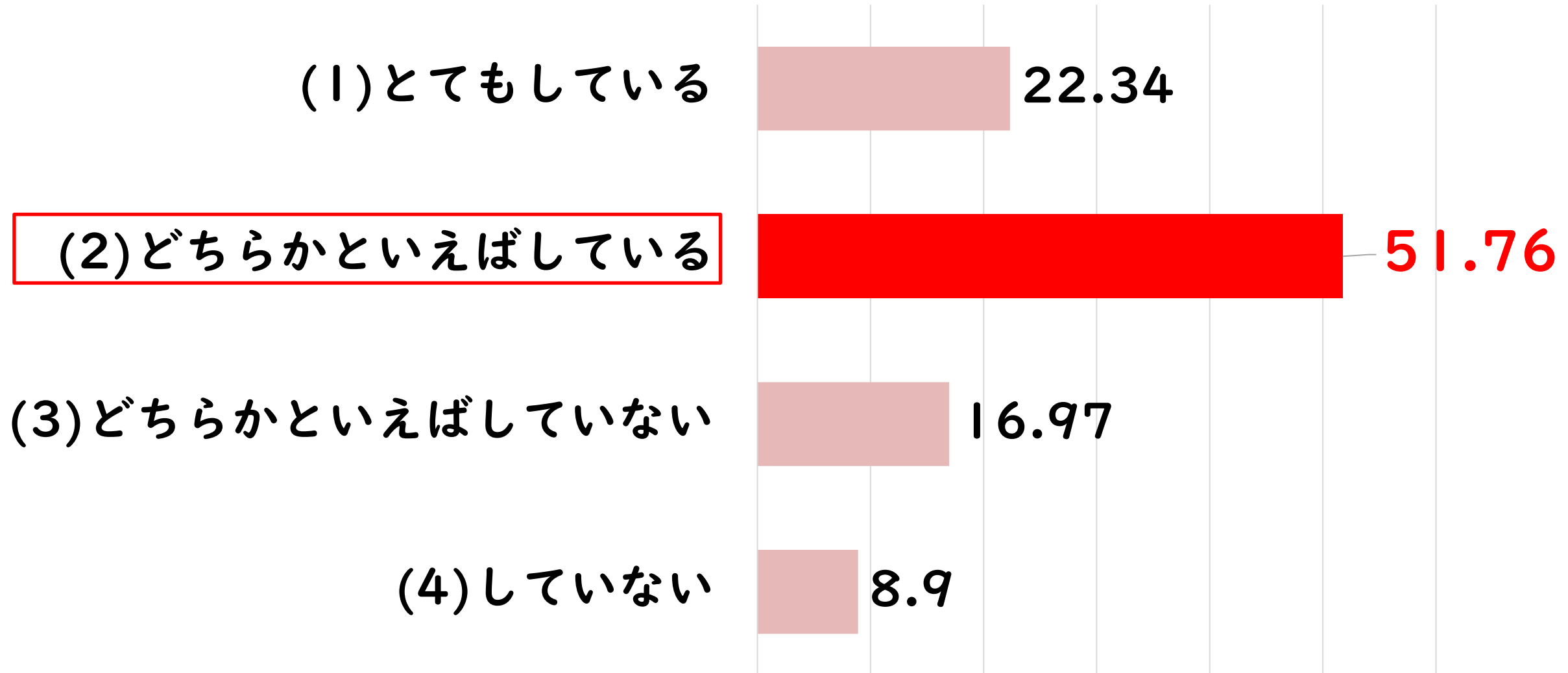
【研修会】

(1) 都道府県、区市町村で研修を受ける機会は
十分確保されていますか。

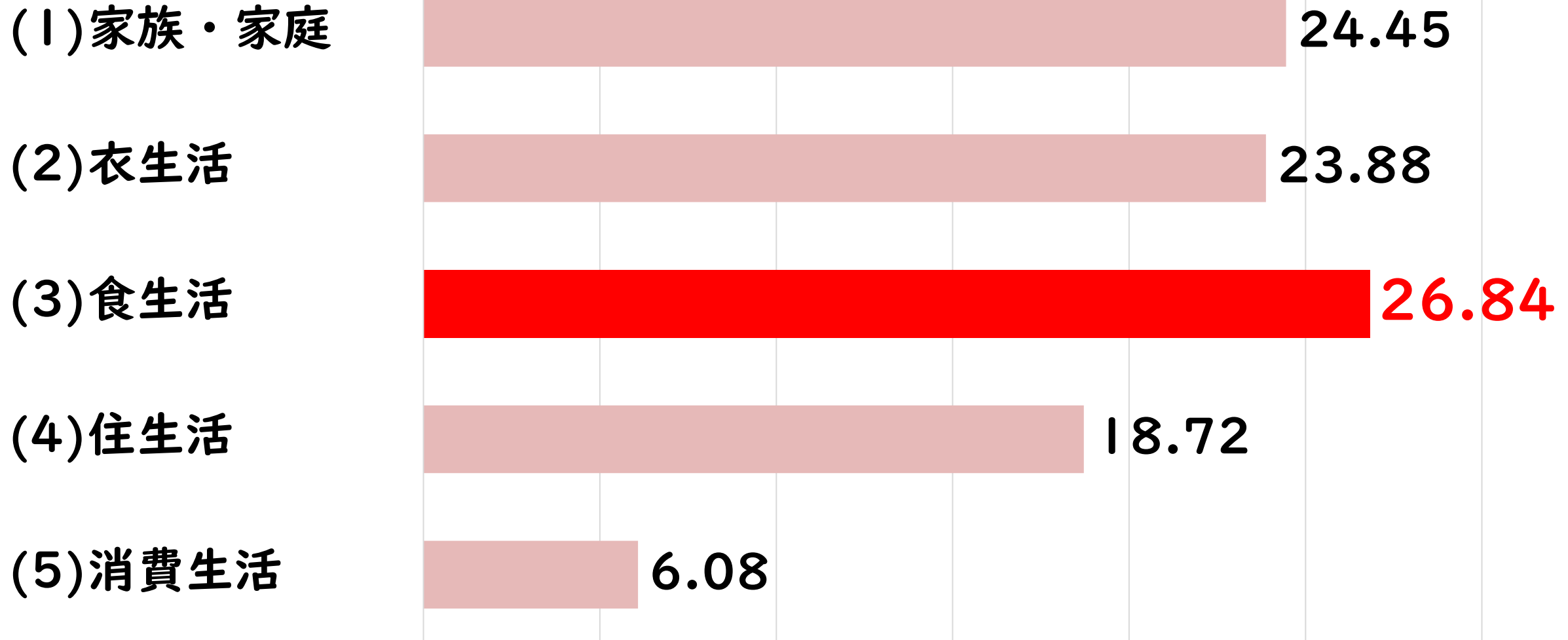


【研修会】

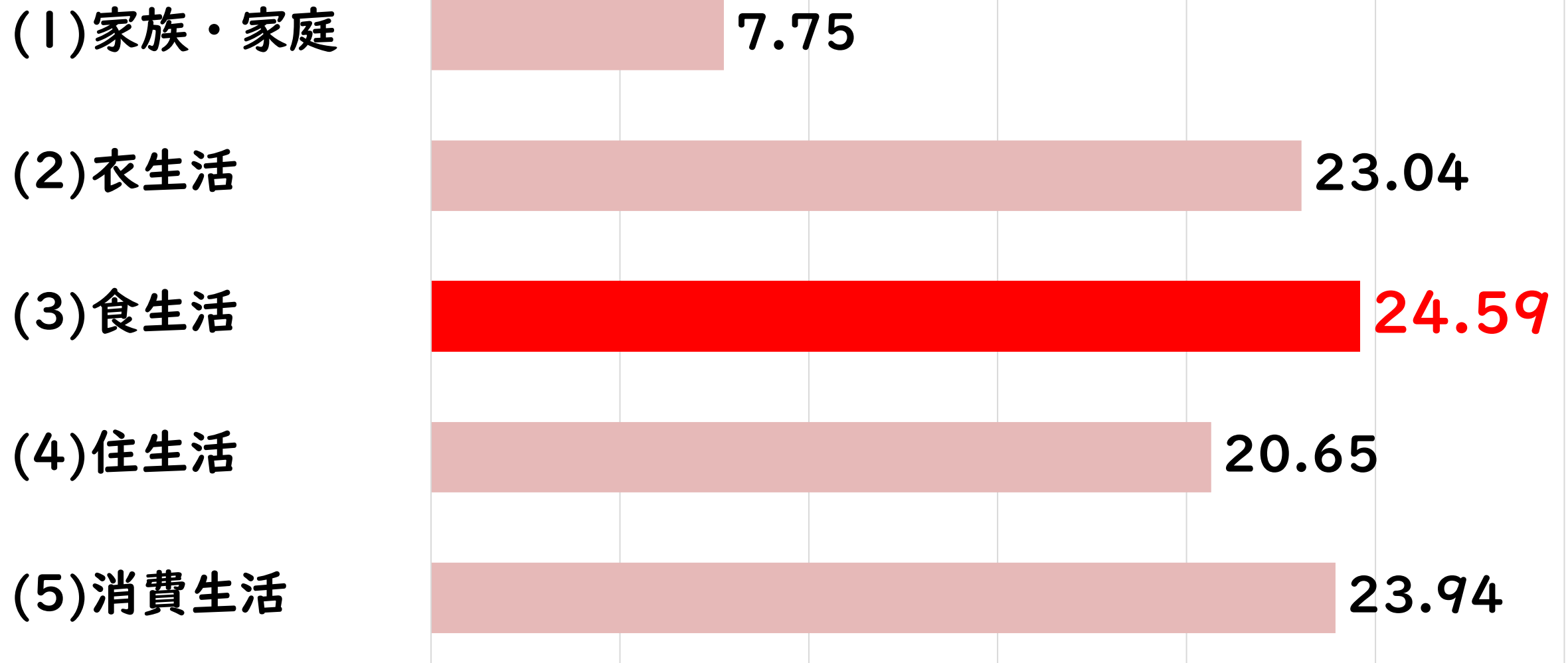
(2) 研修会・研究会等には積極的に参加していますか。



[Ⅱ] (Ⅰ) **1年生**の授業で実施している分野はなんですか



[Ⅱ] (Ⅰ) **2年生**の授業で実施している分野はなんですか



[Ⅱ] (Ⅰ) **3年生**の授業で実施している分野はなんですか

(Ⅰ)家族・家庭

53.58

(Ⅱ)衣生活

4.68

(Ⅲ)食生活

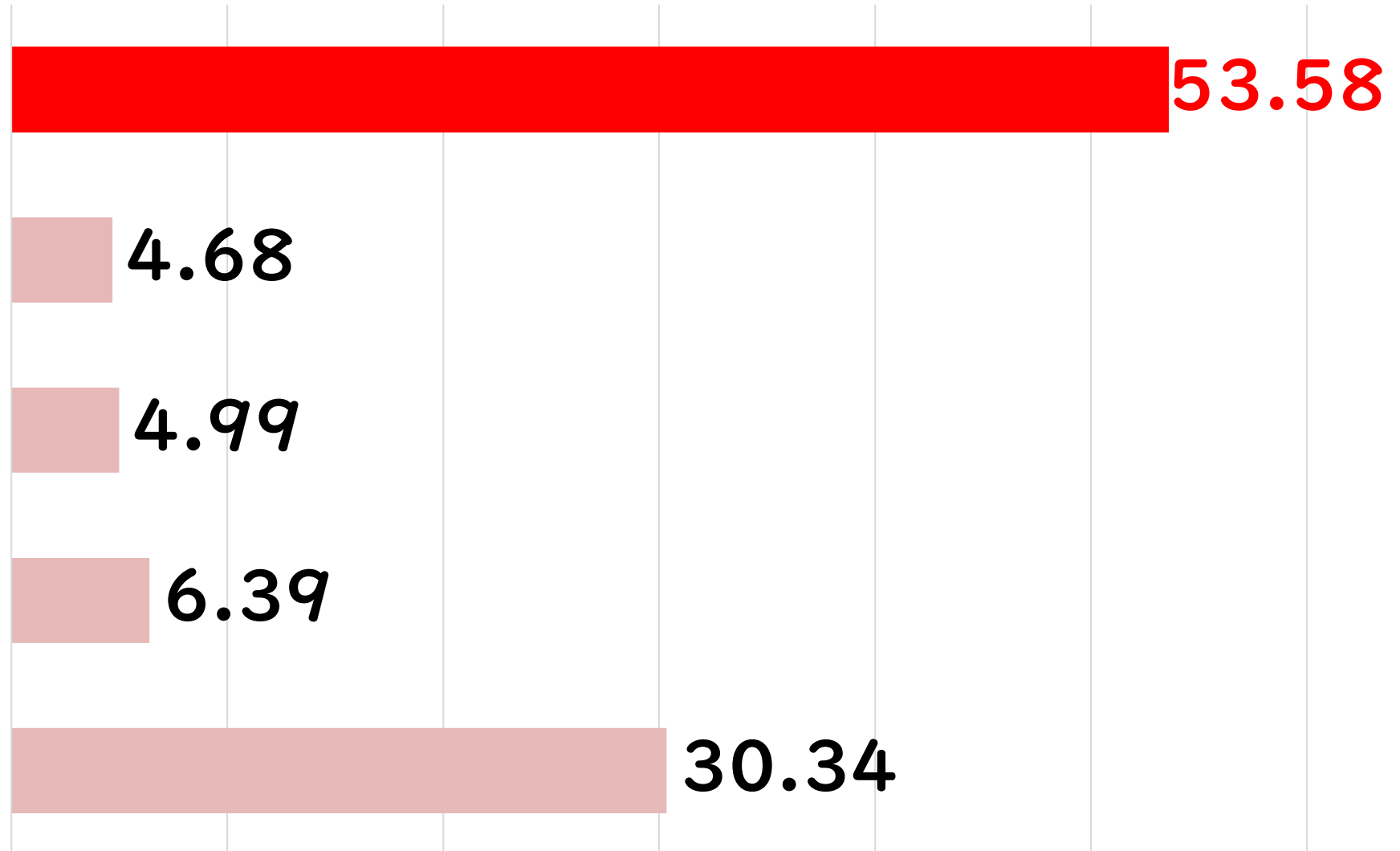
4.99

(Ⅳ)住生活

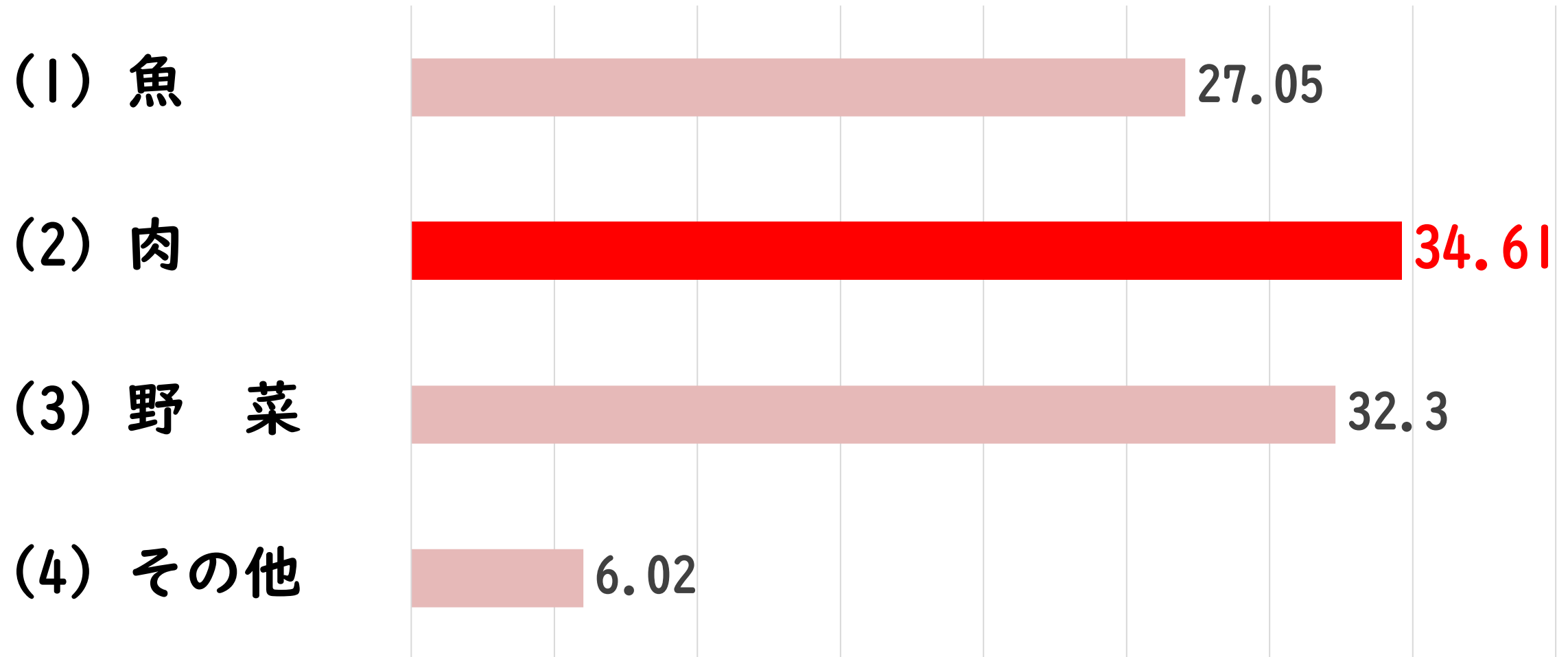
6.39

(Ⅴ)消費生活

30.34



〔Ⅱ〕(4)材料に適した加熱調理の仕方についての理解を深めるために、
日常食の調理では、どのような食材を扱っていますか。



〔Ⅱ〕(5)地域の食文化についての理解を深めるために、
和食の調理では、どのような題材を扱っていますか。

1. 郷土料理の実習が中心

- ・地域の伝統料理を実習（汁物、煮物、米飯など）
- ・地域の方（食改など）を講師に招き、指導を受ける

2. 和食の基本「出汁（だし）」の学習

- ・合わせ出汁の取り方を実習し、旨味を理解
- ・味噌汁・すまし汁などの基本の汁物を調理

3. 地域食材と日常和食

- ・地産地消を意識した調理や献立作
- ・魚の調理や行事食の学習も実施

[Ⅱ] (6)調理実習を行う際に負担に感じたり困っていることがあれば
記入してください

1. 授業時間の制約と準備負担

- ・ 授業時間内で、準備・調理・片付けの完了が困難
- ・ 食材の買い出し・仕分け、器具の洗浄・管理が
勤務時間外となり大きな負担

2. 環境と人員不足

- ・ 調理室に冷暖房がないなど、施設の不備から衛生面で不安があり、
実施時期を制限される
- ・ 教員一人での安全管理が困難（大人数クラス）
- ・ 食物アレルギーへの個別対応の労力が大きい

3. 指導と評価の困難

- ・ 生徒の経験差が大きく、個別指導に手が回らない
- ・ 実技評価の客観的な基準設定が難しい

〔Ⅱ〕 (7)資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための
布を用いた製作では、どのような題材を扱っていますか。

1. エコとリユースの推進

- ・ 製作中心: エコバッグ/トートバッグが最多
- ・ リメイク: 不要な衣服・布から小物（ポーチ、巾着など）にアップサイクル

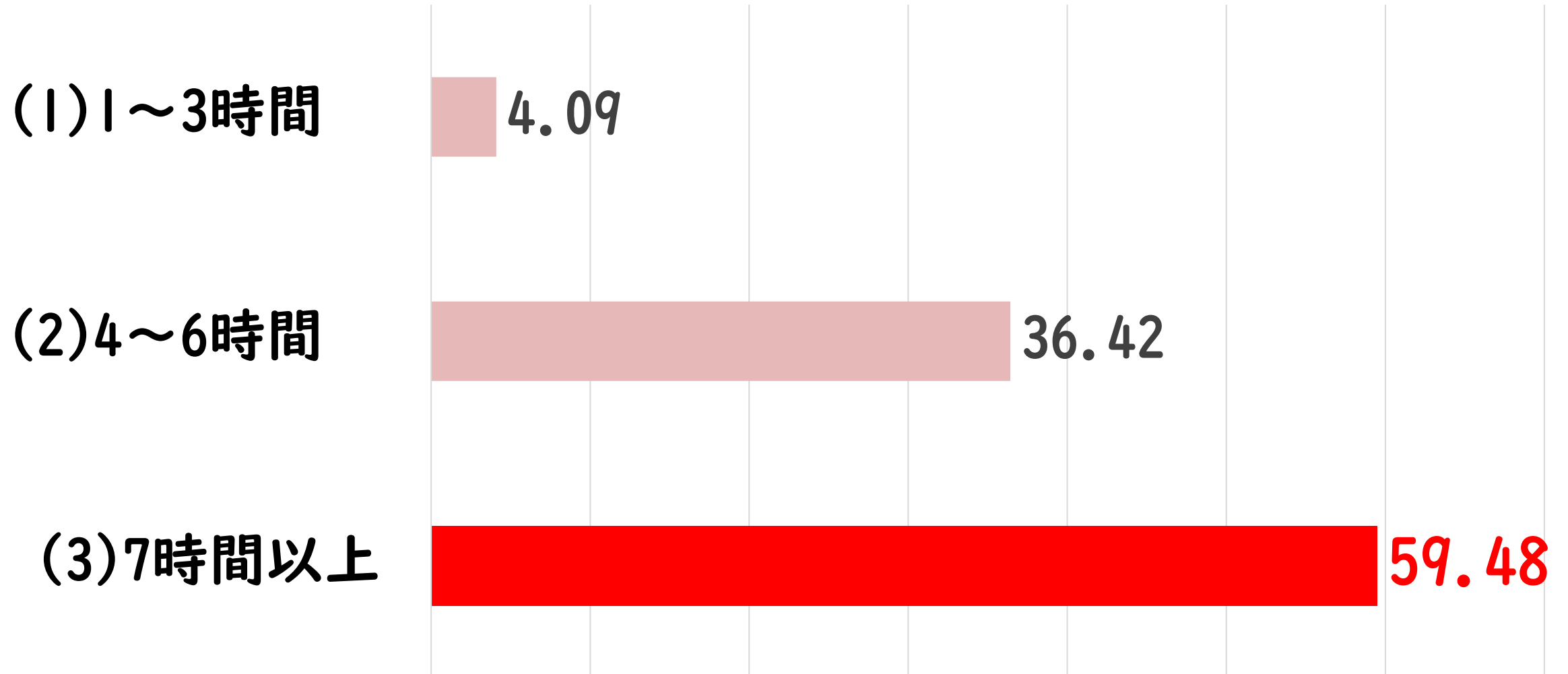
2. 実用性と多目的利用

- ・ 日常小物: ブックカバー、ティッシュケース、ランチョンマットなど
- ・ テーマ連携: タブレットケース、防災ポーチ、アクリルたわし（環境）

3. 学習の重点

- ・ 基礎縫い技術の習得
- ・ SDGs/エシカル消費と関連づけ、物を大切にする視点を育成

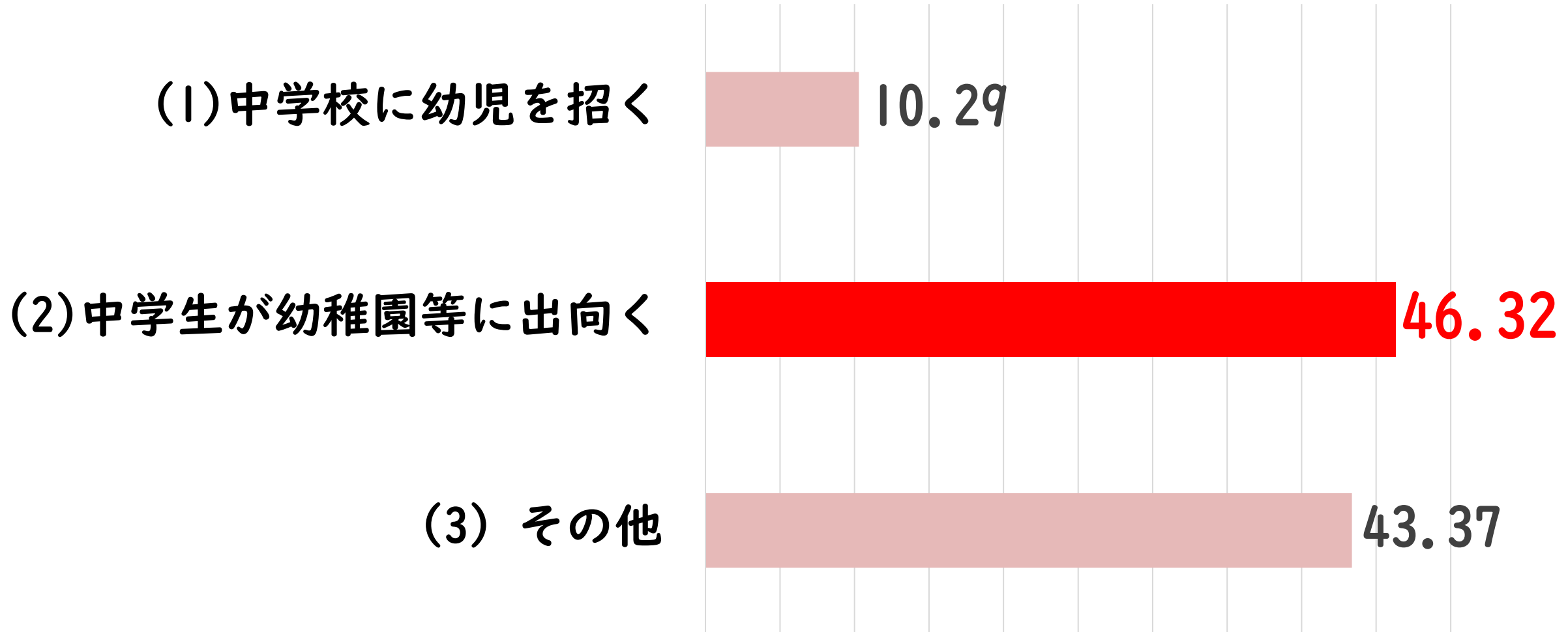
〔Ⅱ〕 (8)被服実習の授業時数は何時間程度確保していますか。



[Ⅱ] (9)被服実習で製作しているものを教えてください

カテゴリ	具体的な製作物
バッグ・ポーチ類	エコバッグ、トートバッグ（リバーシブル含む）、巾着袋、あずま袋、ポーチ、ミニトートバッグ、コンパクトバッグ、防災バッグ（リュック・ポーチ）、マルチケース、タブレットケース、ファイルカバー、お弁当袋、クラッチバッグ、ポシェット、シューズ袋、ナップザックなど
カバー類	ブックカバー、ティッシュカバー（ボックス、ポケット）、ウォールポケット、クッションカバー、座布団カバー、ランチョンマット、PCケース、ファイルカバー、ペットボトルホルダー、箸袋、マスクケースなど
実用・その他小物	幼児のおもちゃ（ぬいぐるみ、パペット、サイコロなど）、ネームタグ/ワッペン、コースター、ぞうきん、マスコット/クリーナー、名札、刺し子（ふきん、コースターなど）、スウェーデン刺繍を施した小物、アイピロー、リメイク作品、エプロン、ハーフパンツなど
基礎縫い関連	基礎縫いの練習布、基礎縫いキット、基礎縫いコンパクトバッグ、きんちゃく袋、ティッシュケースなど基礎縫いの習得を目的とした簡単なもの

[Ⅱ] (10)幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する
場面では、どのような方法で実施していますか。



[Ⅱ] (10)-1 「実施していない」場合は、
それに代わる活動があれば記入してください

1. バッグ類・ポーチ類が中心

- ・ 最 多: エコバッグ、トートバッグ（リバーシブル、コンパクトなど）
- ・ 小 物: 巾着袋、ポーチ、マルチケース、タブレットケースなど
- ・ 目的別: 防災バッグ、お弁当袋、シューズ袋など

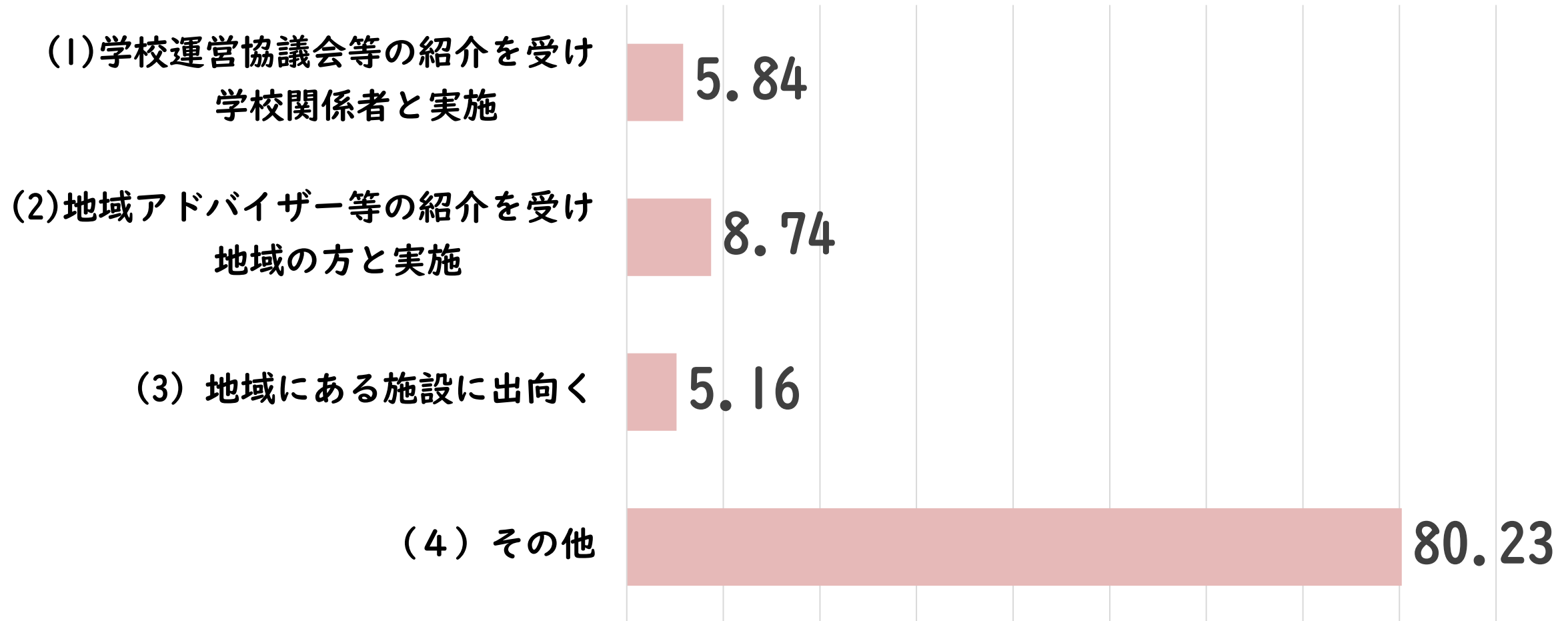
2. 日常の小物・カバー類

- ・ 学校生活で利用: ブックカバー、ファイルカバー、ランチョンマット
- ・ そ の 他 : ティッシュカバー、クッションカバー、箸袋、マスクケース

3. 多様な実用作品

- ・ 保 育 連 携: 幼児のおもちゃ（ぬいぐるみ、パペット）、名札
- ・ 伝統・環境: 刺し子小物、リメイク作品、ぞうきん、アクリルたわしなど
- ・ 基 礎 技 術: 基礎縫いの習得を兼ねた簡単な小物（巾着、ティッシュケース）製作

**〔Ⅱ〕(ⅠⅠ)高齢者など地域の人々と関わり、
活動する方法について考え工夫する場面では、
どのような方と実施していますか。**



[Ⅱ] (ⅠⅠ)-Ⅰ「実施していない」場合は、
それに代わる活動があれば記入してください

1. 疑似体験による理解促進

- ・ 装具等を使用: 身体の不自由さや感覚の変化（視覚・聴覚）を体験
- ・ ロールプレイ: 高齢者役と介助者役に分かれ、介助方法を実践

2. 知識・情報収集

- ・ 専門家講話: 福祉士などを招き、認知症サポーター養成講座などを実施
- ・ 映像/座学: 高齢者の生活や介護現場の様子を視聴
- ・ 調べ学習: 地域活動や高齢者へのインタビューを実施

3. 他活動との連携

- ・ 学校活動を活用: 職場体験や防災訓練を通じた地域との関わりを学習
- ・ 間接的な交流: 製作物（雑巾など）を施設に寄贈

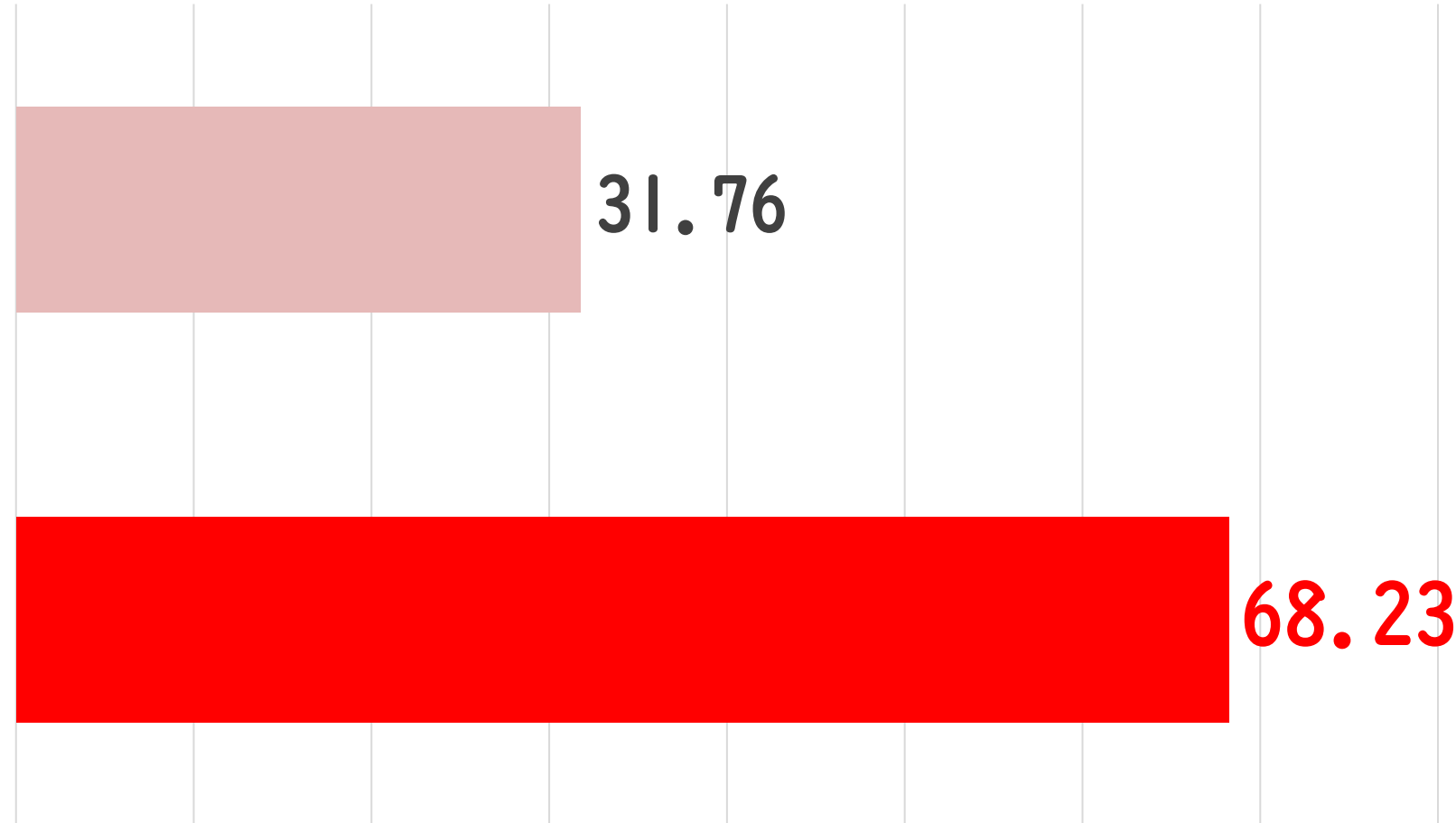
[Ⅱ] (12)ゲストティーチャーを招いていますか

(1)招いている

31.76

(2)招いていない

68.23



[Ⅱ] (12)-1 ゲストティーチャーは、どのような場面で招いていますか

1. 「食」の指導

- ・ 栄養教諭: 栄養指導、献立作成
- ・ 地域/料理人: 郷土料理の実習、専門調理技術（魚さばき等）
- ・ 農家/企業: 食育、食材、地産地消の講義

2. 「衣」の技術

- ・ 着付け講師: 浴衣の着付け、和服文化
- ・ ものづくりマイスター: 被服製作の技術指導、補助

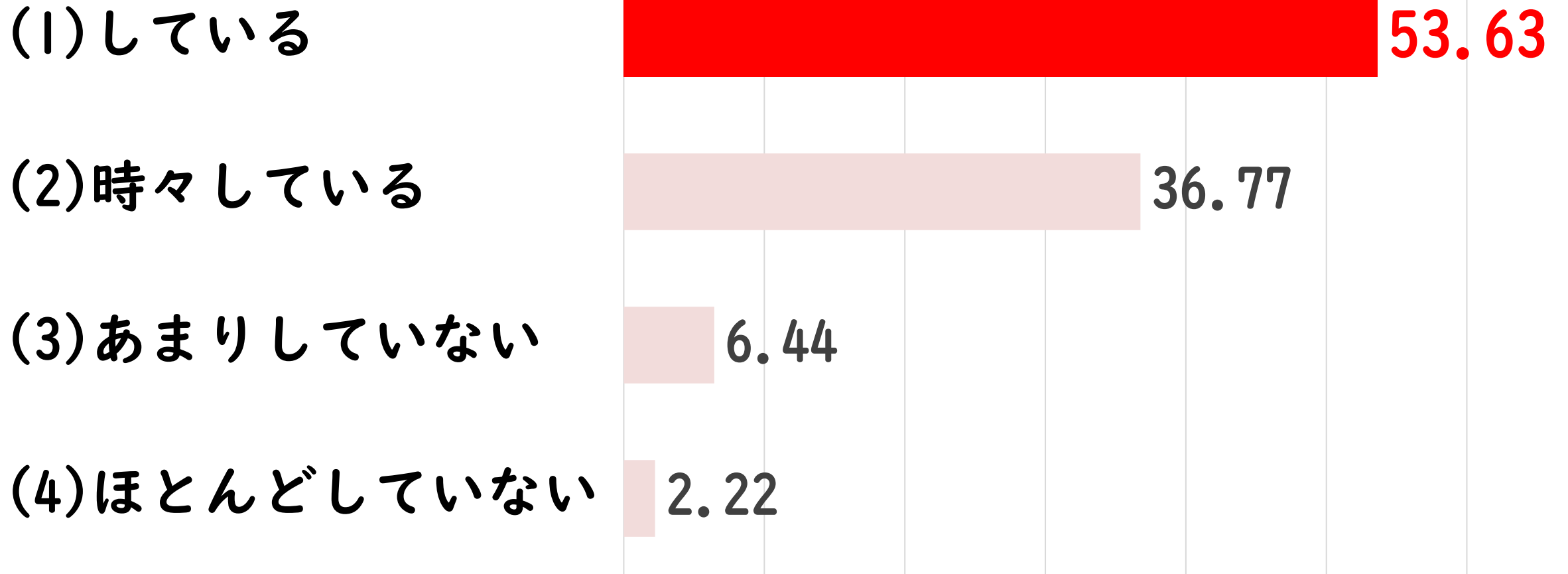
3. 「消費・福祉」の専門知識

- ・ 消費生活センター: 消費者トラブル、契約（クーリングオフ）
- ・ フィナンシャルプランナー/銀行員: 金銭管理、ライフプラン（金融教育）
- ・ 介護士等: 高齢者体験補助、認知症講座
- ・ 保育士/助産師: 幼児とのふれあい（赤ちゃん先生）指導

4. 「住」と「地域」

- ・ 防災/建築: 住まいの安全、防災対策
- ・ 地域ボランティア: 地域活動、協働について

[Ⅱ] (13) タブレット端末を授業で活用していますか



[Ⅱ] (14)どのような場面でタブレット端末を 使用していますか

(1)学習の振り返り

16.21

(2)調べ学習

33.8

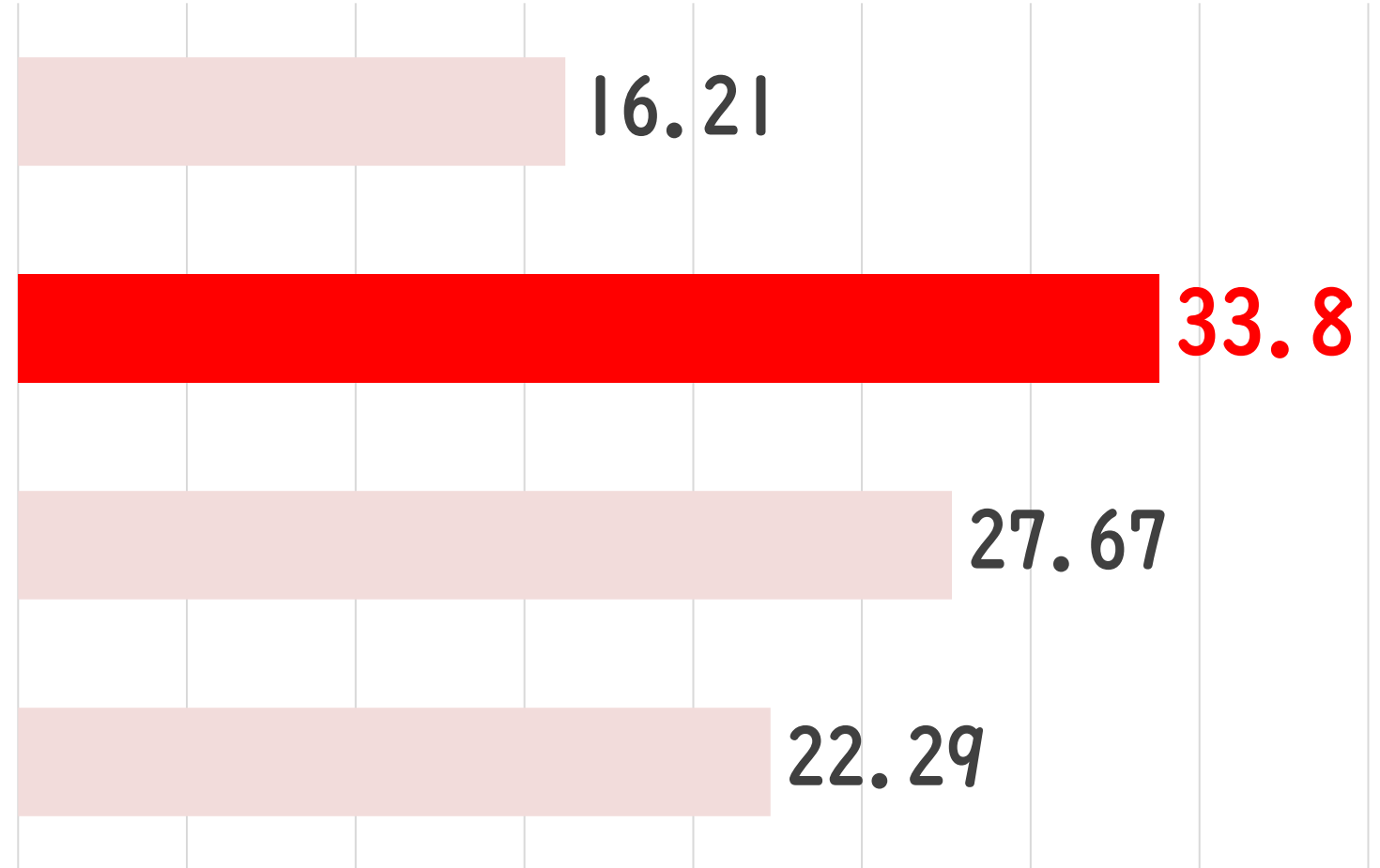
(3)レポートや課題作成

27.67

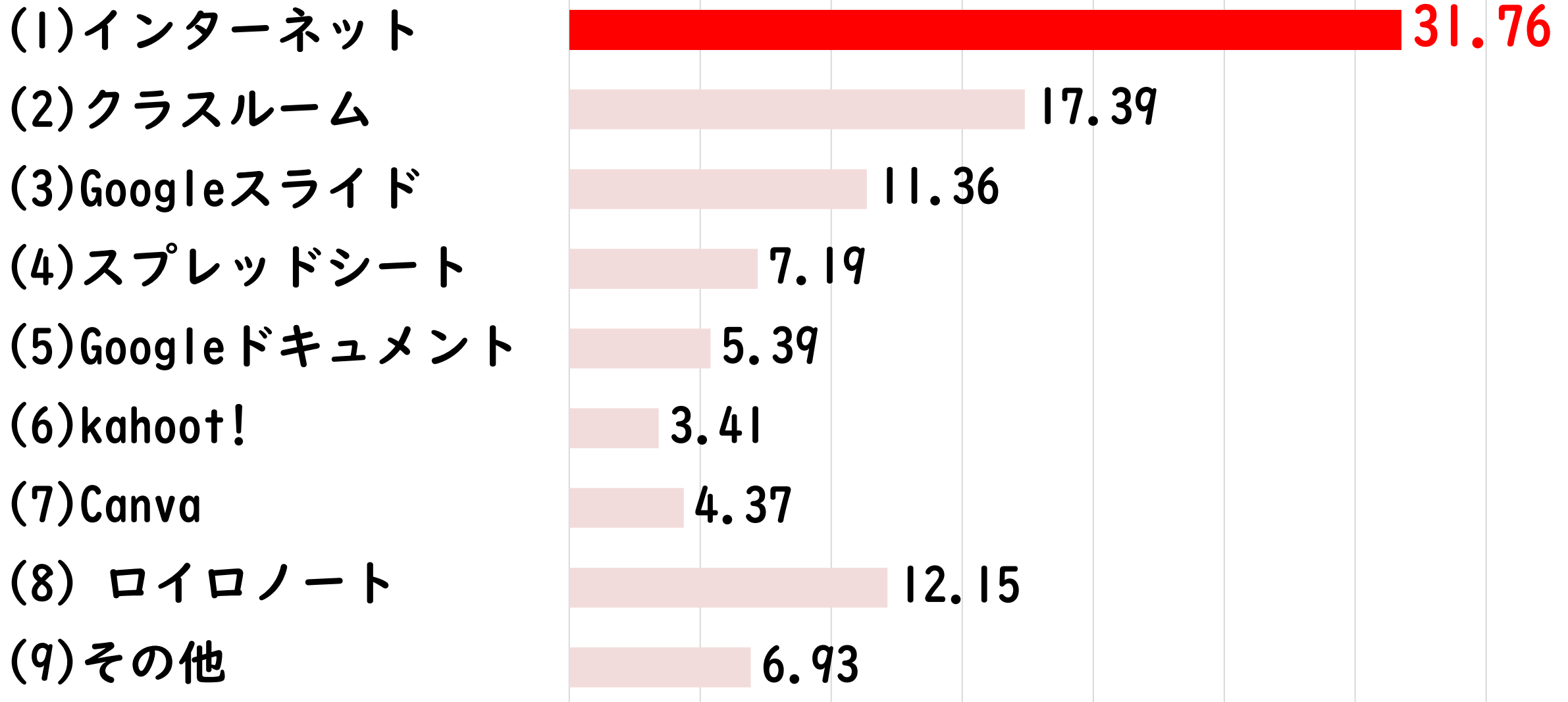
(4)その他

22.29

食生活 献立作成の場面



〔Ⅱ〕(15)タブレット端末で使用しているものはなんですか



[Ⅱ] (16)意見共有で使用しているアプリやサイトはなんですか

1. 主要な学習支援アプリ

- ・ 圧倒的多数: ロイロノート・スクール (共有ノート)
- ・ その他: ミライシード (オクリンク)、SKYMENU Class
MetaMoJi ClassRoom、スクールタクト

2. 汎用的なプラットフォーム

- ・ Google Workspace:
スライド (共同編集)、フォーム (意見収集)、Classroom
スプレッドシート、FigJamなど
- ・ Microsoft 365:
Teams (コミュニケーション/共同編集)

3. その他のツール

- ・ オンライン付箋/ボード: Padlet、Canva (ホワイトボード)
- ・ その他: ふきだしくん、コラボノートなど。

[Ⅱ] (17)授業でのタブレット端末使用に関して、 負担に感じたり困っていることはありますか 〔一部抜粋〕

1. 接続・機器トラブル

- ・ 通信不安定: Wi-Fi接続不良や回線遅延が多く、授業中断・時間のロスが発生
- ・ 機器の不具合: 動作遅延、フリーズ、故障が頻発し、代替機不足で活動困難
- ・ 生徒の準備不足: 充電忘れ、忘れ物が多く、都度対応に追われる

2. 教員の負担とスキル不足

- ・ ICTスキル不安: 教員自身の操作・トラブル対応の知識不足が負担
- ・ 準備時間の増大: 活用資料作成やアプリ選定などの教材研究に時間を要する
- ・ 環境不足: 調理室・被服室など特別教室のWi-Fi環境が不十分

3. 生徒指導とモラルの問題

- ・ 不適切な使用: 授業中のゲームや無関係な閲覧が増え、指導に時間を取られる
- ・ 画面把握の困難: 不正使用の発見・管理が難しい
- ・ 学習への懸念: 文字を書く力の低下、AIによる課題作成への対応など

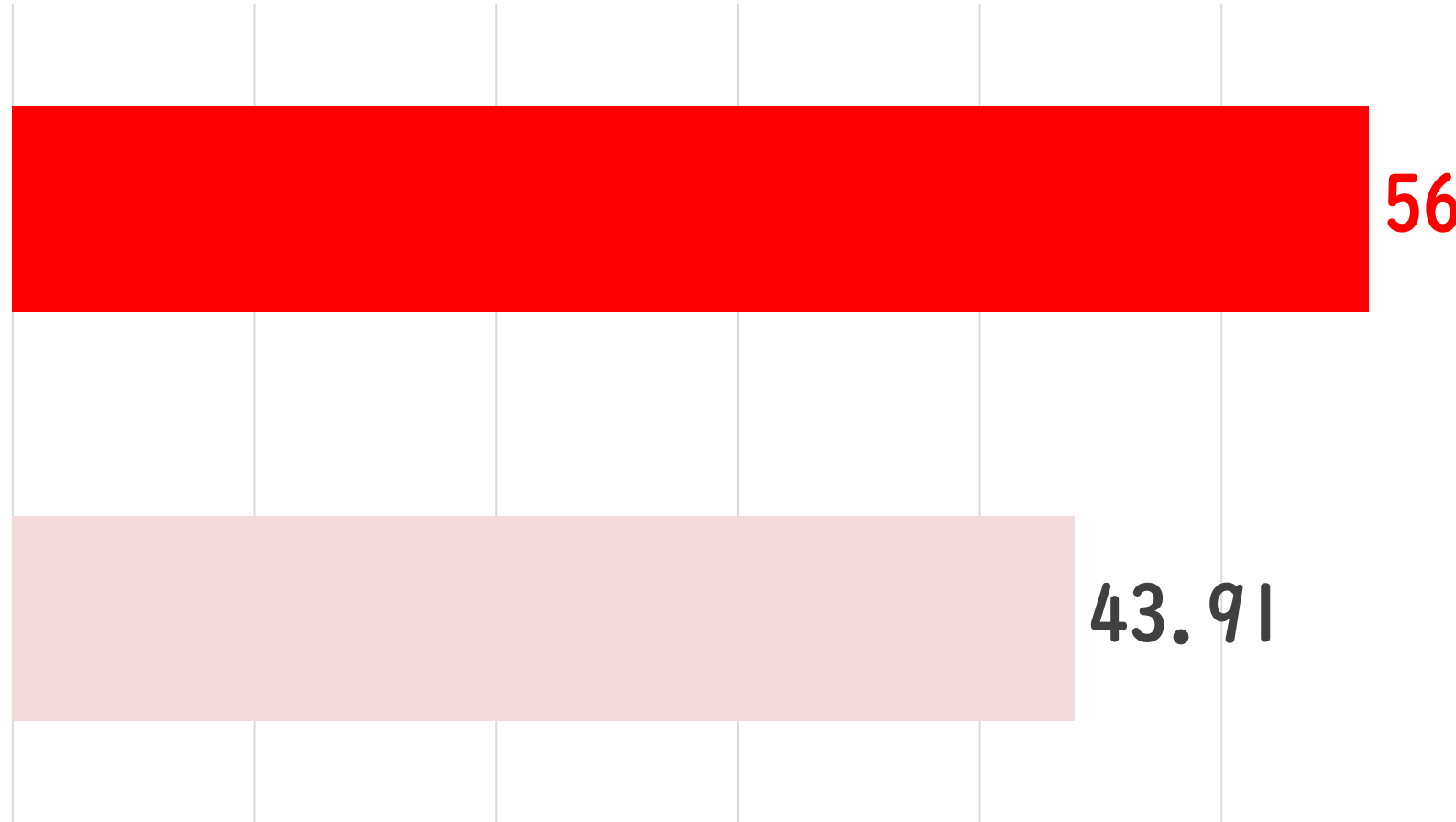
[Ⅱ] (18)学習評価に関して困っていることはありますか

(1)ある

56.08

(2)ない

43.91



[Ⅱ] (18)-1 学習評価に関してどのようなことに 困り感を感じていますか 〔一部抜粋〕

1. 評価観点と基準の難しさ

- ・ 3観点の運用: 知識と技能の統合、主体性の評価（内面・意欲）が困難
- ・ 実技評価 : 実習指導で手一杯となり、客観的な技能評価が難しい
(主観的になりがち)
- ・ 記述評価 : 思考・判断・表現の採点に膨大な時間を要する

2. 時間と人員の制約

- ・ 授業時数の不足: 特に3年生は時数が少なく、十分な評価材料を確保できない
- ・ 評価労力の増大: 担当生徒数が多く、一人で全校生徒分の評価を行う負担が深刻

3. 特有の課題と専門性

- ・ 技術科との合同評価: 内容が異なる2教科の評定調整が難しい
- ・ 相談相手の不足: 教員が1人体制のため、評価方法の正当性に不安を抱える

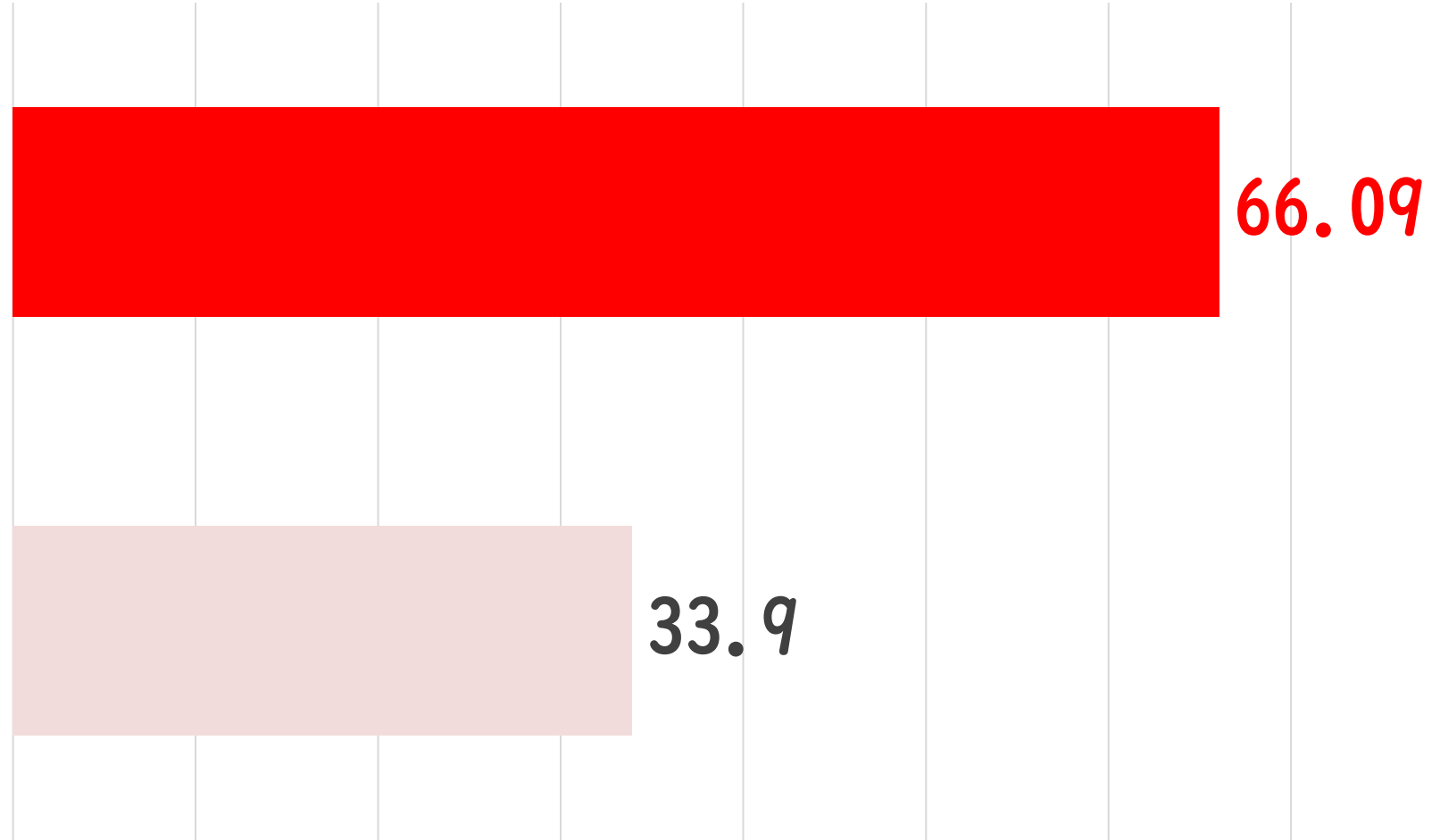
〔Ⅱ〕 (18)-2 評価に関する研修等が行われていますか

(1)行われている

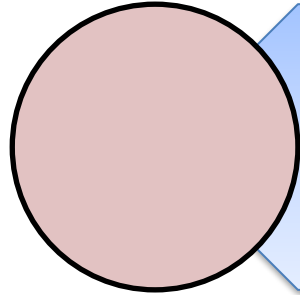
66.09

(2)行われていない

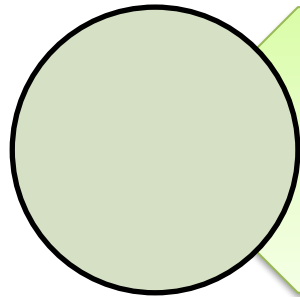
33.9



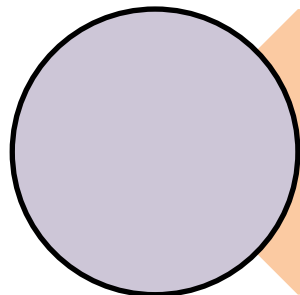
〔Ⅱ〕 (19) 家庭分野を指導する際、困っていることはなんですか



1 時間とカリキュラムの制約



2 環境と人員体制



3 生徒の実態と指導

中学校技術・家庭科に関する 第12回全国アンケート調査

ご清聴ありがとうございました

令和7年11月6日

第64回全日本中学校技術・家庭科研究大会
全日本中学校技術・家庭科研究会 研究調査部